

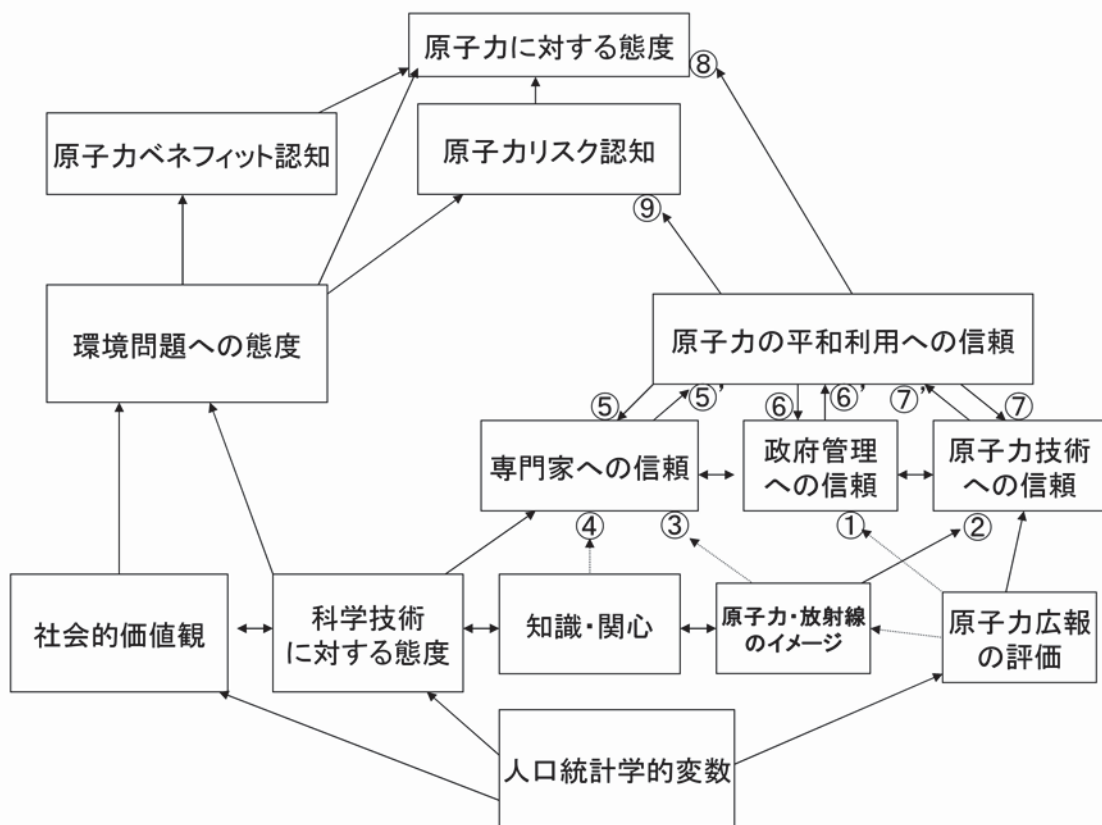
第3章 世論調査の実施

第3章 世論調査の実施

3.1 調査の目的

本調査では、自由回答形式の設問を過去の調査結果を反映して可能な限り選択式の設問に変更し、有効回答数を増やすことにより、無回答層の意識をより詳細に把握することに努め、原子力の平和利用に対する信頼を獲得するために適切な広報手法や、情報の受け手の信頼醸成要因の分析を行った。

3.2 調査モデル



3. 3 調世論調査計画の改良と設計

(1) 分析方法の検討

基本集計分析に加え、全ての質問に対し「原子力に携わる専門家や原子力関係者への信頼」「原子力の安全管理や規制を行っている国や自治体への信頼」の2項目をクロス集計した結果から原子力に携わる専門家や原子力関係者への信頼や、原子力の安全管理や規制を行っている国や自治体への信頼がどのように醸成されるのか分析を行った。(3.5世論調査結果参照)

(2) 質問項目の改良

平成20年度に実施した調査結果で無回答の多かった3つの自由回答形式の質問(問11-2専門家や原子力関係者への信頼の理由、13-2国や自治体への信頼の理由、25-2今後活用すべきエネルギー源の理由)を、有効回答数を増やすために、過去の自由回答をコーディングした結果から選択肢を作成し、選択形式の質問に変更した。また、過去の調査結果の分析において、調査モデルの要因「原子力の平和利用」を構成する質問(問24原子力の平和利用についての信頼)についても、「どちらともいえない」という回答が6割近く、相関関係の分析に影響を与えるであろうと判断し、今後の有効回答数を増やすために質問文を改良した。

(3) 世論調査の設計

経年的に把握するため、世論調査の実施方法は過去の調査と同様とし、以下のとおりとした。

- 1) 調査地域: 全国
- 2) 調査対象者: 15～79歳男女個人
- 3) サンプルング: 住宅地図データベースから世帯を抽出し、個人を割当
- 4) 調査方法: 個別訪問留置調査
- 5) サンプル数: 1, 200人
- 6) 実査期間: 2010年9月1日(水)～13日(月)

3. 4 世論調査票

テーマ:「日本のエネルギー事情」についてお伺いします

【すべての方に】

問1 あなたは石油の可採年数※1はどのくらいだと思いますか。(○は1つだけ)

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1 約20年 | 2 約40年 | 3 約60年 | 4 約80年 |
|--------|--------|--------|--------|

＜※1可採年数＞石炭、石油、天然ガス、ウランなどの資源は、量に限りがあり、現在存在が確認され、生産され得る資源(確認可採埋蔵量)を、今までのように使い続けたら、あと何年くらい使い続けることができるかを示しています。

【すべての方に】

問2 あなたは二酸化炭素などのガスの増加によって地球温暖化が起きると言われていることをご存知ですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|----------------|-----------------|--------|
| 1 詳しい内容まで知っている | 2 ある程度の内容は知っている | 3 知らない |
|----------------|-----------------|--------|

【すべての方に】

問3 あなたは日本の発電電力量の約何割を原子力が担っていると思いますか。(○は1つだけ)

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1 約1割 | 2 約3割 | 3 約5割 | 4 約7割 |
|-------|-------|-------|-------|

【すべての方に】

問4 あなたは「原子力」という言葉を聞いたときに、どのようなイメージを思い浮かべますか。

次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------|----------------|
| 1 明るい | 13 暗い |
| 2 悪い | 14 よい |
| 3 おもしろい | 15 つまらない |
| 4 親しみやすい | 16 親しみにくい |
| 5 複雑 | 17 単純 |
| 6 安全 | 18 危険 |
| 7 信頼できない | 19 信頼できる |
| 8 不安 | 20 安心 |
| 9 必要 | 21 不必要 |
| 10 役に立たない | 22 役に立つ |
| 11 わかりやすい | 23 わかりにくい |
| 12 気になる | 24 気にならない |
| | 25 その他（具体的に：) |
| | 26 あてはまるものはない |

【すべての方に】

問5 あなたは「放射線」という言葉を聞いたときに、どのようなイメージを思い浮かべますか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------|----------------|
| 1 暗い | 13 明るい |
| 2 よい | 14 悪い |
| 3 おもしろい | 15 つまらない |
| 4 親しみにくい | 16 親しみやすい |
| 5 単純 | 17 複雑 |
| 6 安全 | 18 危険 |
| 7 信頼できない | 19 信頼できる |
| 8 安心 | 20 不安 |
| 9 不必要 | 21 必要 |
| 10 役に立つ | 22 役に立たない |
| 11 わかりやすい | 23 わかりにくい |
| 12 気にならない | 24 気になる |
| | 25 その他（具体的に：) |
| | 26 あてはまるものはない |

【すべての方に】

問6 以下にあげる事柄について、あなたがご存知のものはどれですか。ご存知のものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|--|
| 1 自然界にある放射線について | 5 原子力発電と原子爆弾の違い |
| 2 放射線と放射能の違い | 6 プルサーマル ^{*2} や核燃料サイクル ^{*3} のしくみ |
| 3 様々な分野での放射線の利用 | 7 どれも知らない |
| 4 放射線の量と人体への影響の関係 | |

<※2プルサーマル> 使用済燃料から回収したプルトニウムを、再び現在運転中のタイプの原子力発電所の燃料として利用することをプルサーマルと呼んでいます。

<※3核燃料サイクル> 原子力発電所はウランを燃料にして発電しますが、このウランは石油や石炭と違い、一度燃やした燃料を再処理することによって再び燃料として利用することができます。このしくみを核燃料サイクルと呼んでいます。

【すべての方に】

問7-1 原子力やエネルギーの分野において、あなたが関心のあることはどれですか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 石油や石炭など化石資源の消費 | 13 放射線の医療利用 |
| 2 地球温暖化 | 14 放射線の農業利用 |
| 3 世界のエネルギー事情 | 15 核不拡散 |
| 4 日本のエネルギー事情 | 16 高速増殖炉「もんじゅ」のしくみ |
| 5 太陽光発電の開発状況 | 17 「もんじゅ」の安全性 |
| 6 風力発電の開発状況 | 18 核燃料の製造加工 |
| 7 バイオマス発電の開発状況 | 19 省エネルギー |
| 8 核分裂のしくみ | 20 放射性廃棄物の処分 |
| 9 原子力発電の安全性 | 21 使用済燃料の貯蔵 |
| 10 プルサーマル・核燃料サイクル | 22 その他(具体的に:) |
| 11 放射線による人体の影響 | 23 特にない/わからない |
| 12 放射線の工業利用 | |

【すべての方に】

問7-2 放射線利用の分野において、あなたが関心のあることはどれですか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------|----------------|
| 1 プラスチックの強化 | 6 CT スキャン |
| 2 花や植物の品種改良 | 7 非破壊検査 |
| 3 ガン治療 | 8 レントゲン |
| 4 食品への照射 | 9 医療器具などの滅菌 |
| 5 年代測定 | 10 その他(具体的に:) |
| | 11 特にない/わからない |

【すべての方に】

問8-1 あなたは、ふだん原子力やエネルギーに関する情報を何によって得ていますか。

次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

1 インターネット	6 雑誌
2 ラジオ	7 本・パンフレット
3 博物館・展示館・PR施設	8 その他(具体的に:)
4 新聞	9 あてはまるものはない
5 テレビ	

【すべての方に】

問8-2 あなたは、この1年間に原子力やエネルギーに関する「よい情報(安全性、有益性に関する情報)」をどのような人の発言から得ましたか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。

(○はいくつでも)

※ テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネットなどのメディアから得る、もしくは直接聞くかは問いません。

1 政府関係者
2 専門家(大学教員・研究者)
3 評論家(キャスターなども含む)
4 原子力関係者(電力会社・メーカー)
5 自治体職員
6 小・中・高等学校の教員
7 テレビ・ラジオなどのアナウンサー
8 新聞・雑誌などの記者
9 オピニオンリーダー(身近な知識人)
10 政治家
11 その他(具体的に:)
12 あてはまるものはない/この1年間によい情報は得ていない

【すべての方に】

問8-3 あなたは、この1年間に原子力やエネルギーに関する「悪い情報(トラブルなどに関する情報)」をどのような人の発言から得ましたか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。

(○はいくつでも)

※ テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネットなどのメディアから得る、もしくは直接聞くかは問いません。

- 1 政府関係者
- 2 専門家(大学教員・研究者)
- 3 評論家(キャスターなども含む)
- 4 原子力関係者(電力会社・メーカー)
- 5 自治体職員
- 6 小・中・高等学校の教員
- 7 テレビ・ラジオなどのアナウンサー
- 8 新聞・雑誌などの記者
- 9 オピニオンリーダー(身近な知識人)
- 10 政治家
- 11 その他(具体的に: _____)
- 12 あてはまるものはない/この1年間に悪い情報は得ていない

【すべての方に】

問9 以下に挙げている「原子力やエネルギーに関するイベント・施設・情報源」の中で、参加してみたいもの、理解に役立つものはどれですか。あてはまるものをすべてお選びください。

(○はいくつでも)

【参加してみたいものはどれですか】

- 1 施設見学会
- 2 勉強会(専門家が講師として解説を行う)
- 3 工作教室
- 4 実験教室(計測器など機器を用いて実験や測定を行う)
- 5 趣味講座
- 6 講演会(少人数、双方向型)
- 7 講演会(大規模、パネリストによる討論会)
- 8 コンクール(作文やポスターなどのコンテスト)

【理解に役立つものはどれですか】

- 9 書籍
- 10 パンフレット
- 11 ビデオ・DVD
- 12 メール配信
- 13 ホームページ(インターネットにより情報を提供するサイト)
- 14 新聞広告・記事
- 15 テレビCM・番組

- 16 その他(具体的に: _____)
- 17 あてはまるものはない

【すべての方に】

問10 あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。あなたの考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つずつ)

		必要である	どちらかといえ 必要である	どちらとも いえない	どちらかといえ 必要でない	必要でない
a) 医療、工業、農業等における放射線利用	→	1	2	3	4	5
b) 原子力発電	→	1	2	3	4	5
c) 核燃料サイクル	→	1	2	3	4	5
d) プルサーマル	→	1	2	3	4	5
e) 世界唯一の被爆国として、原子力技術を平和利用に限ること、原子力利用の安全を確保することについて、もっとアピールすること	→	1	2	3	4	5
f) 原子力の平和利用を広報する組織は、原子力の軍事利用の反対をもっと訴えていくこと	→	1	2	3	4	5
g) できるだけたくさんの情報が国民に届くようにすること	→	1	2	3	4	5
h) わかりやすく情報を伝えること	→	1	2	3	4	5
i) 学校の授業で教えること	→	1	2	3	4	5
j) 些細なことでも隠さず伝えること	→	1	2	3	4	5
k) 都合の悪いことでも情報を外部(マスコミや国民など)に伝えること	→	1	2	3	4	5
l) 暮らしの中で活用する原子力の平和利用	→	1	2	3	4	5
m) 地球温暖化防止のために原子力発電を活用すること	→	1	2	3	4	5
n) 化石資源を使い切ることやオイルショックに備え、原子力を活用すること	→	1	2	3	4	5
o) エネルギー資源をほとんど持たない日本において原子力を活用すること	→	1	2	3	4	5

【すべての方に】

問11-1 あなたは、原子力に携わる専門家や原子力関係者を信頼できると思いますか。

(○は1つだけ)

- | | | |
|-----------------|-------------|------------------|
| 1 信頼できる | 3 どちらともいえない | 4 どちらかといえば信頼できない |
| 2 どちらかといえば信頼できる | 5 信頼できない | |

【すべての方に】

問11-2 あなたが、問11-1でそう答えた理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選び下さい。

(○はいくつでも)

- | |
|---------------------|
| 1 情報公開が十分されているから |
| 2 情報公開が十分されていないから |
| 3 大きな事故や問題がないから |
| 4 事故が起きる可能性があるから |
| 5 管理体制や安全対策が十分だから |
| 6 管理体制や安全対策が不十分だから |
| 7 専門的な知識を持っている人だから |
| 8 専門家にも間違いはあるから |
| 9 信頼したいから |
| 10 信頼できないから |
| 11 その他(具体的に: _____) |

【すべての方に】

問12 今後の安全な原子力の利用を続けていくために、どのような立場の人の活躍を期待しますか。

次の中から、あなたが期待している人をすべてお選びください。(○はいくつでも)

- | |
|---------------------------------------|
| 1 国や自治体 |
| 2 電力会社などの事業者 |
| 3 大学や研究所 |
| 4 財団法人、社団法人などの公益法人 |
| 5 非営利組織(NPO) |
| 6 国際原子力機関(IAEA)、経済協力開発機構(OECD)などの国際機関 |
| 7 その他(具体的に: _____) |
| 8 あてはまるものはない |

【すべての方に】

問13-1 原子力の安全管理や規制は国や自治体によって行なわれています。あなたは、国や自治体を信頼できると思いますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-----------------|-------------|------------------|
| 1 信頼できる | 3 どちらともいえない | 4 どちらかといえば信頼できない |
| 2 どちらかといえば信頼できる | 5 信頼できない | |

【すべての方に】

問13-2 あなたが、問13-1でそう答えた理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選び下さい。(○はいくつでも)

- | |
|----------------------|
| 1 情報公開が十分されているから |
| 2 情報公開が十分されていないから |
| 3 大きな事故や問題がないから |
| 4 事故が起きる可能性があるから |
| 5 管理体制や安全対策が十分だから |
| 6 管理体制や安全対策が不十分だから |
| 7 専門的な知識を持っている人だから |
| 8 専門家にも間違いはあるから |
| 9 信頼したいから |
| 10 信頼できないから |
| 11 国や公的機関は営利目的ではないから |
| 12 自分達の利益優先に感じるから |
| 13 その他(具体的に:) |

【すべての方に】

問14 原子力の安全管理を国や自治体に安心して任せるためには、どういった点が配慮されるべきだと思いますか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 事故原因の徹底究明 | 8 見学会や説明会の開催 |
| 2 情報公開 | 9 展示館の設置 |
| 3 事故に対する未然防止策 | 10 地域振興 |
| 4 職員の姿勢 | 11 放射線管理の徹底 |
| 5 実務の公開 | 12 検査体制の強化 |
| 6 安全管理規制の強化 | 13 その他(具体的に:) |
| 7 責任の所在の明確化 | 14 特にない/わからない |

【すべての方に】

問15 日本の原子力技術のうち、あなたが信頼しているものはどれですか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

1 発電	6 非破壊検査
2 放射線の医療利用 (レントゲン、ガン治療、滅菌など)	7 食品照射
3 放射線の農業利用 (品種改良、害虫駆除など)	8 放射性廃棄物の処分
4 年代測定	9 核燃料サイクル技術
5 放射線の工業利用 (耐火ビニール、強化プラスチック)	10 その他(具体的に:)
	11 特にない/わからない

【すべての方に】

問16 あなたが、放射線に対し感じる不安についてお伺いします。次の中から不安に思うものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

1 大地からの放射線	5 医療で受ける放射線
2 宇宙からの放射線	6 原子力関連施設周辺の放射線
3 食物からの放射線	7 その他(具体的に:)
4 空気中のラドンからの放射線	8 あてはまるものはない
	9 不安はない

【すべての方に】

問17 現在、放射性廃棄物の処分※4について検討が行なわれています。あなたは、そのことについてどのように感じますか。(○は1つだけ)

1 安心	3 どちらともいえない	4 どちらかといえば不安
2 どちらかといえば安心		5 不安

<※4放射性廃棄物の処分> 原子力発電所で使い終わった燃料から、リサイクルできるウランやプルトニウムを取り出すと、放射能レベルの高い廃液(高レベル放射性廃棄物)が残ります。高レベル放射性廃棄物は、ガラス素材と混ぜてステンレス製の容器に密封し、30年~50年ほど冷やした後、私たちの生活環境に影響がないように、地下300mより深いところにある地層に埋設処分する計画が進行中です。現在、最終処分場の建設地を全国の市町村から公募しています。

【すべての方に】

問18 科学技術、環境などに対する、あなたご自身のお考えについてお伺いします。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------------|---------------------------------|
| 1 物事の判断は直感的・感覚的だ | 7 少しくらい生活が不便でも、省エネルギーは実践されるべき |
| 2 精神的な豊かさの方が物質的豊かさより大切 | 8 夏はクールビズに積極的に協力すべき |
| 3 便利な生活には、ある程度の破壊も仕方がない | 9 科学技術が発展することで、人は豊かになる |
| 4 ローリスク・ローリターンよりハイリスク・ハイリターンの方がよい | 10 高度な技術も科学技術で完全に制御できる |
| 5 ゴミ処理や原子力発電などの問題は専門家による委員会決定されるべき | 11 どんな科学技術を利用したとしてもリスクはゼロにはできない |
| 6 住民にとって重要な選択をするときは住民投票で決定されるべき | 12 新しい技術導入に事故はつきもの |
| | 13 その他(具体的に:) |
| | 14 あてはまるものはない |

【すべての方に】

問19 次にあげる原子力やエネルギーにまつわるニュースをご存知でしたか。ご存知のものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

- | | | |
|----|----------|---|
| 1 | 2009年9月 | JCO 臨界事故(茨城県東海村)から 10年 |
| 2 | 2009年11月 | 内閣府の世論調査で原子力発電推進が4年前に比べ5%増加、60%となった |
| 3 | 2009年12月 | 玄海原子力発電所3号機(佐賀県)で国内初のフルパワー営業運転を開始 |
| 4 | 2009年12月 | 国際原子力機関(IAEA)事務局長に天野之弥氏就任 |
| 5 | 2009年12月 | 柏崎刈羽原子力発電所7号機(新潟県)が中越沖地震後初の営業運転を再開 |
| 6 | 2010年3月 | 経済産業省「エネルギー基本計画」2030年目標は原子力発電所14基以上の新增設 |
| 7 | 2010年3月 | 伊方発電所3号機(愛媛県)がフルパワー営業運転を開始。国内2例目 |
| 8 | 2010年3月 | 中国電力(株)が島根原子力発電所1・2号機(島根県)過去の定期検査不備を公表 |
| 9 | 2010年4月 | 原子力委員会が「平成21年版原子力白書」を公表 |
| 10 | 2010年5月 | 高速増殖原型炉もんじゅがナトリウム漏えい事故後14年5ヶ月ぶりに運転を再開 |
| 11 | 2010年6月 | 川内原子力発電所3号機(鹿児島県)増設に薩摩川内市長が同意を表明 |
| 12 | 2010年6月 | 脱原子力政策のスイッチで原子炉建替法案が可決 |
| 13 | 2010年6月 | APECエネルギー相会合が温暖化対策に原子力発電建設促進を共同声明に盛り込む |
| 14 | | どれも知らない |

【すべての方に】

問20-1 今後日本は、どのようなエネルギーを利用・活用していけばよいと思いますか。以下にあげているエネルギーの中から、お選びください。(〇はいくつでも)

- | | | |
|----|------------|---|
| 1 | 石炭火力発電 | |
| 2 | 石油火力発電 | |
| 3 | 天然ガス火力発電 | |
| 4 | 原子力発電 | |
| 5 | 水力発電 | |
| 6 | 地熱発電 | |
| 7 | 風力発電 | |
| 8 | 太陽光発電 | |
| 9 | 廃棄物発電 | |
| 10 | バイオマス発電 | |
| 11 | その他(具体的に: |) |
| 12 | あてはまるものはない | |

【すべての方に】

問20-2 あなたが問20-1でそう答えた理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選び下さい。(〇はいくつでも)

- | | | |
|----|-------------------------------|---|
| 1 | エネルギーの安定供給のために多様なエネルギー源が必要だから | |
| 2 | 日本にはエネルギー資源が少ないから | |
| 3 | 化石燃料には限りがあるから | |
| 4 | CO2を排出せず、温暖化防止に役立つから | |
| 5 | 発電価格(コスト)の面で有利だから | |
| 6 | 自然エネルギーだから | |
| 7 | 国産のエネルギーを増やすことは重要だから | |
| 8 | 安全そうだから | |
| 9 | よく聞くから | |
| 10 | 自然の力を利用すべきだから | |
| 11 | 枯渇の心配がないから | |
| 12 | その他(具体的に: |) |
| 13 | あてはまるものはない | |

【すべての方に】

問21 日本の原子力利用は、原子力発電や放射線の平和利用の分野に限っており、

これらは政策・規制・技術などのしくみ※5で支えられています。

あなたはこのしくみについて信頼できると思いますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-----------------|-------------|------------------|
| 1 信頼できる | 3 どちらともいえない | 4 どちらかといえば信頼できない |
| 2 どちらかといえば信頼できる | 5 信頼できない | |

<※5政策・規制・技術などのしくみ>

原子力や放射線を安全に利用するしくみ

テロに利用されないよう、核物質を安全に管理するしくみ

原子力発電の燃料を兵器に転用させないしくみ

人や環境への影響を防ぐしくみ

【すべての方に】

問22 最後に原子力やエネルギー、放射線、またこれらに関する情報源、情報発信の手段などに

対するお考えがあればお書き下さい。

(ご自由に)

3. 5 世論調査結果

調査概要

<2010年9月>

- 調査地域 : 全国
- 調査対象者 : 15～79歳男女個人
- サンプリング : 住宅地図データベースから世帯を抽出し、個人を割当
- 調査方法 : 個別訪問留置調査
- サンプル数 : 1200人
- 実査期間 : 2010年9月1日(水)～13日(月)

I 章 属性、社会的価値観など

1. 性別

	(%)	
	男性	女性
全体(N=1200)	49.3	50.7

2. 年代

	(%)						
	10代*	20代	30代	40代	50代	60代	70代
全体(N=1200)	6.3	15.1	17.8	15.3	18.4	15.8	11.2

*10代は15-19歳

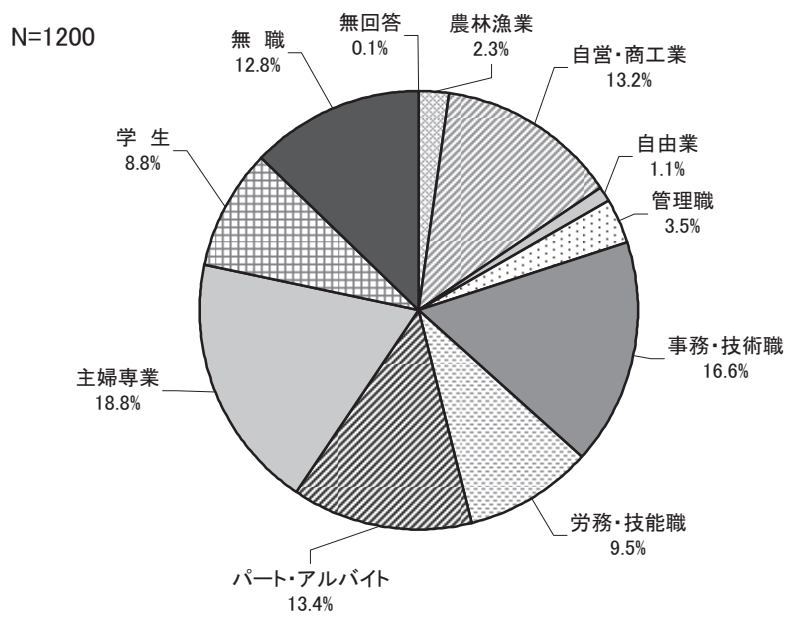
3. 居住地

全体(N=1200)			
東日本	北海道	4.5	原発立地県
	青森県	1.5	原発立地県
	岩手県	0.5	非立地県
	宮城県	2.5	原発立地県
	秋田県	1.0	非立地県
	山形県	1.0	非立地県
	福島県	1.0	原発立地県
	茨城県	2.0	原発立地県
	栃木県	2.0	非立地県
	群馬県	1.0	非立地県
	埼玉県	6.5	非立地県
	千葉県	4.5	非立地県
	東京都	10.5	非立地県
	神奈川県	7.0	非立地県
	新潟県	2.0	原発立地県
	富山県	0.5	非立地県
	山梨県	-	非立地県
	長野県	2.0	非立地県
静岡県	2.5	原発立地県	

原発立地県	20.5
原発非立地県	79.5

(%)			
西日本	石川県	1.0	原発立地県
	福井県	1.0	原発立地県
	愛知県	6.0	非立地県
	三重県	1.5	非立地県
	岐阜県	1.5	非立地県
	滋賀県	1.0	非立地県
	京都府	1.5	非立地県
	大阪府	7.5	非立地県
	兵庫県	3.5	非立地県
	奈良県	1.5	非立地県
	和歌山県	1.0	非立地県
	鳥取県	-	非立地県
	島根県	0.5	原発立地県
	岡山県	2.0	非立地県
	広島県	2.5	非立地県
	山口県	1.0	非立地県
	徳島県	1.0	非立地県
	香川県	1.0	非立地県
	愛媛県	1.0	原発立地県
	高知県	0.5	非立地県
	福岡県	4.5	非立地県
	佐賀県	-	原発立地県
	長崎県	1.0	非立地県
	熊本県	1.5	非立地県
	大分県	1.5	非立地県
	宮崎県	0.5	非立地県
	鹿児島県	1.0	原発立地県
	沖縄県	1.0	非立地県

4. 職業



5. 未婚

(%)

	既婚	未婚	離死別	無回答
全体(N=1200)	69.5	22.8	7.6	0.1

6. 学歴

(%)

	短大卒以下	大学卒以上	無回答
全体(N=1200)	78.5	21.2	0.4

7. 子どもの有無

(%)

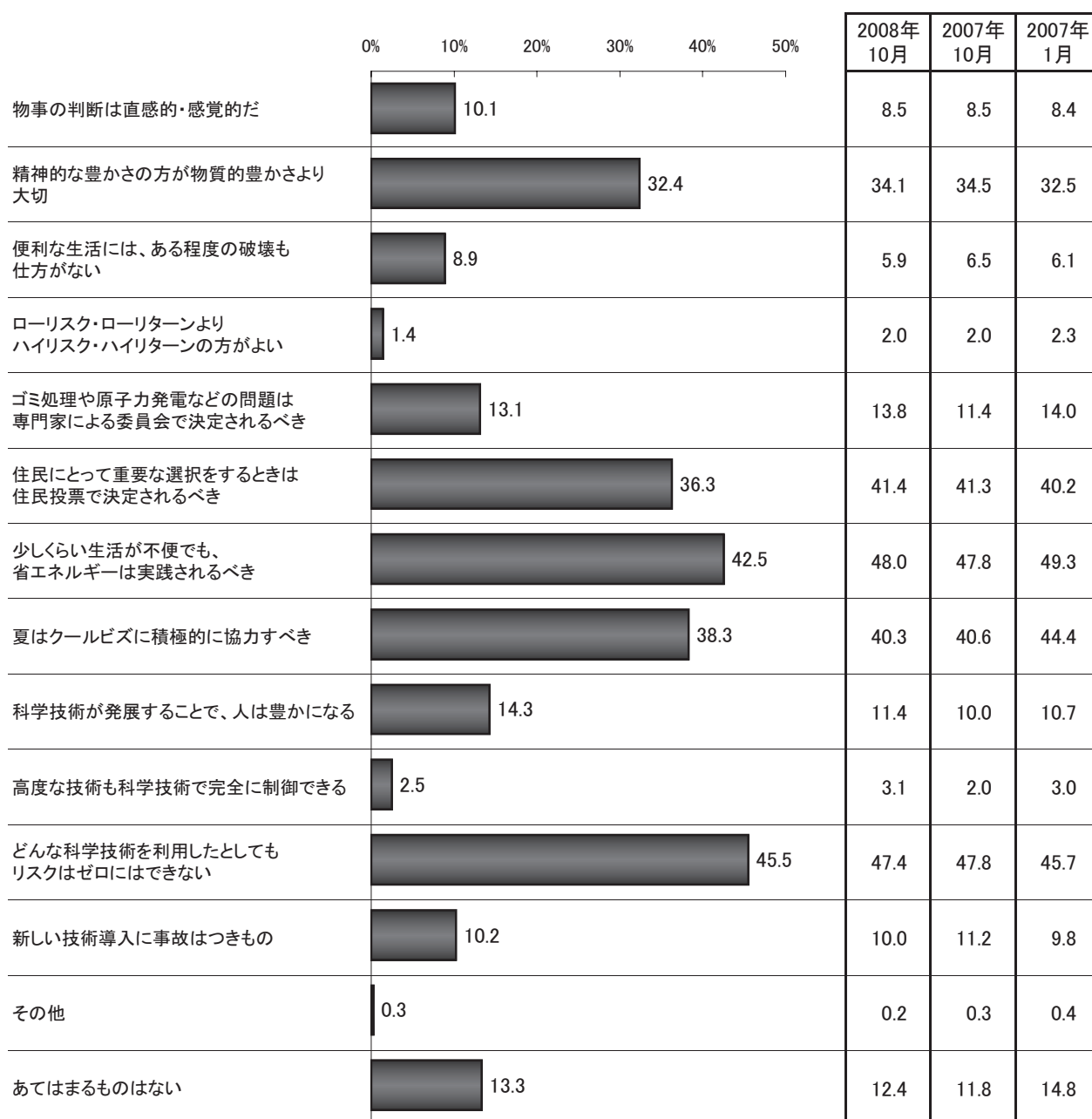
	子ども無	子ども有	その他	無回答
全体(N=1200)	26.2	66.1	6.9	0.8

●社会的価値観～科学技術、環境などに対する考え方

「科学技術、環境」などに対する考え方であてはまるという回答が多い項目は、「どんな科学技術を利用したとしてもリスクはゼロにはできない」(45.5%)、「少くらしい生活が不便でも、省エネルギーは実践されるべき」(42.5%)、「夏はクールビズに積極的に協力すべき」(38.3%)がトップ3。
 反対に、あてはまるという回答が少ない項目は、「ローリスク・ローリターンよりハイリスク・ハイリターンの方がよい」(1.4%)、「高度な技術も科学技術で完全に制御できる」(2.5%)、「便利な生活には、ある程度の破壊も仕方がない」(8.9%)であった。傾向は前回とおおむね同傾向である。

問18. 科学技術、環境などに対する、あなたご自身のお考えについてお伺いします。
 次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

全体 N=1200



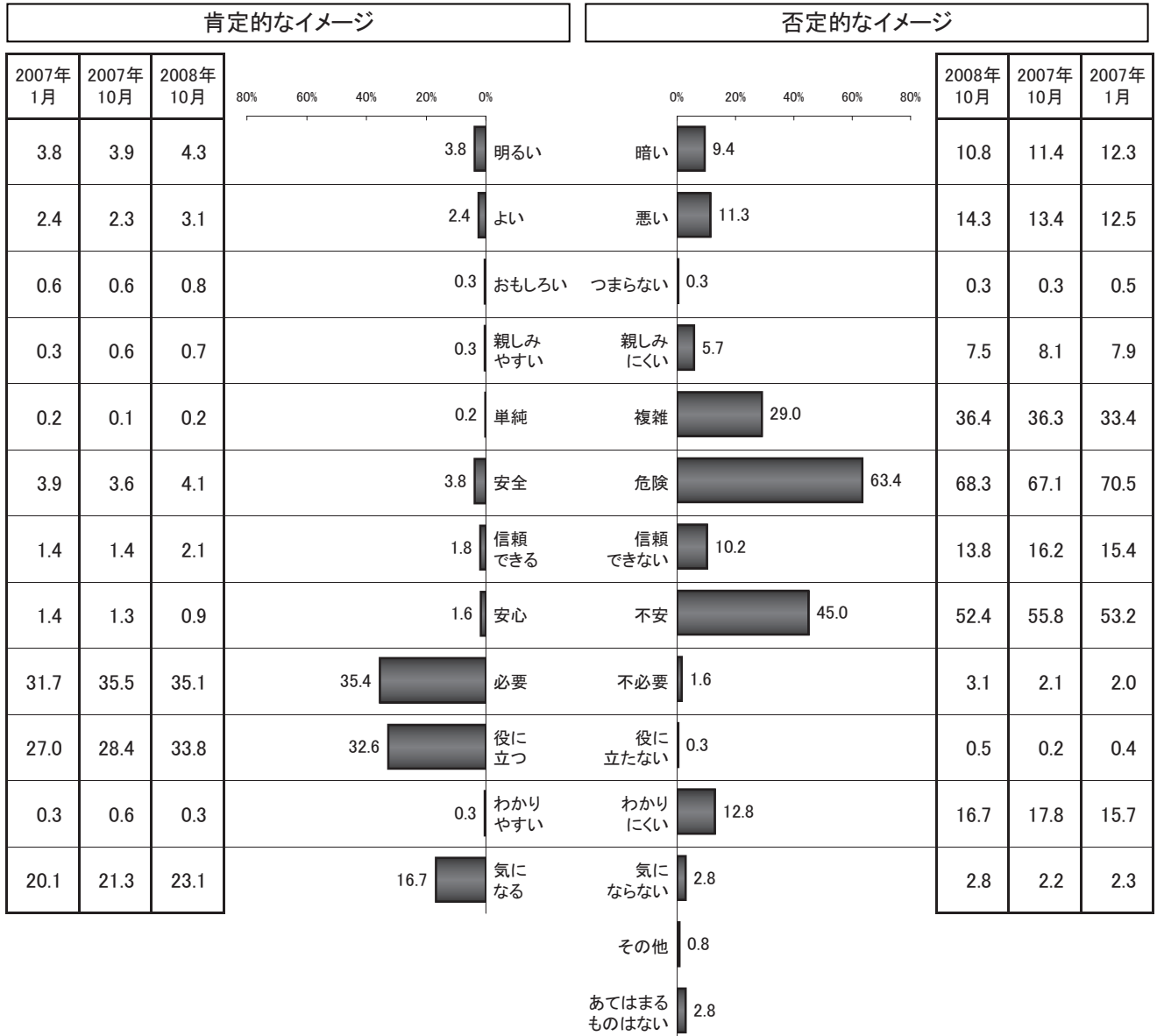
Ⅱ章 原子力・放射線・エネルギーに対する イメージと知識

●原子力・放射線・エネルギーに対するイメージと知識～原子力のイメージ

「原子力」という言葉から思い浮かぶイメージを尋ねたところ、全体として肯定的なイメージよりも否定的なイメージの反応が高く、「危険」(63.4%)、「不安」(45.0%)、「複雑」(29.0%)という回答が高い。
 一方、肯定的なイメージでは「必要」(35.4%)、「役に立つ」(32.6%)、「気になる」(16.7%)という回答が高い。
 肯定的／否定的イメージとも上位3項目は前回と同様。
 また、肯定的／否定的ともに前回と比較し減少傾向にあり、特に、「複雑」・「不安」は7.4ポイント、「危険」は4.9ポイント低くなっている。

問4. あなたは「原子力」という言葉を聞いたときに、どのようなイメージを思い浮かべますか。
 次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

全体 N=1200

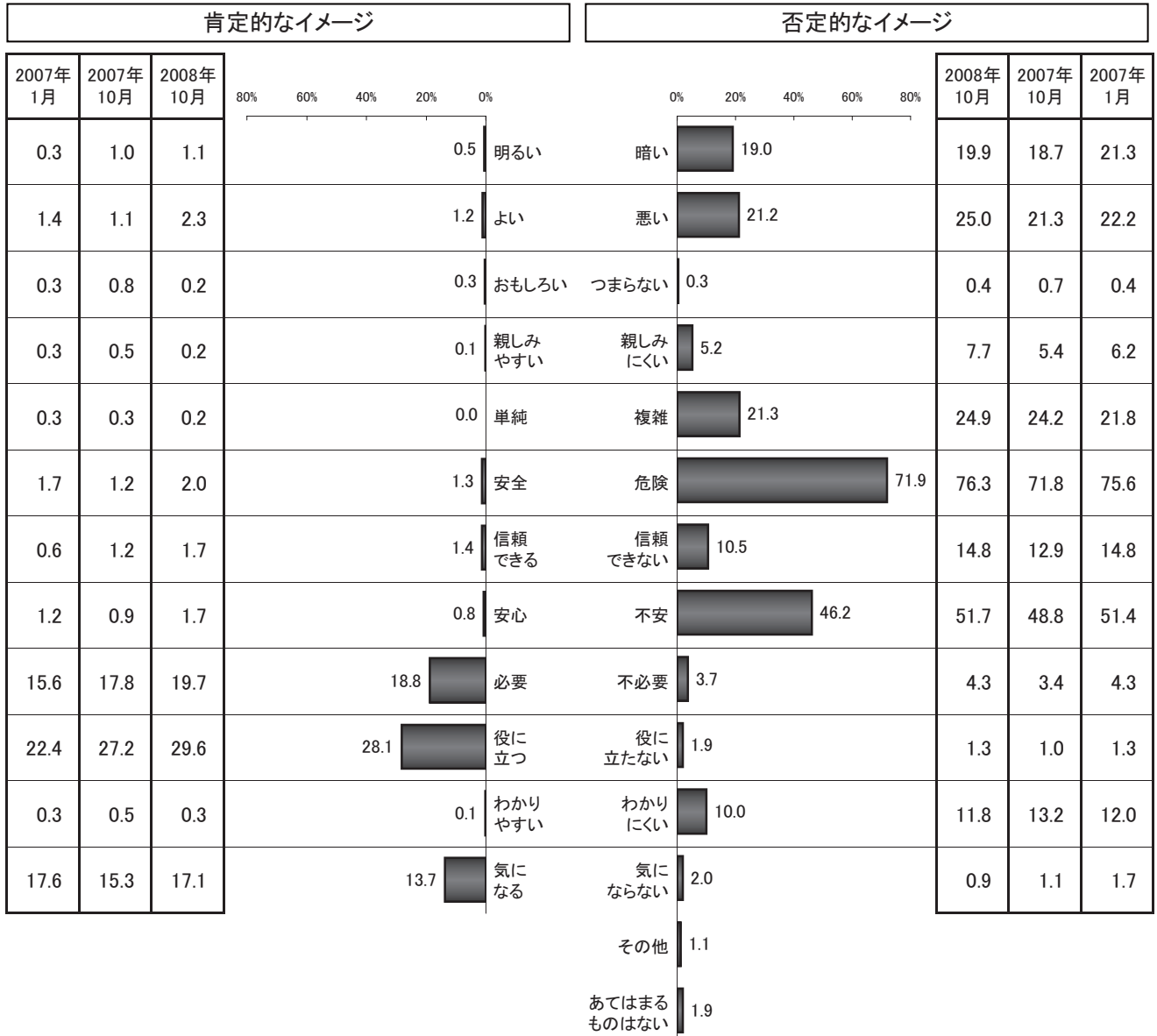


●原子力・放射線・エネルギーに対するイメージと知識～放射線のイメージ

「放射線」という言葉から思い浮かぶイメージを尋ねたところ、全体として肯定的なイメージよりも否定的なイメージの反応が高く、「危険」(71.9%)、「不安」(46.2%)という回答が高い。
 一方、肯定的なイメージでは「役に立つ」(28.1%)、「必要」(18.8%)、「気になる」(13.7%)という回答が高い。
 前回と比較しても、肯定的／否定的イメージの反応傾向は同傾向である。
 また、肯定的／否定的イメージともに前回と比較し減少傾向にあり、特に、「不安」は5.5ポイント低くなっている。

問5. あなたは「放射線」という言葉を聞いたときに、どのようなイメージを思い浮かべますか。
 次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

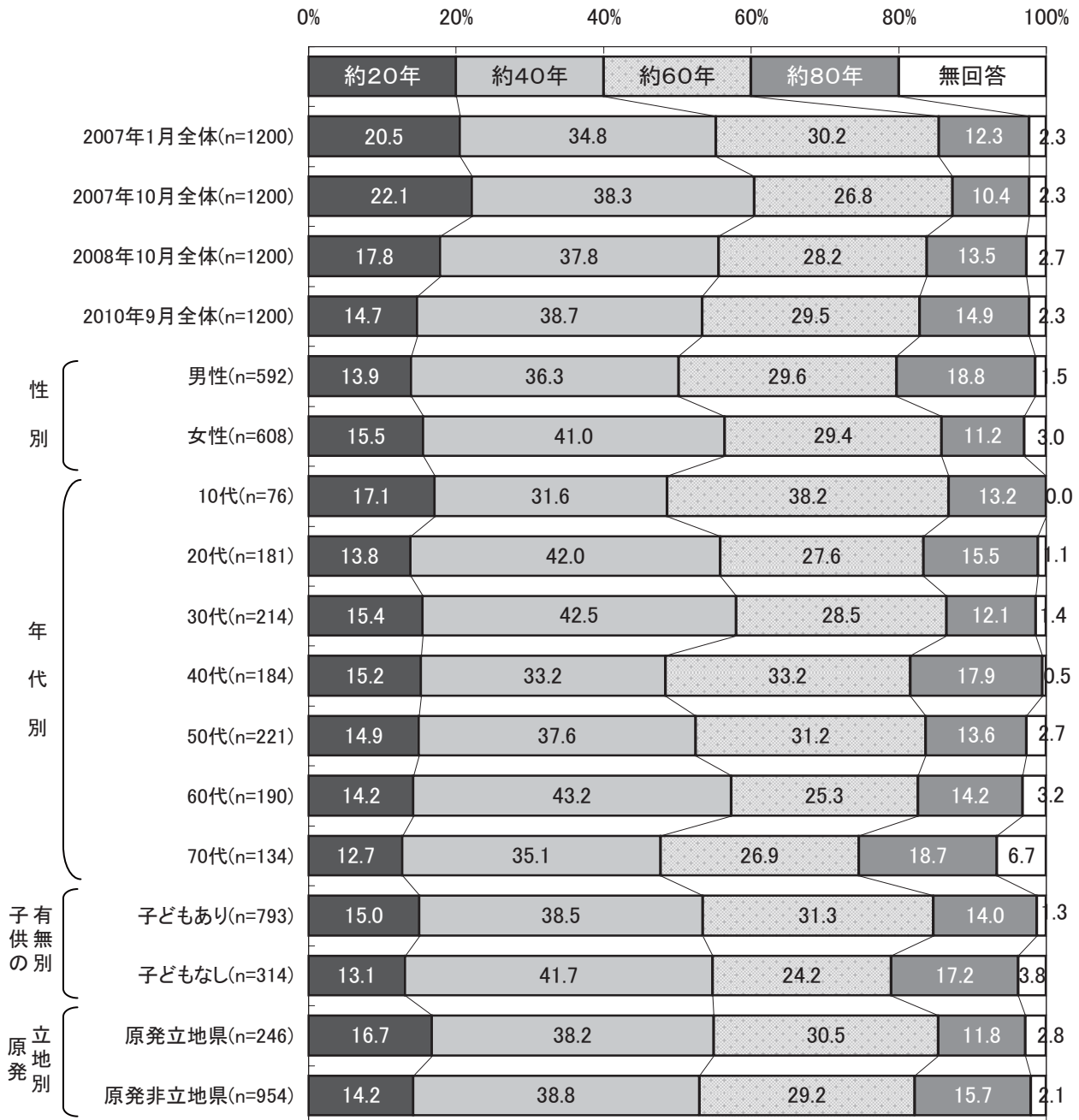
全体 N=1200



●原子力・放射線・エネルギーに対するイメージと知識～エネルギーに関する知識①

石油の可採年数を尋ねたところ、「約40年」が38.7%で最も高く、「約60年」(29.5%)、「約80年」(14.9%)、「約20年」(14.7%)の順で、下位2項目の順序が入れ替わった。
 また、性別でみると、「約40年」と回答した男性は38.7%、女性は41.0%となっており、女性の正解率が高い。
 年代別では、08年調査と比較すると10代の正解率は50.7%から31.6%へと19.1ポイントと大幅に下がっている。

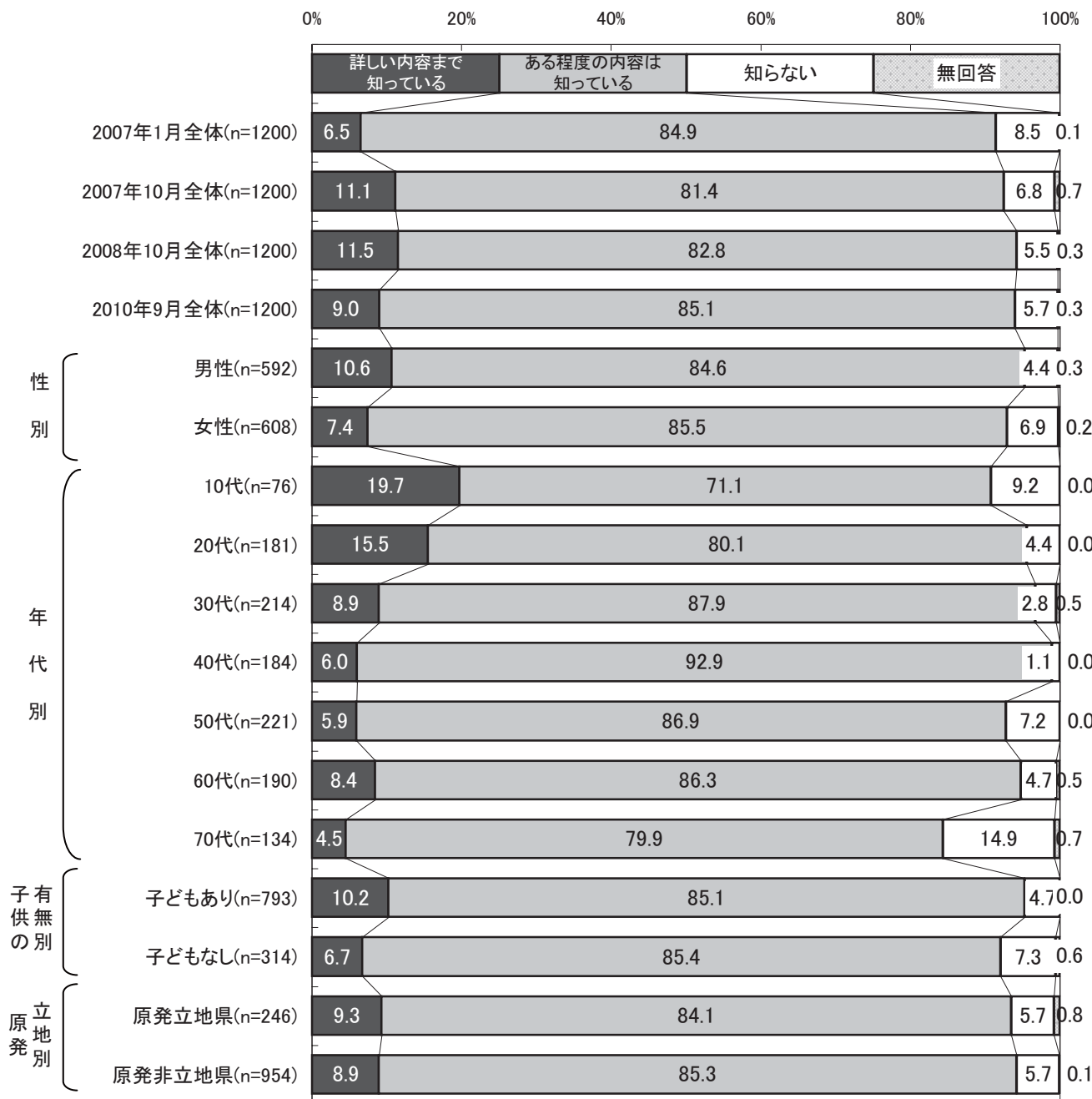
問1. あなたは石油の可採年数はどのくらいだと思いますか。(○は1つだけ)



●原子力・放射線・エネルギーに対するイメージと知識～エネルギーに関する知識②

二酸化炭素などのガスの増加によって地球温暖化が起きると言われていることを知っているか尋ねた。「詳しい内容まで知っている」(9.0%)と「ある程度の内容は知っている」(85.1%)を合わせた認知率は94.1%と認知は浸透している。傾向は前回とおおむね同様である。
 性別では、「詳しい内容まで知っている」という回答は女性(7.4%)、男性(10.6%)で、前回と比較すると男性が5ポイント下がって差が縮小した。
 年代別でみると、10代で「詳しい内容まで知っている」が前回33.3%から、今回19.7%へと13.6ポイント下がっている。

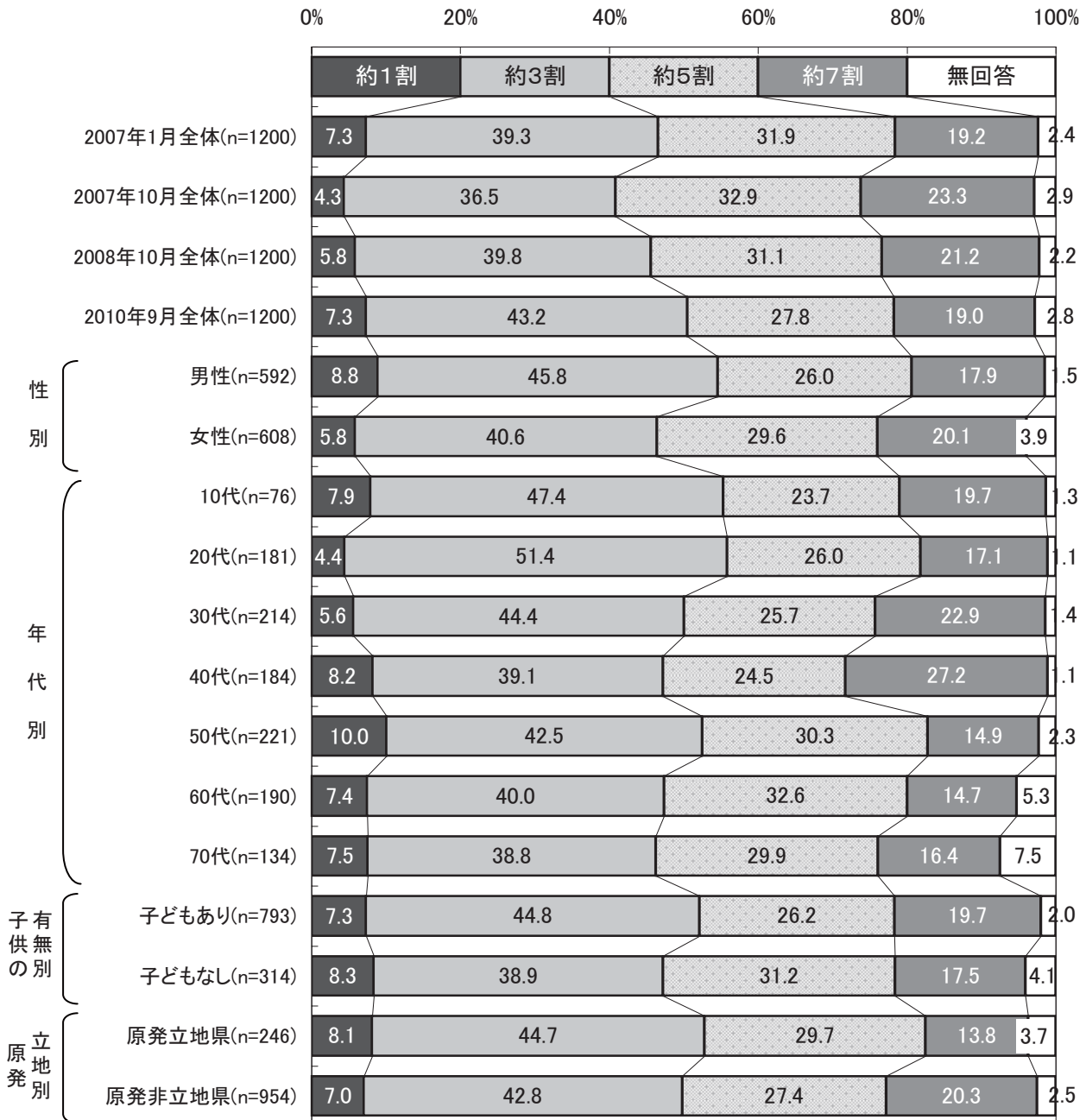
問2. あなたは二酸化炭素などのガスの増加によって地球温暖化が起きると言われていることをご存知ですか。(○は1つだけ)



●原子力・放射線・エネルギーに対するイメージと知識～原子力に関する知識

日本の発電電力量の約何割を原子力が担っていると思うか尋ねた。
 「約3割」が43.2%で最も高く、「約5割」(27.8%)、「約7割」(19.0%)、「約1割」(7.3%)の順。
 序列は前回と同様であり、正解率は2007年1月調査を除くと増加傾向にある。
 性別でみると、「約3割」と回答したのは、女性(40.6%)よりも男性(45.8%)の方が約5ポイント高い。
 年代別でみると、「約3割」の回答は、20代で51.4%と最も高い。また、前回と比較し10代は8.6%、60代は1.7%減少しているが、他の年代の正解率は増加傾向にある。特に20代・30代では10ポイント以上の増加。

問3. あなたは日本の発電電力量の約何割を原子力が担っていると思いますか。(○は1つだけ)

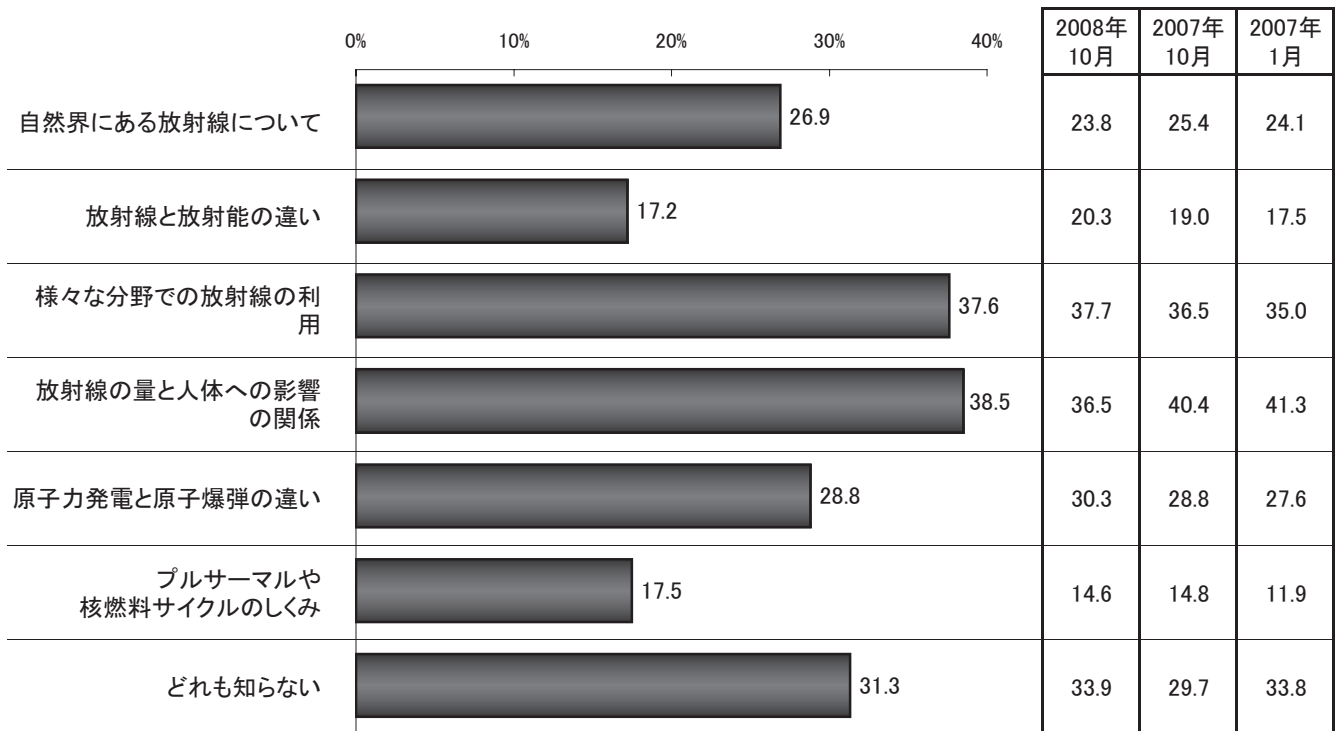


●原子力・放射線・エネルギーに対するイメージと知識～放射線に関する知識

原子力・放射線・エネルギーについての認知率が高い項目は、「放射線の量と人体への影響の関係」(38.5%)、「様々な分野での放射線の利用」(37.6%)、「どれも知らない」(31.3%)の3項目で3割を超える。次いで、「原子力発電と原子爆弾の違い」(28.8%)、「自然界にある放射線について」(26.9%)、「プルサーマルや核燃料サイクルのしくみ」(17.5%)、「放射線と放射能の違い」(17.2%)の順。前回トップだった「放射線の量と人体への影響の関係」がやや増加し、今回は1位にもどった。また、2009年12月には日本でプルサーマルの営業運転がはじまったが、「プルサーマルや核燃料サイクルのしくみ」は前回から2.9ポイントの増加にとどまった。

問6. 以下にあげる事柄について、あなたをご存知のものはどれですか。ご存知のものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

全体 N=1200

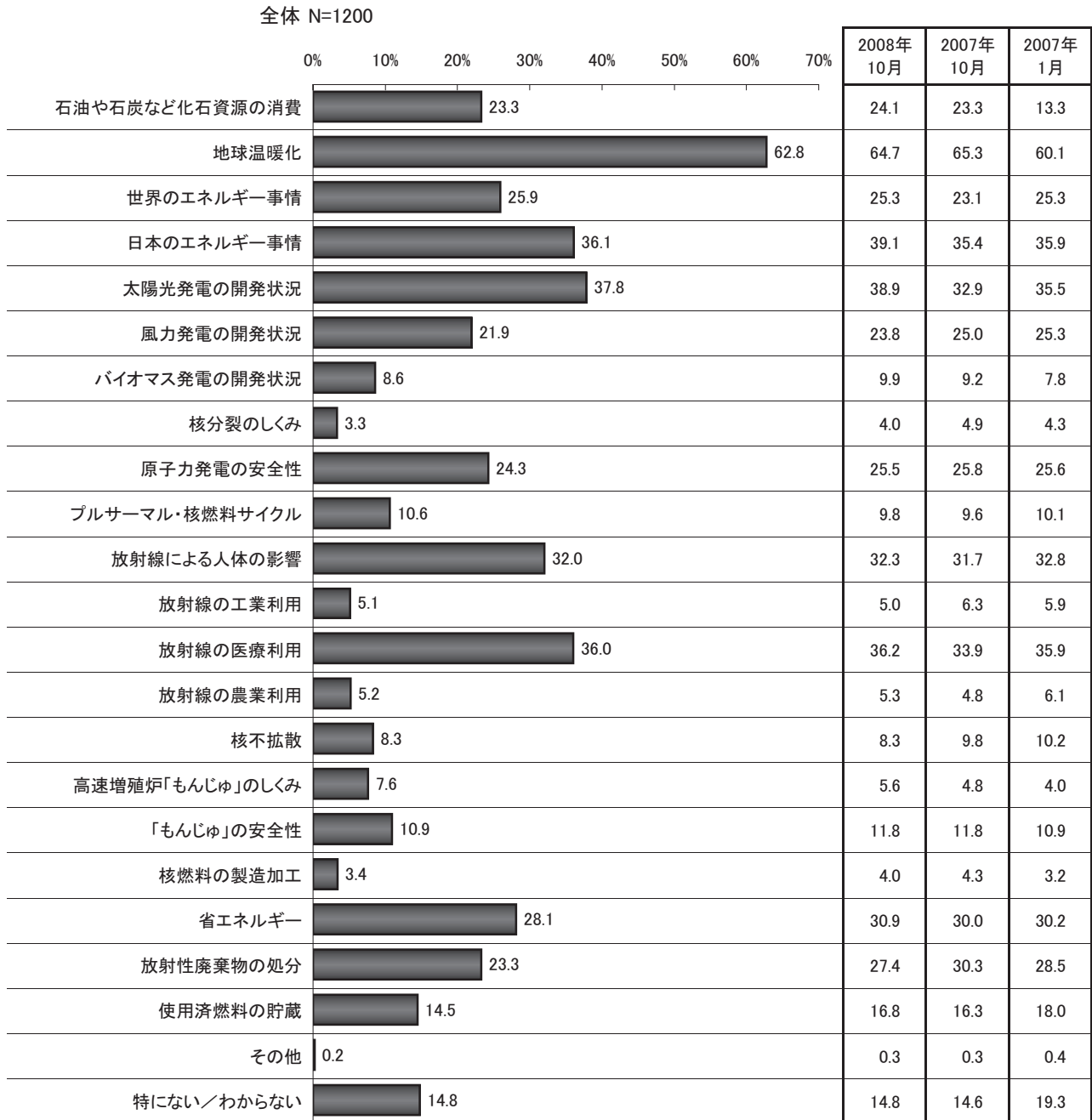


Ⅲ章 原子力・放射線・エネルギーについての関心

●原子力・放射線・エネルギー分野への関心～原子力やエネルギーへの関心①

原子力やエネルギーの分野について関心のあることを尋ねた。
 関心が高い項目は「地球温暖化」の62.8%で他の項目に比べ顕著に高く、関心の高さが伺える。次いで「太陽光発電の開発状況」(37.8%)、「日本のエネルギー事情」(36.1%)、「放射線の医療利用」(36.0%)、「放射線による人体の影響」(32.0%)への関心が3割を超える。

問7-1. 原子力やエネルギーの分野において、あなたが関心のあることはどれですか。
 次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)



* 2007年1月の選択肢は「化石資源の消費」、2007年10月は「石油や石炭など化石資源の消費」に変更

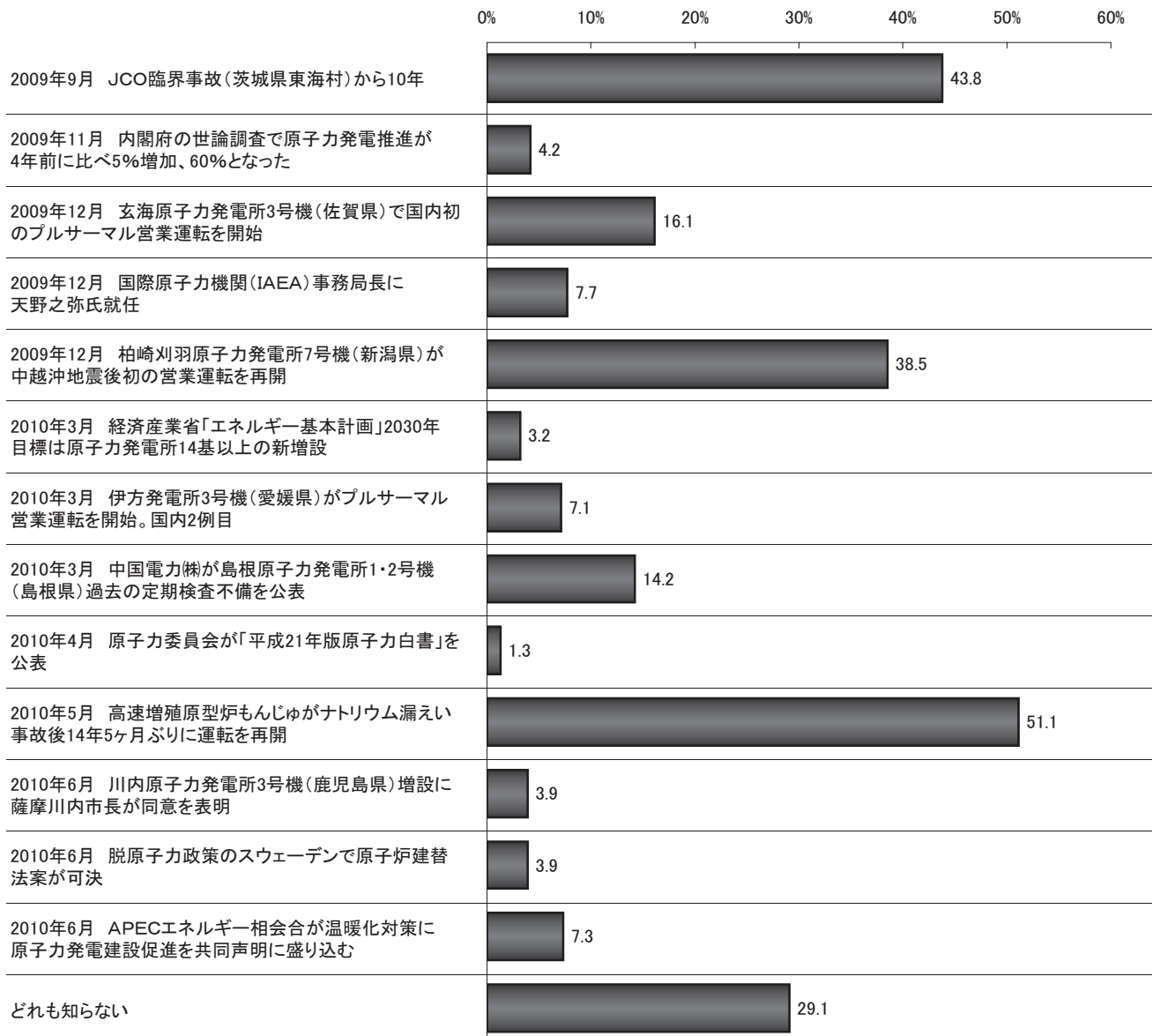
* 2007年1月、2007年10月の選択肢は「高速増殖炉のしくみ」、2008年10月は「高速増殖炉「もんじゅ」のしくみ」に変更

●原子力・放射線・エネルギー分野への関心～原子力やエネルギーへの関心②

2009年後半～2010年前半に発信された、原子力やエネルギーにまつわる国内外のニュースの認知を尋ねた。認知の高い項目は「2010年5月 高速増殖原型炉もんじゅがナトリウム漏えい事故後14年5ヶ月ぶりに運転を再開」(51.1%)、「2009年9月 JCO臨界事故(茨城県東海村)から10年」(43.8%)で4割を超える。次いで「2009年12月 柏崎刈羽原子力発電所7号機(新潟県)が中越沖地震後初の営業運転を再開」(38.5%)「どれも知らない」(29.1%)と続き、少し差が開いて「2009年12月 玄海原子力発電所3号機(佐賀県)で国内初のプルサーマル営業運転を開始」(16.1%)、「2010年3月 中国電力株が島根原子力発電所1・2号機(島根県)過去の定期検査不備を公表」(14.2%)と続く。

問19. 次にあげる原子力やエネルギーにまつわるニュースをご存知でしたか。
ご存知のものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

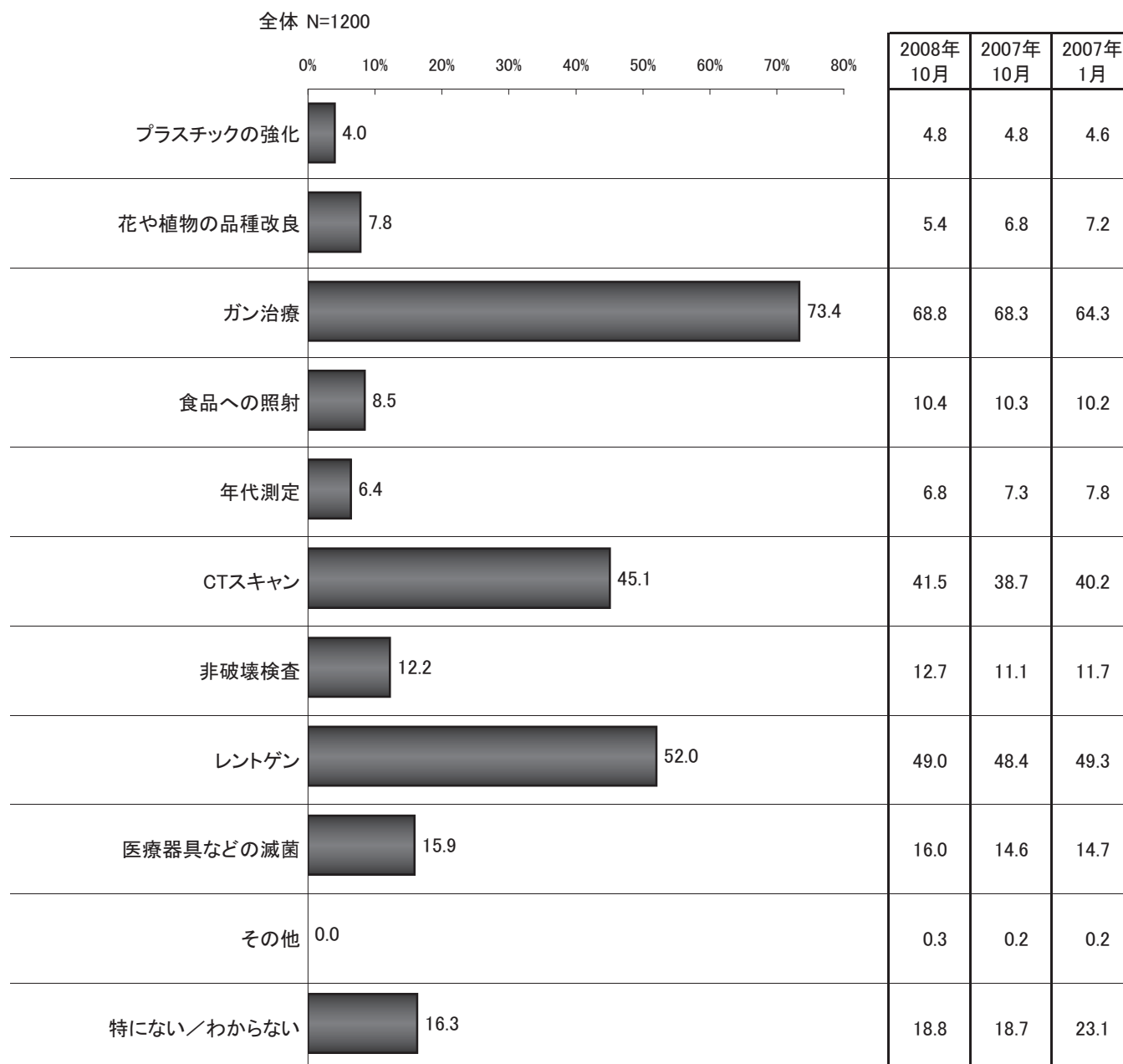
全体 N=1200



●原子力・放射線・エネルギー分野への関心～放射線利用への関心

放射線利用の分野について関心のあることを尋ねた。
 関心が高い項目は「ガン治療」の73.4%で他の項目に比べ特に高く、次に「レントゲン」(52.0%)、「CTスキャン」(45.1%)への関心が5割程度となっており、医療分野での放射線利用の関心の高さが伺える。
 前回と比べても、上位項目は同様に医療以外の分野についての関心は低めにとどまる。

問7-2. 放射線利用の分野において、あなたが関心のあることはどれですか。
 次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

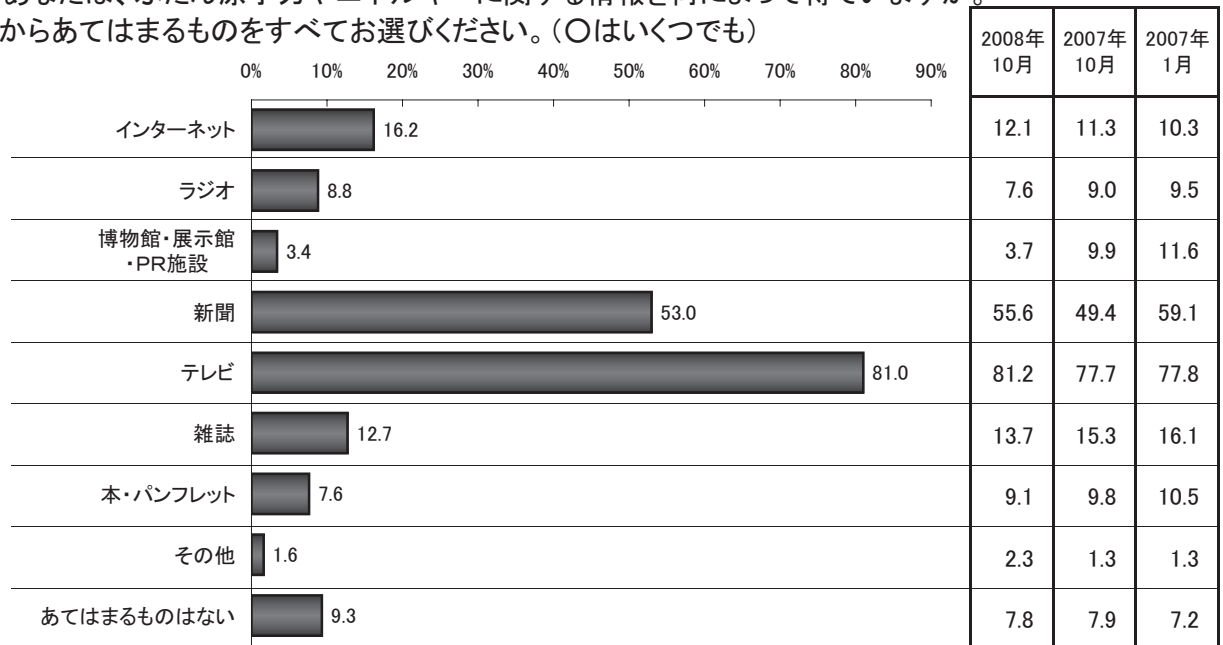


IV章 原子力広報評価

●原子力広報評価～原子力やエネルギーに関する情報源①

原子力やエネルギーに関する日頃の情報源を尋ねたところ、「テレビ」(81.0%)、「新聞」(53.0%)が主な情報源となっていることがわかる。この傾向は前回と同様である。
 また、経年変化をみると、インターネットは穏やかではあるが上昇傾向にある。
 年代別にみると、20～30代の若い層は「インターネット」、40～70代の中・高年層は「新聞」で、全体よりも10ポイント程度またはそれ以上高い。
 子供の有無別で見ると、インターネットを除く全ての項目で子どもなしの方が高い。

問8-1. あなたは、ふだん原子力やエネルギーに関する情報を何によって得ていますか。
 次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)



		インターネット	ラジオ	博物館・展示館・PR施設	新聞	テレビ	雑誌	本・パンフレット	その他	あてはまるもの
全体 (N=1200)		16.2	8.8	3.4	53.0	81.0	12.7	7.6	1.6	9.3
性別	男性 (n=592)	19.8	10.5	1.9	56.8	79.6	15.4	7.6	1.4	8.6
	女性 (n=608)	12.7	7.1	4.9	49.3	82.4	10.0	7.6	1.8	9.9
年代別	10代 (n=76)	18.4	1.3	2.6	18.4	55.3	-	2.6	11.8	28.9
	20代 (n=181)	26.0	5.0	1.7	29.3	77.9	8.3	9.4	2.8	11.6
	30代 (n=214)	26.2	5.6	2.3	38.8	77.1	12.6	5.1	0.9	10.3
	40代 (n=184)	17.4	8.2	4.3	62.0	84.8	10.9	6.0	-	3.8
	50代 (n=221)	14.9	10.4	5.9	70.1	85.5	16.3	10.0	0.9	4.5
	60代 (n=190)	5.8	14.7	4.2	71.1	90.0	16.8	8.9	-	4.7
	70代 (n=134)	0.7	12.7	1.5	61.2	80.6	16.4	8.2	0.7	14.9
子供有無別	子どもあり (n=793)	18.9	7.4	3.0	50.8	79.3	10.1	6.3	1.9	9.8
	子どもなし (n=314)	9.6	12.1	3.8	60.2	85.4	18.5	10.5	-	8.3
原発立地別	原発立地県 (n=246)	15.9	11.8	3.7	53.7	82.1	11.4	8.1	0.8	8.5
	原発非立地県 (n=954)	16.2	8.0	3.4	52.8	80.7	13.0	7.4	1.8	9.4

* 網掛けは全体値より5ポイント以上高いセグメントを示す

* 2007年1月、2007年10月の選択肢は「国や電力会社などのPR施設」、2008年10月は「博物館・展示館・PR施設」に変更

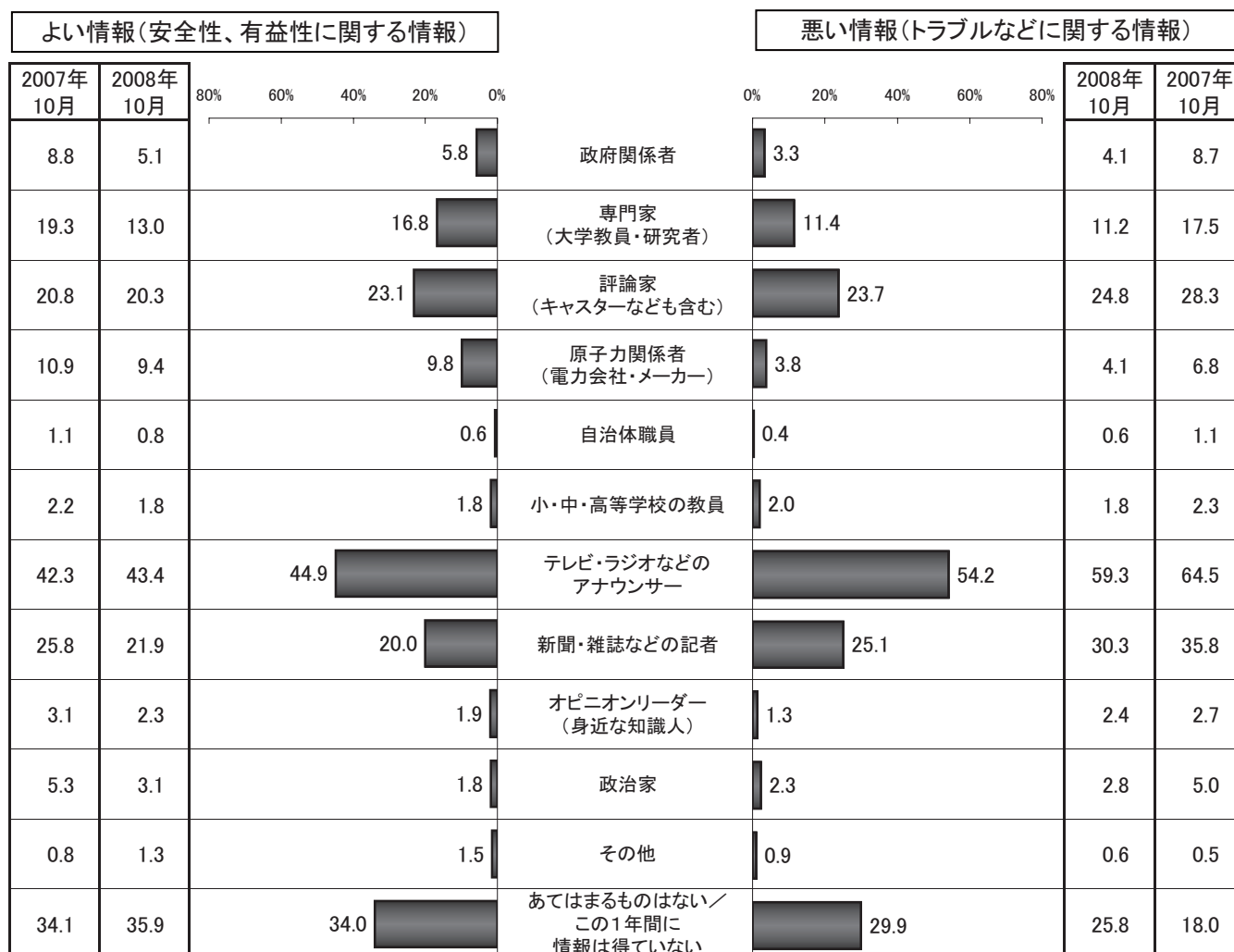
●原子力広報評価～原子力やエネルギーに関する情報源②

原子力やエネルギーに関するよい情報と悪い情報の入手経路を尋ねた。
 よい情報、悪い情報とも「テレビ・ラジオなどのアナウンサー」が最も高い。
 悪い情報で「テレビ・ラジオなどのアナウンサー」「新聞・雑誌などの記者」を挙げる人は、それぞれ一昨年、昨年、今年と5ポイント程度ずつの減少が続いている。

問8-2. あなたは、この1年間に原子力やエネルギーに関する「よい情報(安全性、有益性に関する情報)」をどのような人の発言から得ましたか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。
 (○はいくつでも)

問8-3. あなたは、この1年間に原子力やエネルギーに関する「悪い情報(トラブルなどに関する情報)」をどのような人の発言から得ましたか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。
 (○はいくつでも)

※ テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネットなどのメディアから得る、もしくは直接聞くかは問いません。



全体 N=1200

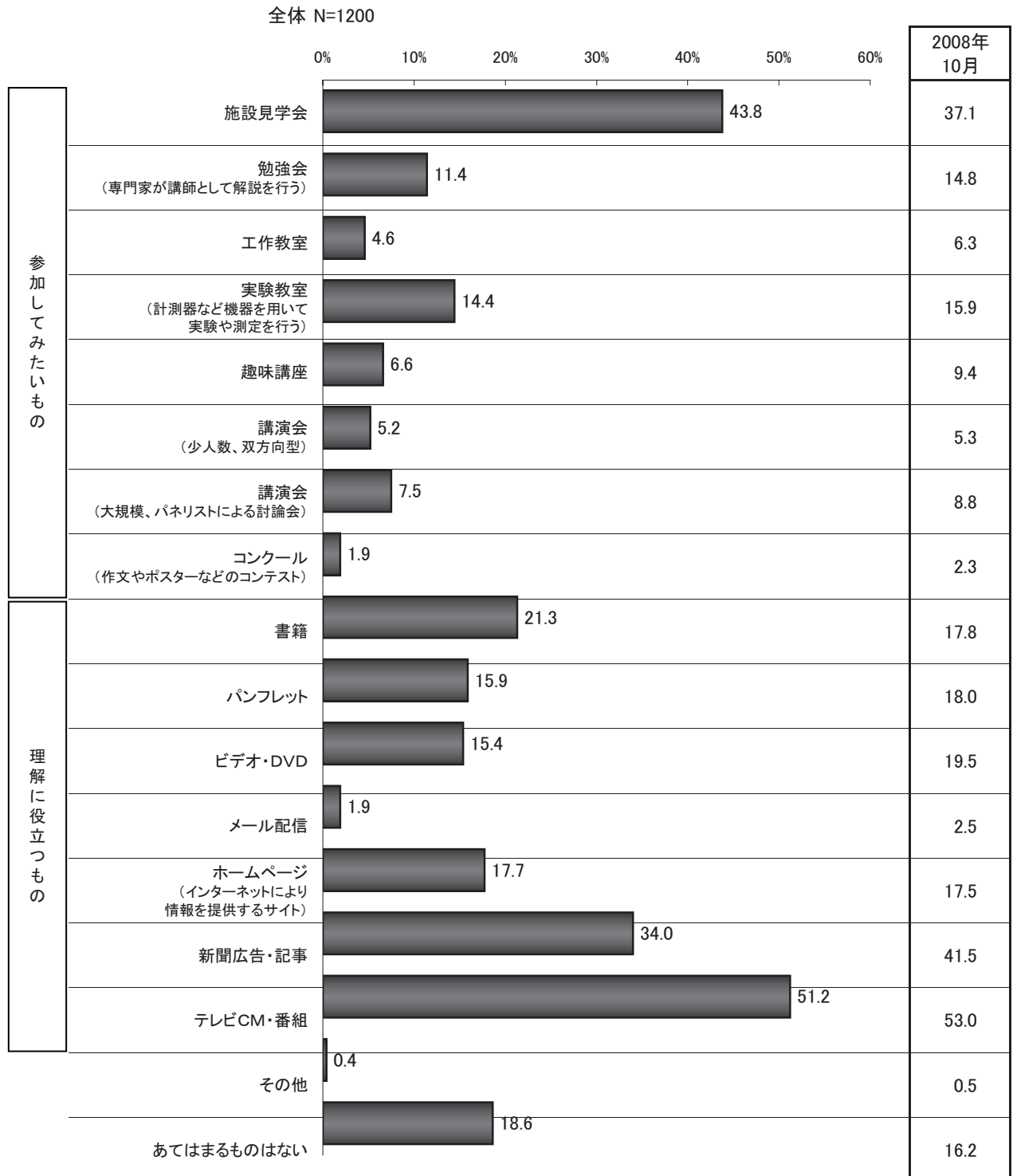
* 2007年10月では、全ての選択肢に「の発言」を付けた表記で聴取
 * 2007年10月では、「テレビ」は「TV」の表記で聴取

●原子力広報評価

～原子力やエネルギーに関するイベント・施設・情報源で参加してみたいもの・理解に役立つもの

原子力やエネルギーに関するイベント・施設・情報源の中で参加してみたいもの、理解に役立つものを尋ねたところ、参加してみたいものでは「施設見学会」が前回より6.7ポイント増え43.8%でトップ。理解に役立つものでは、1位は「テレビCM・番組」は51.2%で前年とほぼ同様だが、2位の「新聞広告・記事」は順位は変わらないものの前年41.5%から34.0%へと7.5ポイントのダウン。

問9. 以下に挙げている「原子力やエネルギーに関するイベント・施設・情報源」の中で、参加してみたいもの、理解に役立つものはどれですか。あてはまるものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

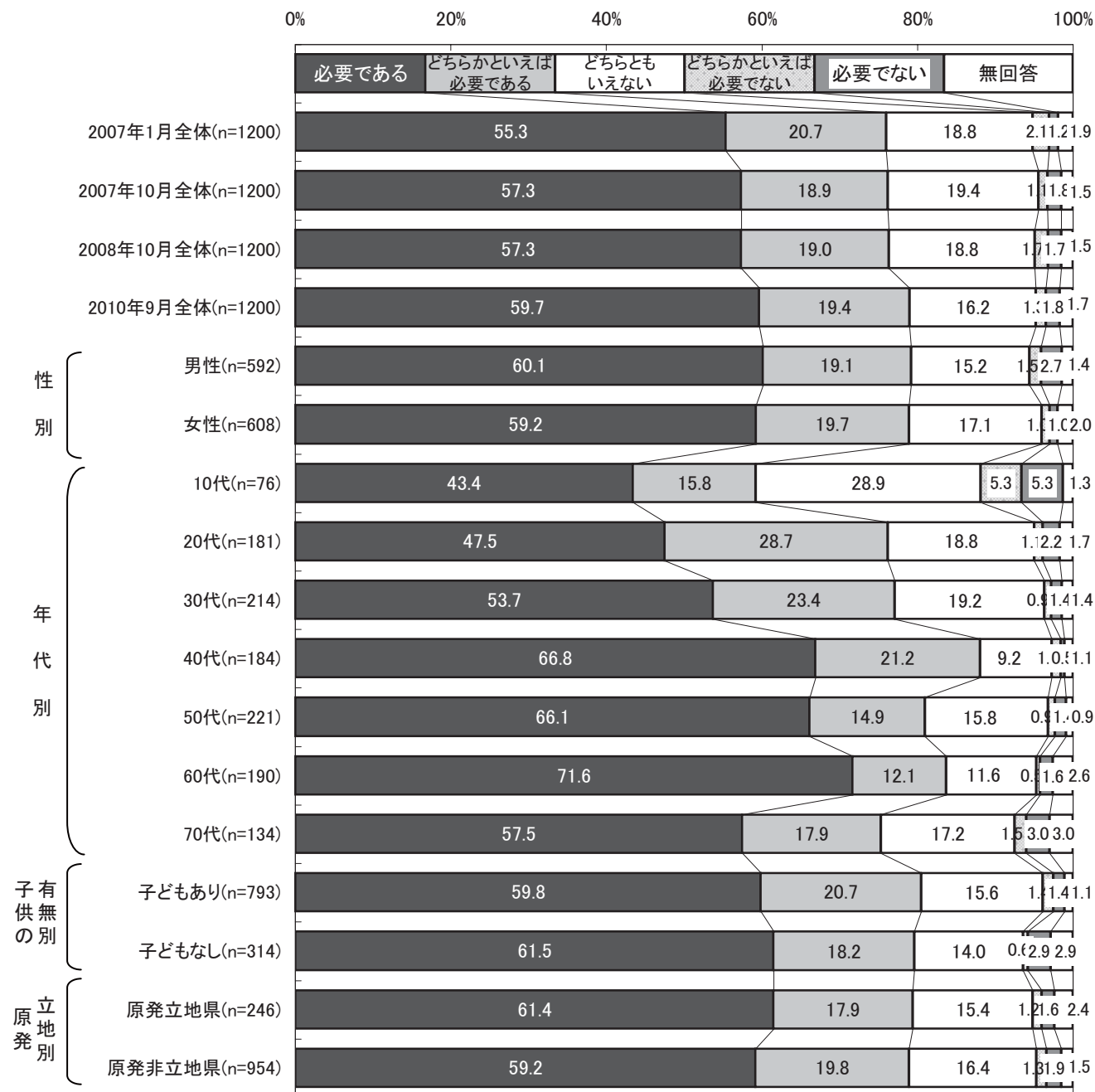


●原子力広報評価～知識普及啓発活動のあり方①

「世界唯一の被爆国として、原子力技術を平和利用に限ること、原子力利用の安全を確保することについて、もっとアピールすること」に対し、「必要である」という回答は59.7%、「どちらかといえば必要である」は19.4%で、この考え方に肯定的な回答(「必要である」+「どちらかといえば必要である」)は79.1%で、前回と同傾向。
年代別では、「必要である」という回答は40～60代で6割を超える高い反応を示す。

問10. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つずつ)

【世界唯一の被爆国として、原子力技術を平和利用に限ること、原子力利用の安全を確保することについて、もっとアピールすること】



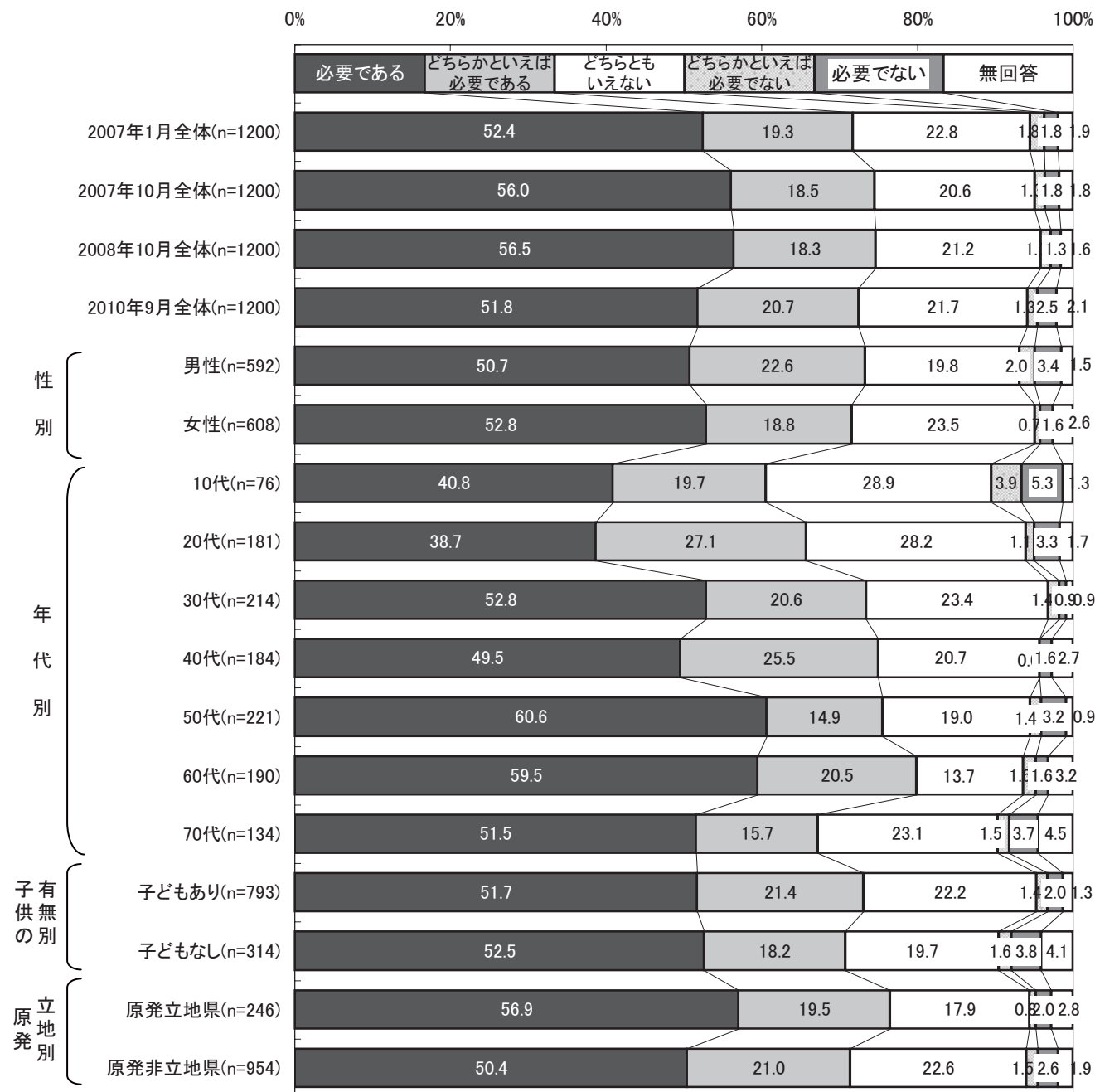
* 2007年1月の選択肢は「そう思う／どちらかといえばそう思う」、2007年10月は「必要である／どちらかといえば必要である」

●原子力広報評価～知識普及啓発活動のあり方②

「原子力の平和利用を広報する組織は、原子力の軍事利用の反対をもっと訴えていくこと」に対し、「必要である」という回答は51.8%、「どちらかといえば必要である」は20.7%で、この考え方に肯定的な回答(「必要である」+「どちらかといえば必要である」)は72.5%で、スコアは前回と同水準である。
 年代別では、「必要である」という回答は、10代と20代、30代と40代、50代と60代と2世代区切りでスコアが上昇傾向、70代は30代と40代程度に減少している。
 原発立地別では、「必要である」という回答は非立地県(50.4%)よりも立地県(56.9%)の方が6ポイント以上高い。

問10. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
 あなたの考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つずつ)

【原子力の平和利用を広報する組織は、原子力の軍事利用の反対をもっと訴えていくこと】

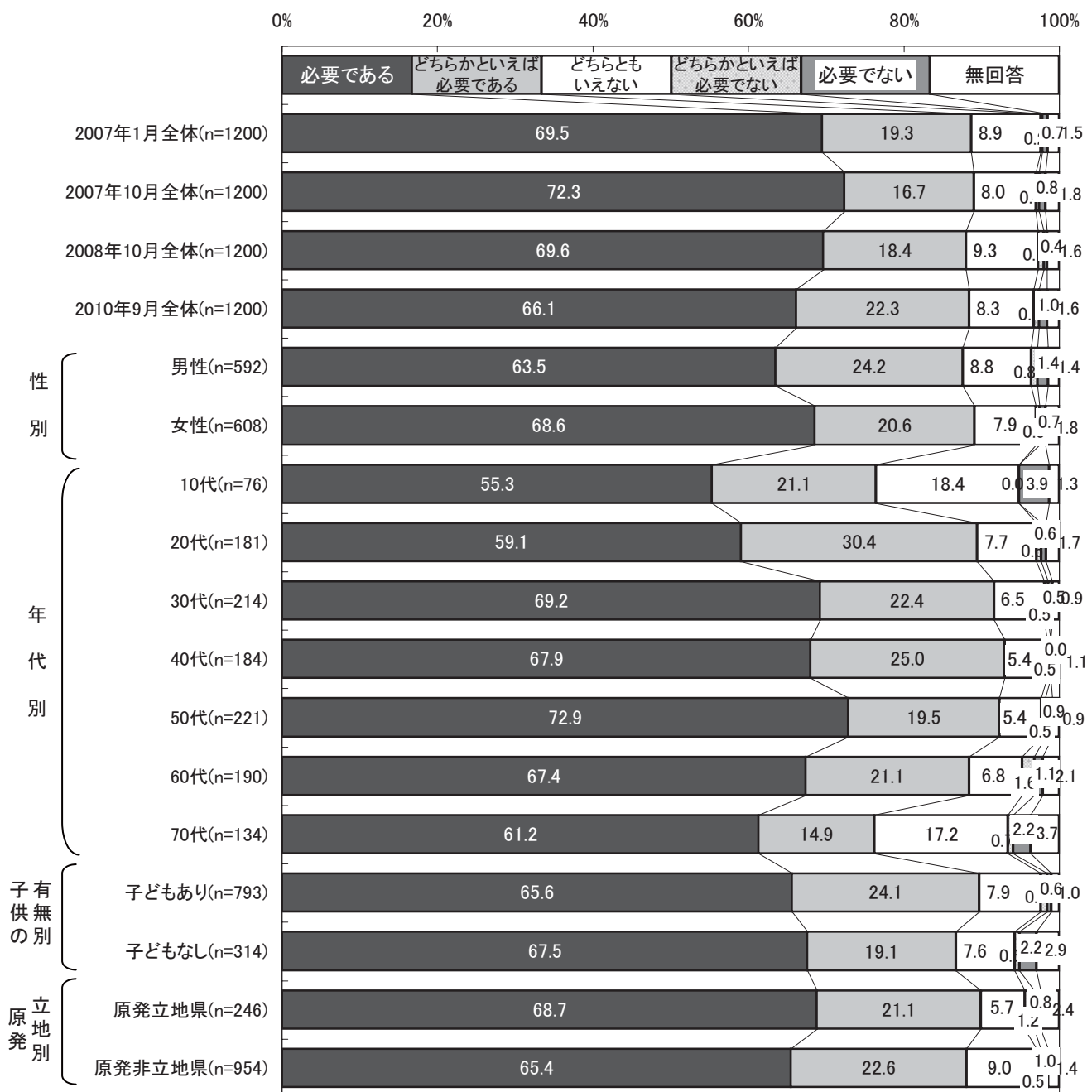


* 2007年1月の選択肢は「そう思う／どちらかといえばそう思う」、2007年10月は「必要である／どちらかといえば必要である」

●原子力広報評価～知識普及啓発活動のあり方③

「(原子力に関して)できるだけたくさんの情報が国民に届くようにすること」に対し、「必要である」という回答は66.1%、「どちらかといえば必要である」は22.3%で、この考え方に肯定的な回答(「必要である」+「どちらかといえば必要である」)は88.4%であり、水準は前回とほぼ同様。

問10. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つずつ)
【できるだけたくさんの情報が国民に届くようにすること】

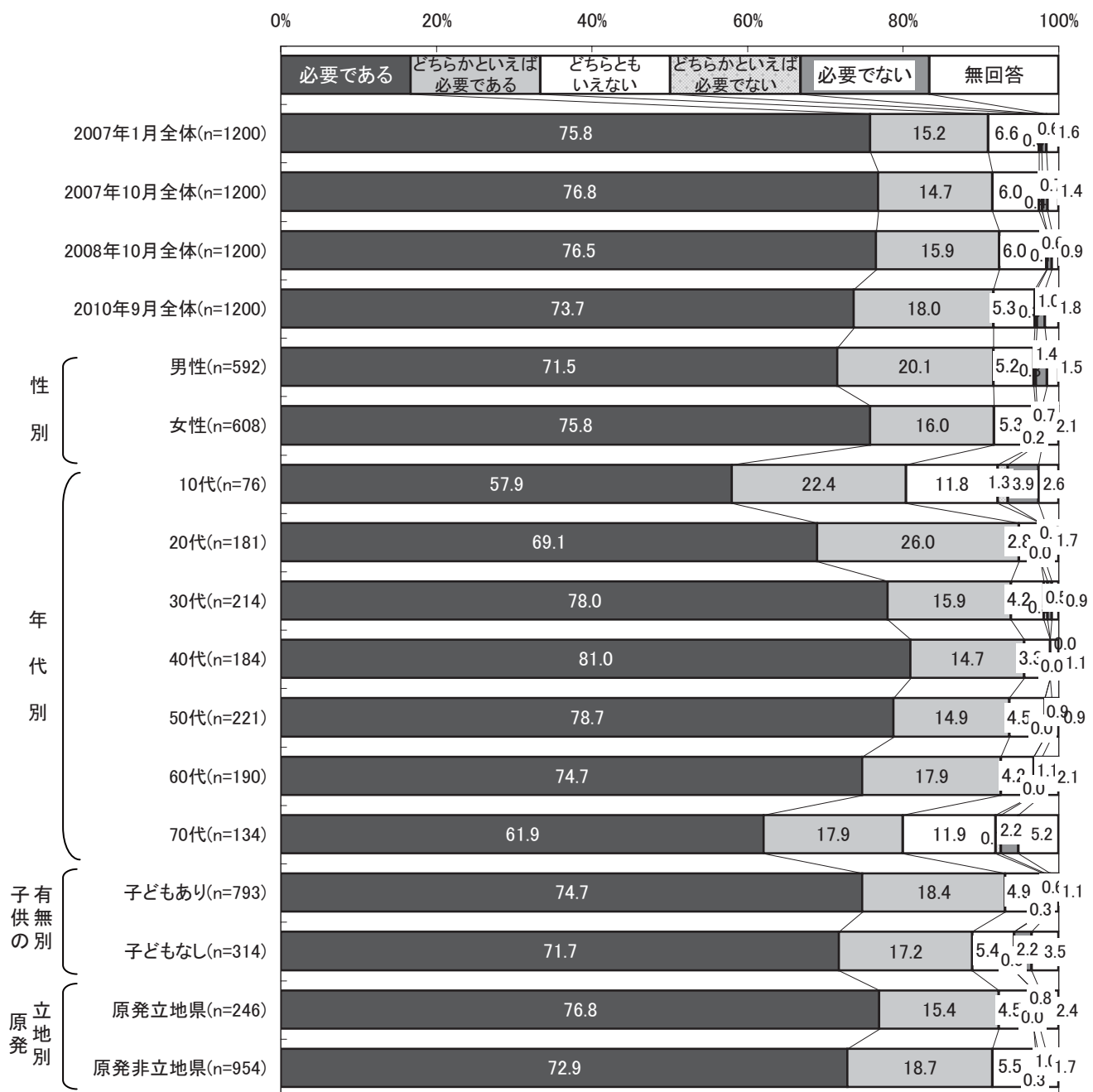


* 2007年1月の選択肢は「そう思う／どちらかといえばそう思う」、2007年10月は「必要である／どちらかといえば必要である」

●原子力広報評価～知識普及啓発活動のあり方④

「(原子力に関して)わかりやすく情報を伝えること」に対し、「必要である」という回答は73.7%、「どちらかといえば必要である」は18.0%で、この考え方に肯定的な回答(「必要である」+「どちらかといえば必要である」)は91.7%であり、前回と同水準のスコアを示す。
年代別では「必要である」という回答は40代で8割を超える比率を示す。

問10. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つずつ)
【わかりやすく情報を伝えること】

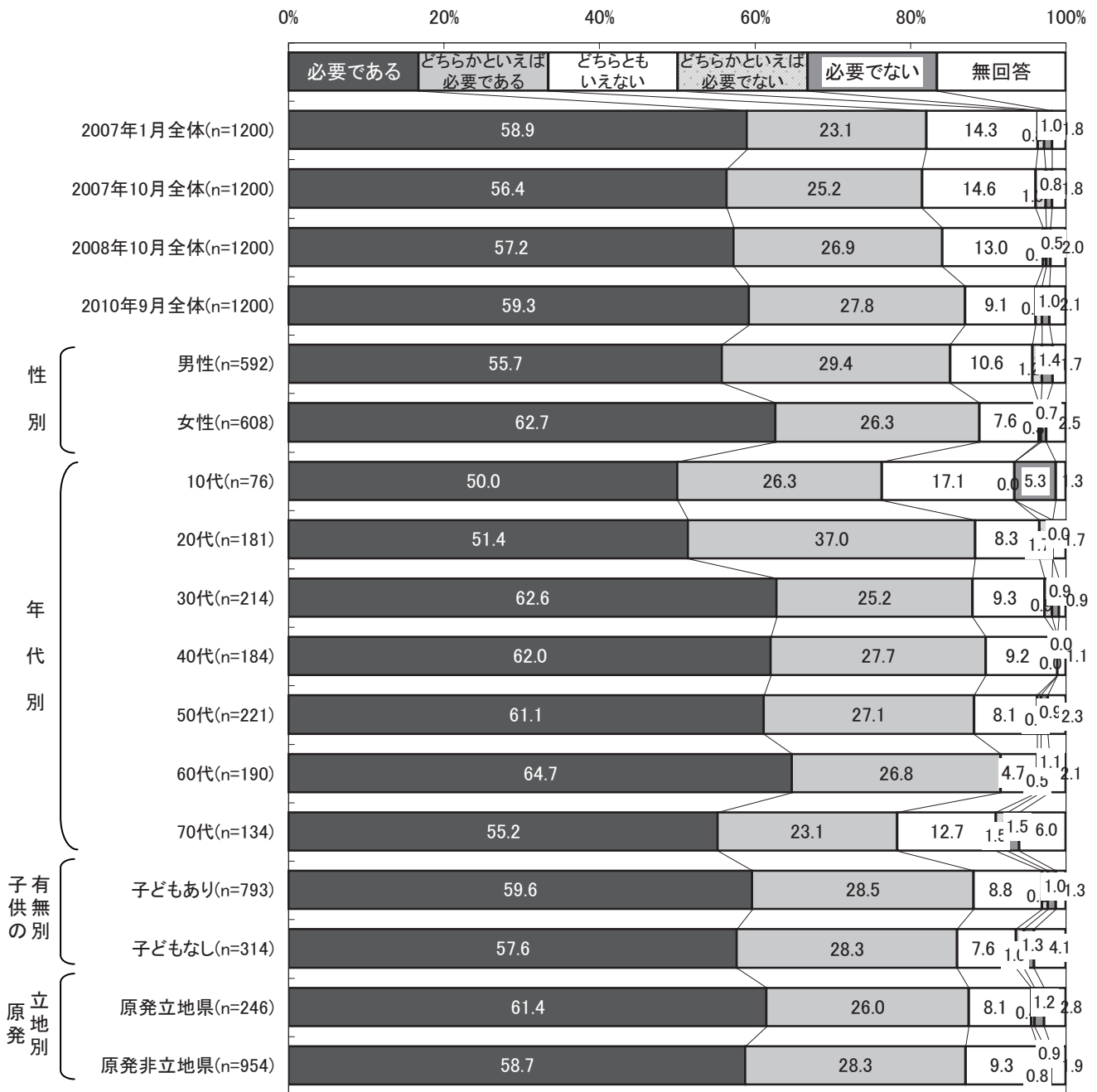


* 2007年1月の選択肢は「そう思う／どちらかといえばそう思う」、2007年10月は「必要である／どちらかといえば必要である」

●原子力広報評価～知識普及啓発活動のあり方⑤

「(原子力に関して)学校の授業で教えること」に対し、「必要である」という回答は59.3%、「どちらかといえば必要である」は27.8%で、この考え方に肯定的な回答(「必要である」+「どちらかといえば必要である」)は87.1%であり、前回と同水準となっている。
 経年的には07年1月調査を除き、「必要である」/「どちらかといえば必要である」という回答は増加傾向にある。
 年代別でみると、「必要である」という回答は、30～60代で6割を超えるが、10代、20代、70代では5割台にとどまっている。

問10. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
 あなたの考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つずつ)
 【学校の授業で教えること】



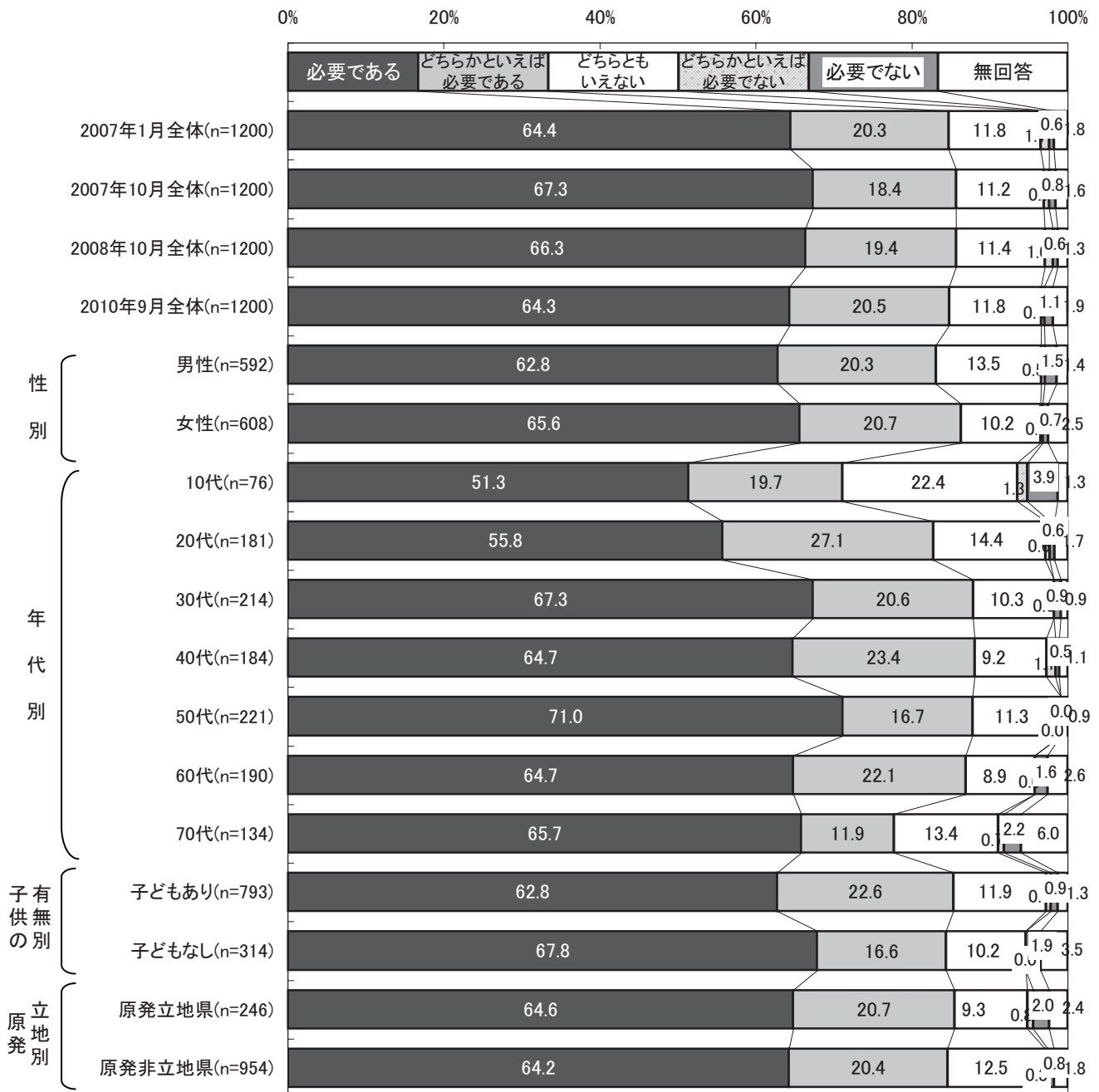
* 2007年1月の選択肢は「そう思う/どちらかといえばそう思う」、2007年10月は「必要である/どちらかといえば必要である」

●原子力広報評価～知識普及啓発活動のあり方⑥

「(原子力に関して)些細なことでも隠さず伝えること」に対し、「必要である」という回答は64.3%、「どちらかといえば必要である」は20.5%で、この考え方に肯定的な回答(「必要である」+「どちらかといえば必要である」)は84.8%と、前回と同水準である。
年代別でみると、「必要である」という回答は30～70代で7割前後の水準、10代、20代では5割台にとどまる。

問10. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つずつ)

【些細なことでも隠さず伝えること】

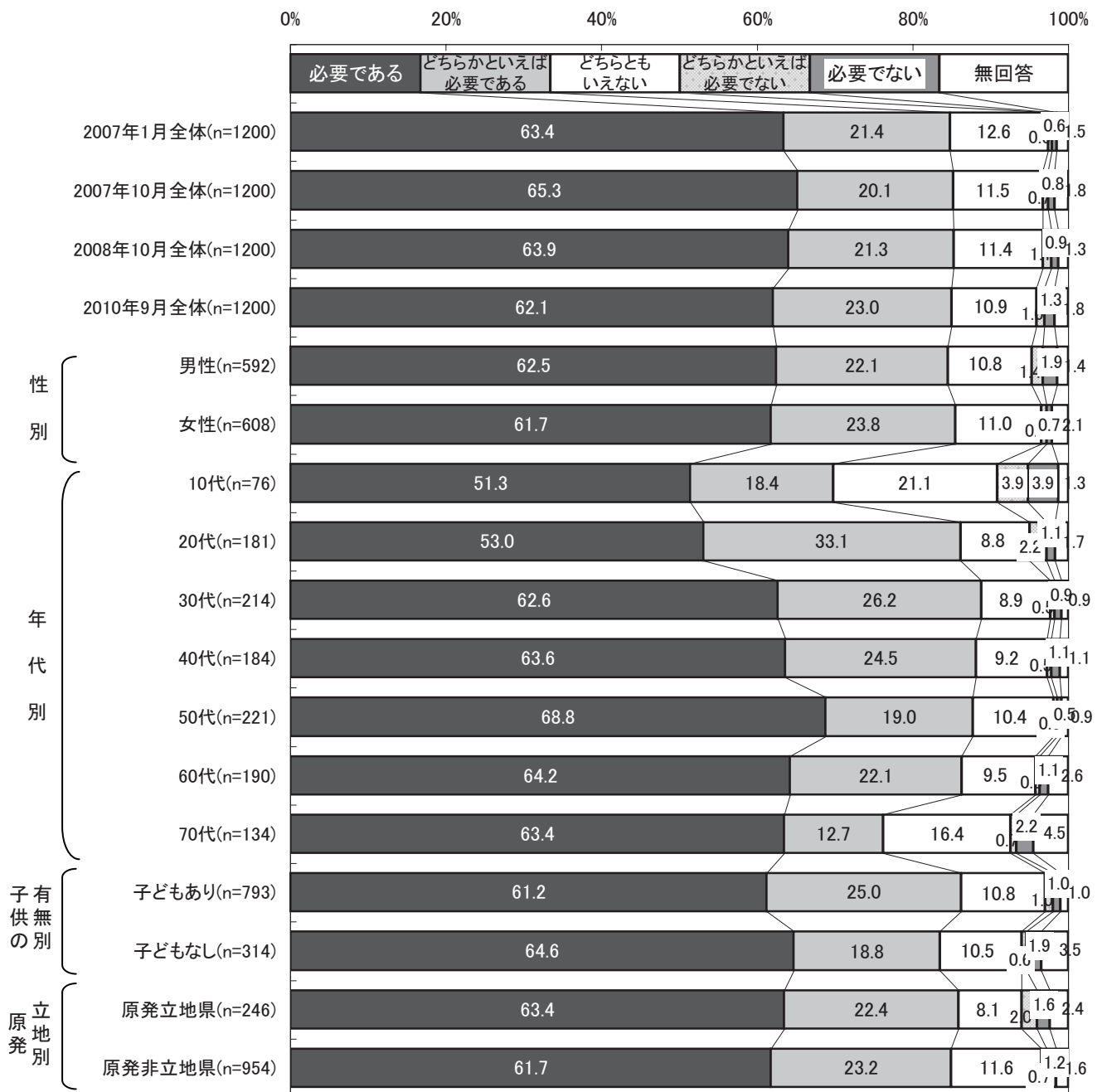


* 2007年1月の選択肢は「そう思う／どちらかといえばそう思う」、2007年10月は「必要である／どちらかといえば必要である」

●原子力広報評価～知識普及啓発活動のあり方⑦

「(原子力に関して)都合の悪いことでも情報を外部(マスコミや国民など)に伝えること」に対し、「必要である」という回答は62.1%、「どちらかといえば必要である」は23.0%で、この考え方に肯定的な回答(「必要である」+「どちらかといえば必要である」)は85.1%で、前回と同水準。
年代別でみると、「必要である」という回答は30代～70代まで6割台であるのに対し、10代、20代は5割台であり10ポイント程度低い。

問10. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つずつ)
【都合の悪いことでも情報を外部(マスコミや国民など)に伝えること】



* 2007年1月の選択肢は「そう思う／どちらかといえばそう思う」、2007年10月は「必要である／どちらかといえば必要である」

●原子力広報評価～原子力やエネルギーに関する情報についての所感

原子力やエネルギーに関する情報について感じることを自由回答で聴取し、集計した結果が下表である。

問22. 原子力やエネルギー、放射線、またこれらに関する情報源、情報発信の手段などに対するお考えがあればお書き下さい。(ご自由に)

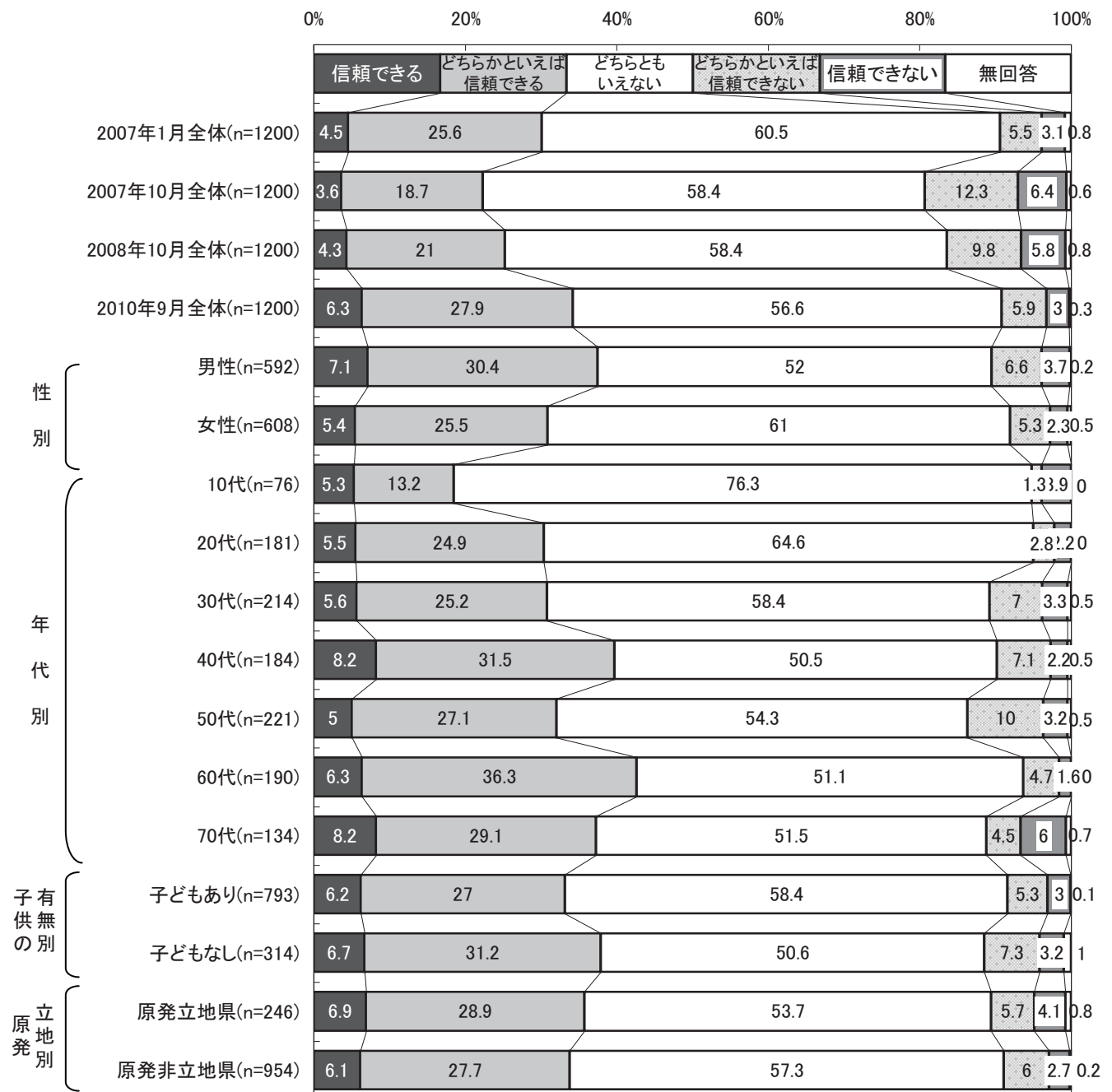
	大分類	小分類	全体N=210	
意見あり	1.「信頼」に関する意見	1 国を信頼できない	2	
		2 専門家を信頼できない	0	
		3 事業者を信頼できない	5	
		4 安全性を信頼できない	1	
		5 原子力を信頼できない	4	
		6 情報を信頼できない	11	
	2.情報発信について	1 テレビを活用	28	
		2 新聞を活用	10	
		3 インターネット・携帯モバイルを活用	13	
		4 国が情報を発信	5	
		5 教育を活用	18	
		6 正確な情報発信	14	
		7 分かりやすい情報発信	12	
		8 情報を隠さない	22	
		9 情報公開の徹底・強化	13	
	3.発電方法について	1 原子力発電推進	12	
		2 太陽光を活用	5	
		3 自然エネルギー活用	8	
		4 脱化石燃料	2	
		5 原子力発電反対	5	
		6 エネルギー政策の再検討	3	
	4.その他	1 安全	11	
		2 漠然とした不安	1	
		3 平和利用	3	
		4 その他	4	
	意見なし	わからない・興味がないなど		

V章 原子力に対する信頼について

●原子力に対する信頼～原子力に携わる専門家に対する信頼①

原子力に携わる専門家や原子力関係者を信頼できると思うか尋ねた。信頼できる(「信頼できる」(6.3%)+「どちらかといえば信頼できる」(27.9%))という回答は34.2%に対し、信頼できない(「信頼できない」(5.9%)+「どちらかといえば信頼できない」(3.0%))という回答は8.9%と肯定派が大きく上回る。一方、「どちらともいえない」という態度保留者が56.6%と多数を占める。2007年1月実施の初回を除き、全体傾向として肯定派は増加傾向、否定派は減少傾向がみられる。初回の状況と、それ以降では何の状況が異なっているかの精査検討が必要。年代別にみると、10～30代での態度保留者が6～7割と他の年代に比べて多い。また60～70代の「信頼できる」は高い傾向は例年と変わらない。

問11-1. あなたは、原子力に携わる専門家や原子力関係者を信頼できると思いますか。(○は1つだけ)



●原子力に対する信頼～原子力に携わる専門家に対する信頼②

原子力に携わる専門家や原子力関係者を信頼できると思うか、についての回答理由を尋ねたところ、
 「信頼できる」5割近い理由は「信頼したいから」(50.2%)、「専門的な知識を持っている人だから」(45.9%)である。「どちらともいえない」理由では「情報公開が十分されていないから」(47.9%)、「信頼できない」理由では「情報公開が十分されていないから」(57.0%)、「信頼できないから」(49.5%)、「事故が起きる可能性があるから」(48.6%)が5割近い理由となった。

問11-2. あなたが、問11-1でそう答えた理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選び下さい。(〇はいくつでも)

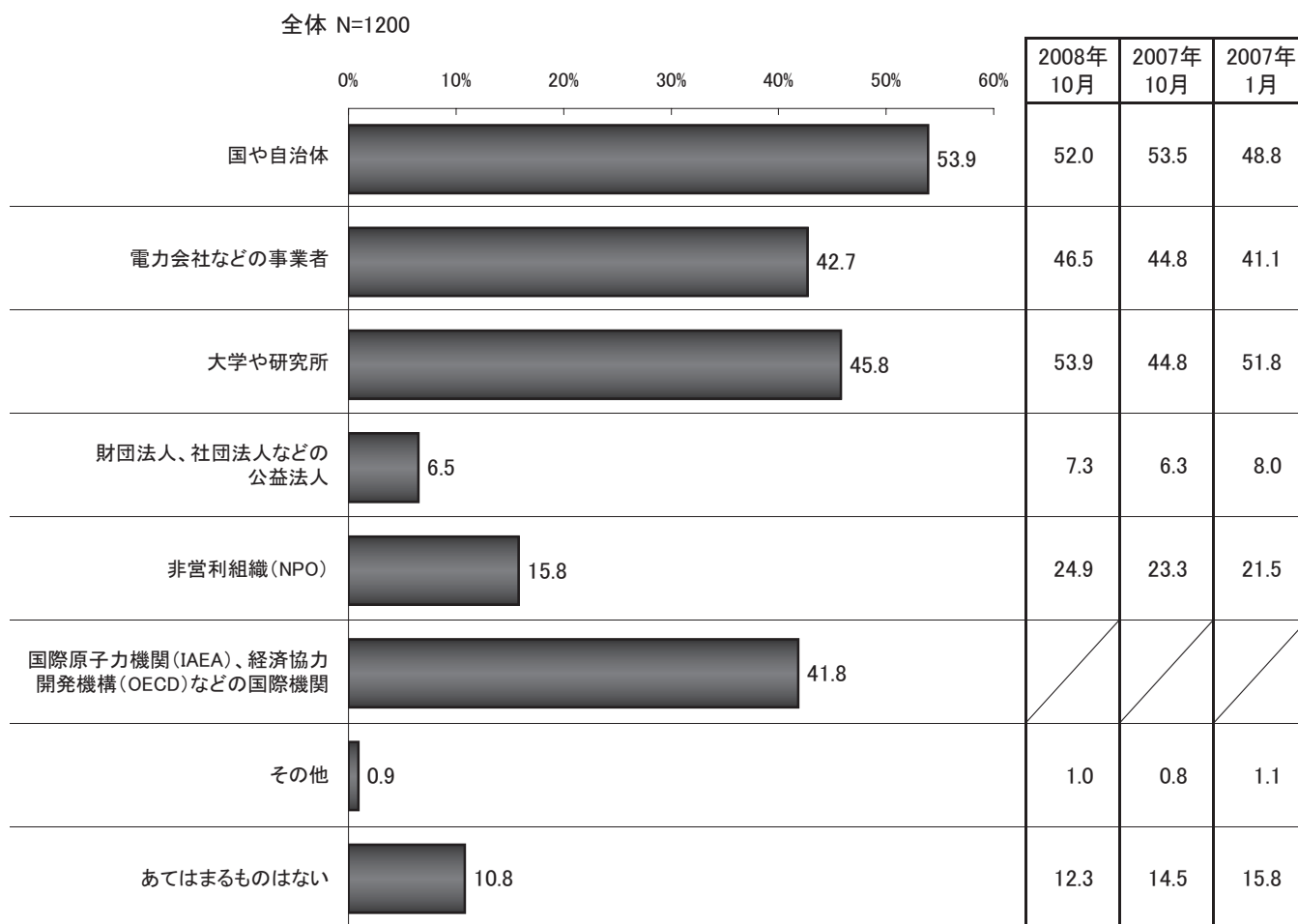
N→	全体 1200	専門家を信頼できるかどうか		
		信頼 できる 410	どちらとも いえない 679	信頼 できない 107
情報公開が十分されているから	5.6	13.2	1.8	0.9
情報公開が十分されていないから	34.9	8.0	47.9	57.0
大きな事故や問題がないから	7.8	17.3	2.9	1.9
事故が起きる可能性があるから	30.3	11.0	39.3	48.6
管理体制や安全対策が十分だから	5.7	14.6	1.2	-
管理体制や安全対策が不十分だから	17.3	3.9	21.2	44.9
専門的な知識を持っている人だから	17.0	45.9	2.1	1.9
専門家にも間違いはあるから	20.5	8.3	26.2	31.8
信頼したいから	20.1	50.2	5.2	-
信頼できないから	10.8	-	11.3	49.5
その他	3.4	0.7	4.9	4.7

(%)

●原子力に対する信頼～活躍を期待する人物

今後の安全な原子力の利用を続けていくために、どのような立場の人の活躍を期待するかを尋ねた。「国や自治体」が53.9%と最も高く、次いで、「大学や研究所」(45.8%)、「電力会社などの事業者」(42.7%)、「国際機関」(41.8%)、「NPO(非営利組織)」(15.8%)の順である。「大学や研究所」「国や自治体」への期待が高い傾向は変わっていない。また、今回はじめて選択肢として採用した「国際機関」への期待も高いことが窺える。

問12. 今後の安全な原子力の利用を続けていくために、どのような立場の人の活躍を期待しますか。次の中から、あなたが期待している人をすべてお選びください。(○はいくつでも)



* 2008年10月までの選択肢は「公益法人(財団法人、社団法人)」、2010年9月は「財団法人、社団法人などの公益法人」に変更

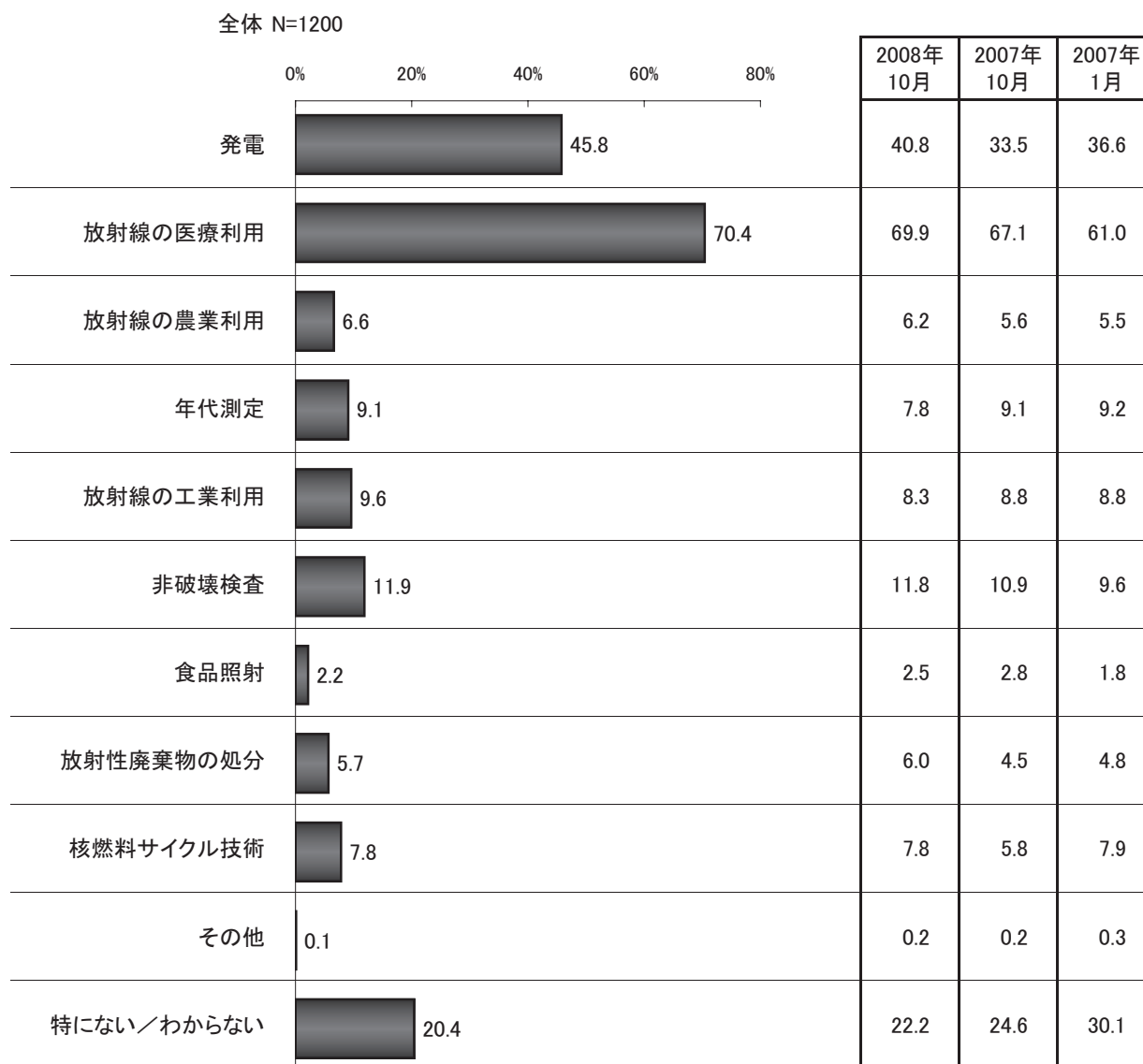
* 2008年10月までの選択肢は「NPO(非営利組織)」、2010年9月は「非営利組織(NPO)」に変更

* 「国際原子力機関(IAEA)、経済協力開発機構(OECD)などの国際機関」は2010年9月から追加

●原子力に対する信頼～信頼できる原子力技術

日本の原子力技術のうち、信頼しているものを尋ねた。
 「放射線の医療利用」が70.4%と最も高く、次いで「発電」が45.8%と、この2項目への反応が引き続き高い。
 それ以外の項目については、「非破壊検査」(11.9%)を除いて1割に満たない水準。
 「わからない」との回答も2割強と無視できず、回答のための知識不足の状況も窺える。
 また、「原子力発電」については前回調査から5ポイントアップしている。

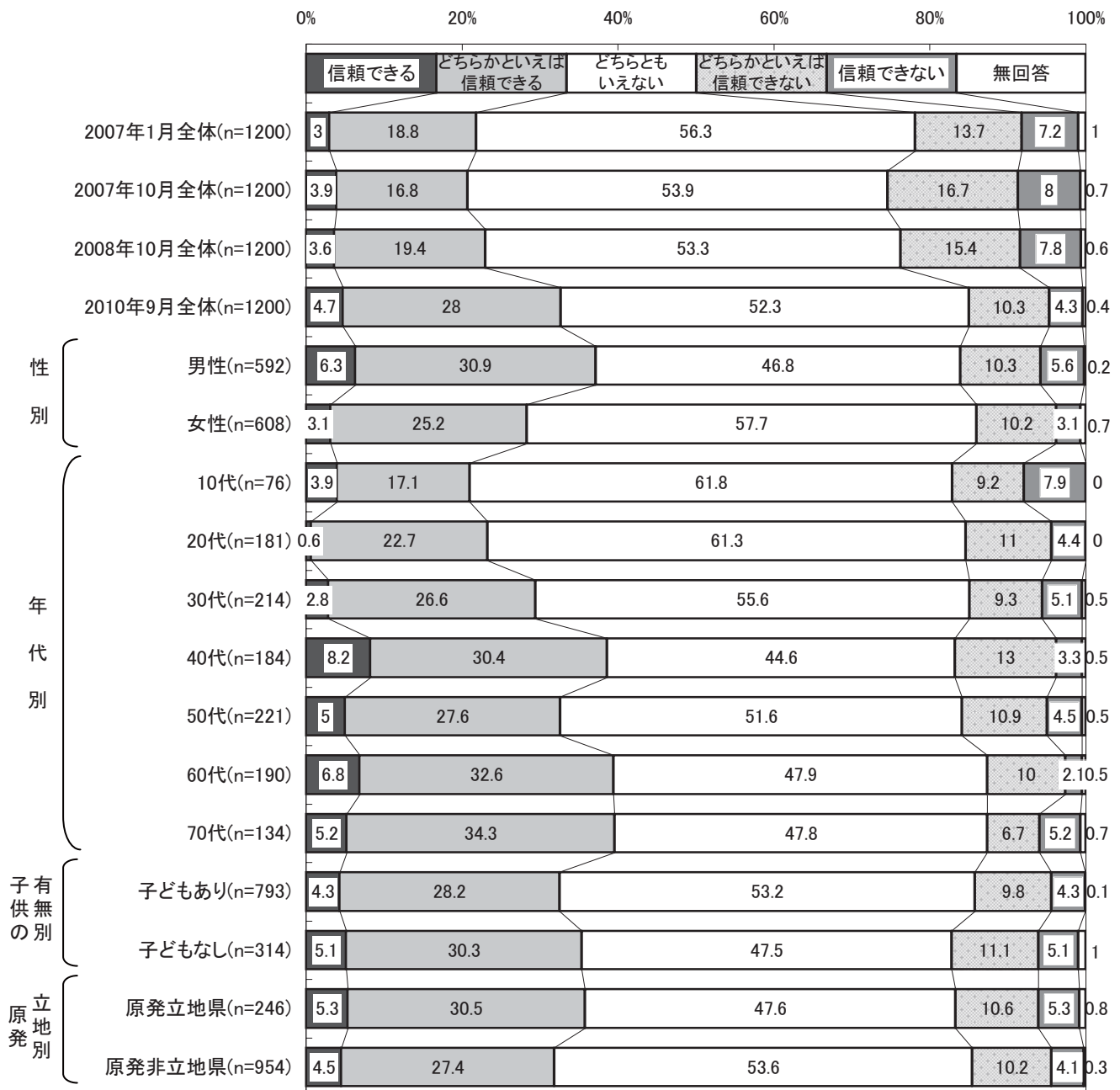
問15. 日本の原子力技術のうち、あなたが信頼しているものはどれですか。
 次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)



●原子力に対する信頼～国や自治体に対する信頼①

原子力の安全管理や規制を行っている国や自治体を信頼できると思うか尋ねた。信頼できる(「信頼できる」(4.7%)+「どちらかといえば信頼できる」(28.0%))という回答は32.7%に対し、信頼できない(「信頼できない」(10.3%)+「どちらかといえば信頼できない」(4.3%))という回答は14.6%と低い。また、「どちらともいえない」という態度保留者が52.3%と多数を占める結果。全体傾向としては、2007年1月の初回を除き、肯定派の増加傾向、否定派の減少傾向が見られる。問11-1と合わせ、精査が必要。年代別で見ると、おおむね肯定的な回答は、年代が上がるにつれて高まる傾向。特に60～70代では「信頼できる」という回答が3割を超え、他の年代に比べて高い。

問13-1. 原子力の安全管理や規制は国や自治体によって行なわれています。あなたは、国や自治体を信頼できると思いますか。(○は1つだけ)



●原子力に対する信頼～国や自治体に対する信頼②

原子力の安全管理や規制を行う国や自治体を信頼できると思うか、についての回答理由を尋ねたところ、
 「信頼できる」大きな理由は「信頼したいから」(55.9%)、「専門的な知識を持っている人だから」(28.6%)である。「どちらともいえない」理由では「情報公開が十分されていないから」(47.9%)、「信頼できない」理由では「情報公開が十分されていないから」(62.9%)、「信頼できないから」(48.0%)が5割近い理由となった。

問13-2. あなたが、問13-1でそう答えた理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選び下さい。(〇はいくつでも)

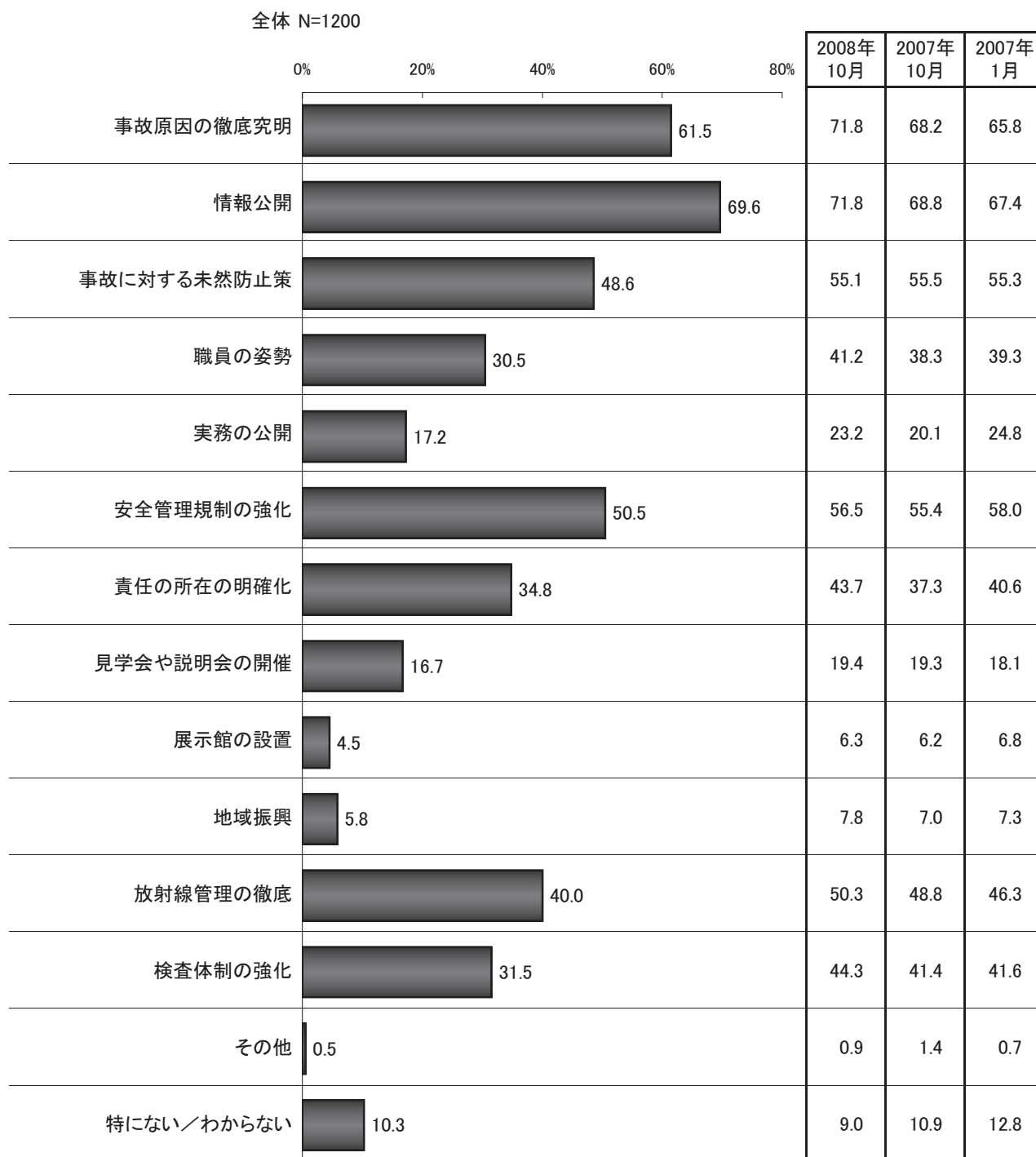
N→	全体 1200	国や自治体を信頼できるかどうか		
		信頼 できる 392	どちらとも いえない 628	信頼 できない 175
情報公開が十分されているから	6.9	15.8	2.9	1.7
情報公開が十分されていないから	40.0	7.7	54.1	62.9
大きな事故や問題がないから	9.3	22.7	3.5	-
事故が起きる可能性があるから	27.2	9.2	35.4	38.9
管理体制や安全対策が十分だから	6.2	16.3	1.1	1.7
管理体制や安全対策が不十分だから	17.1	3.6	20.1	37.1
専門的な知識を持っている人だから	10.0	28.6	1.1	0.6
専門家にも間違いはあるから	17.6	6.1	22.1	27.4
信頼したいから	21.5	55.9	5.7	1.7
信頼できないから	13.3	0.8	11.6	48.0
国や公的機関は営利目的ではないから	7.5	17.6	2.2	4.0
自分達の利益優先に感じるから	14.1	2.8	15.4	34.9
その他	1.8	0.3	2.5	2.3

(%)

●原子力に対する信頼～原子力安全管理主体を国や自治体に任せるうえで配慮すべき点

原子力の安全管理を国や自治体に安心して任せるためには、どういった点が配慮されるべきだと思うか尋ねた。
 回答が5割を超える項目は、「情報公開」(69.6%)、「事故原因の徹底究明」(61.5%)、「安全管理規制の強化」(50.5%)、「事故に対する未然防止策」(48.6%)、「放射線管理の徹底」(40.0%)である。一方、「展示館の設置」(4.5%)、「地域振興」(5.8%)は1割未満の水準。
 「職員の姿勢」「責任の所在の明確化」「放射線管理の徹底」「検査体制の強化」が例年に比べ10ポイント程度ダウン。傾向が変わっており、要因究明と引き続きの経過観察が必要。

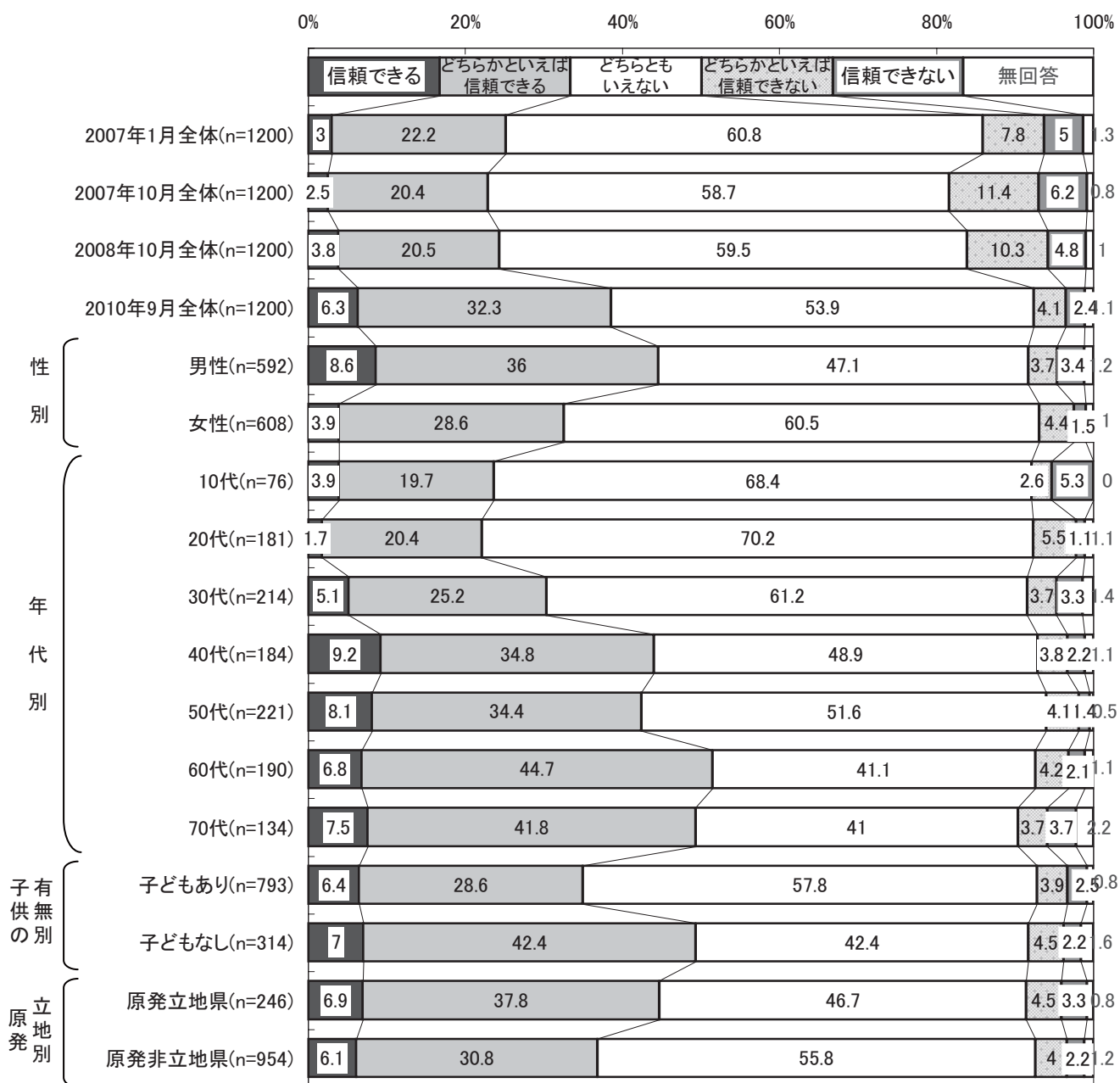
問14. 原子力の安全管理を国や自治体に安心して任せるためには、どういった点が配慮されるべきだと思いますか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)



●原子力に対する信頼～原子力の平和利用に対する信頼

現在日本が進めている原子力発電、再処理、放射線利用などの原子力の平和利用について信頼できると思うか尋ねた。
 信頼できる(「信頼できる」(6.3%)+「どちらかといえば信頼できる」(32.3%))という回答は38.6%に対し、信頼できない(「信頼できない」(2.4%)+「どちらかといえば信頼できない」(4.1%))という回答は6.5%と低い。しかし、「どちらともいえない」という態度保留者が53.9%と多数を占める。
 否定派の減少傾向が顕著になっている。性別でみると、例年通り、肯定的な回答は男性の方が高め。年代別では、肯定的な回答は40代以上で3割を超える比率を示す。子供の有無での回答の傾向は大きく異なり、「子供あり」の場合の肯定的な回答が減った分、「どちらとも言えない」の回答が増えているように読める。また、原発立地、非立地でも回答の傾向が異なる。原発立地地域の方が、肯定、否定の意見表明がより明快になる傾向。

問21. 日本の原子力利用は、原子力発電や放射線の平和利用の分野に限っており、これらは政策・規制・技術などのしくみで支えられています。あなたはこのしくみについて信頼できると思いますか。(○は1つだけ)



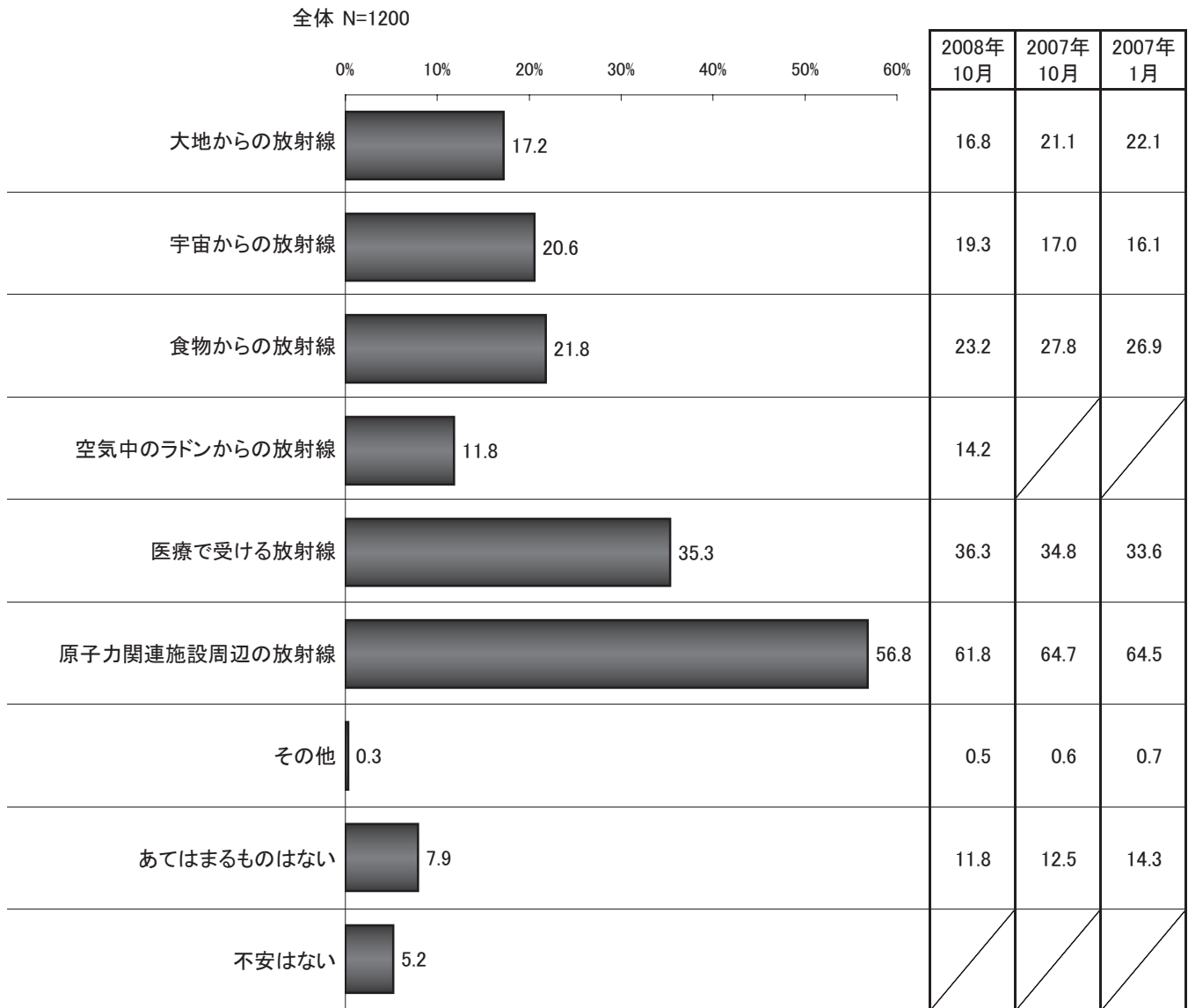
* 2008年10月までの質問文は、「現在日本が進めている原子力発電、再処理、放射線利用などの原子力の平和利用について、あなたは信頼できると思いますか」で聴取

VI章 環境・原子力・放射線に対するリスク認知

●環境・原子力・放射線に関するリスク認知～放射線に対し不安に思う事柄

放射線に対し感じる不安について尋ねたところ、「原子力関連施設周辺の放射線」が56.8%と顕著に高い。次いで、「医療で受ける放射線」(35.3%)、「食物からの放射線」(21.8%)と続く。前回と比較しても、トップ3の序列や反応水準はおおむね同傾向。

問16. あなたが、放射線に対し感じる不安についてお伺いします。
次の中から不安に思うものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)



* 2007年1月、2007年10月の選択肢は「地上からの放射能」、2008年10月は「大地からの放射能」に変更

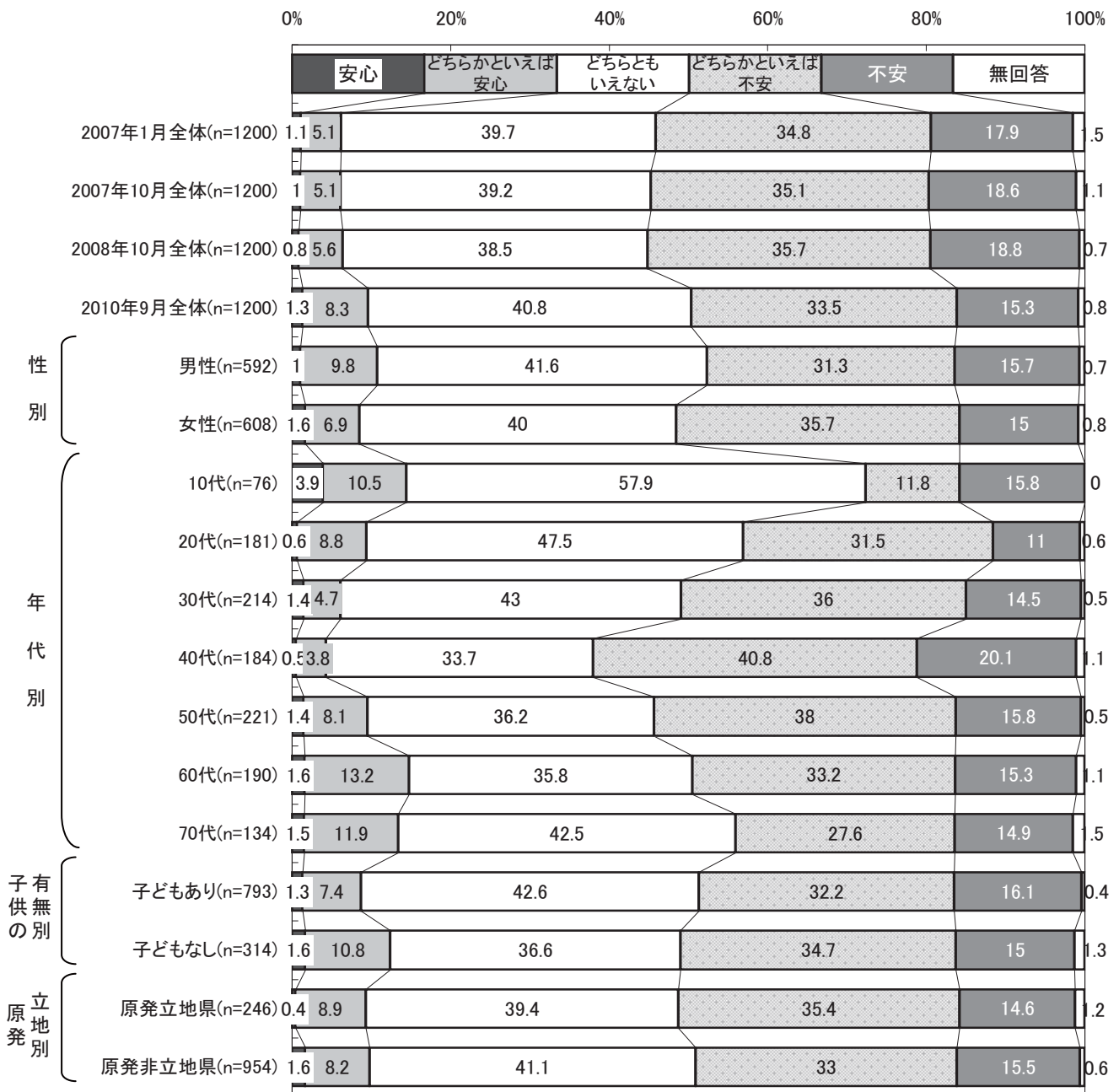
* 「空気中のラドンからの放射線」は2008年10月から追加

* 「不安はない」は2010年9月から追加

●環境・原子力・放射線に関するリスク認知～放射性廃棄物の処分に対する安心度

放射性廃棄物の処分について、どの程度安心(不安)に感じるか尋ねたところ、安心(「安心」(1.3%)+「どちらかといえば安心」(8.3%))という回答は9.6%であるのに対し、不安(「不安」(15.3%)+「どちらかといえば不安」(33.5%))という回答は48.8%と不安が圧倒的に高い。反応傾向は例年と大きくは変わっていない。年代別で見ると、40代で「不安」+「どちらかといえば不安」という回答は6割を超える傾向が従前通り。なぜ40代がそう考える傾向になるかの検討が必要。

問17. 現在、放射性廃棄物の処分について検討が行なわれています。あなたは、そのことについてどのように感じますか。(○は1つだけ)

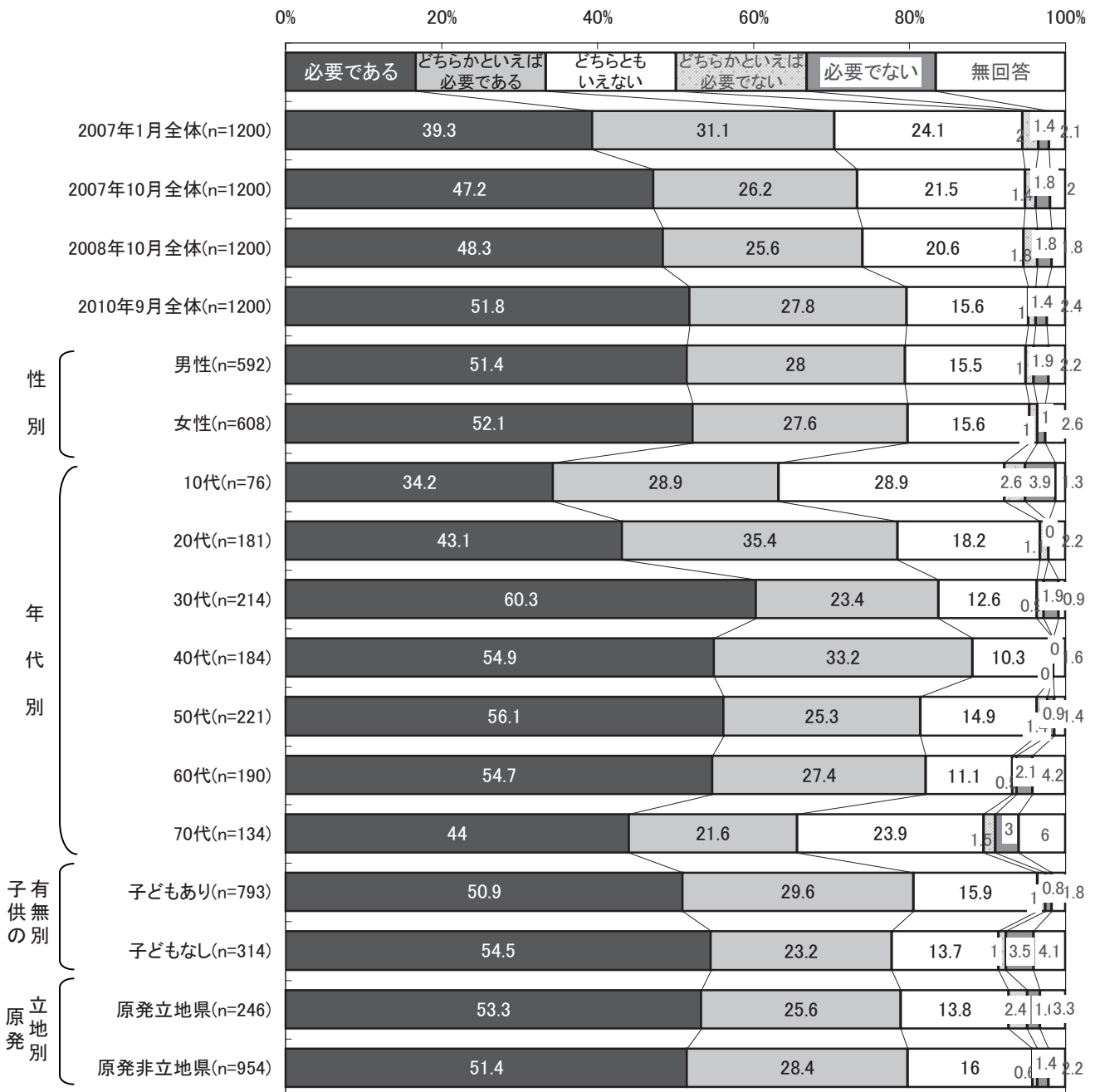


VII章 原子力に対するベネフィット認知

●原子力に対するベネフィット認知～暮らしの中で活用する原子力の平和利用

「暮らしの中で活用する原子力の平和利用」に対し、「必要である」という回答は51.8%、「どちらかといえば必要である」は27.8%で、この考え方に肯定的な回答(「必要である」+「どちらかといえば必要である」)は79.6%であり、全体としてわずかながら増加傾向がみられる。
 年代別でみると、「必要である」という回答は30～60代で5割を超えている。
 子供の有無別では、「必要である」という回答は子どもあり(50.9%)より子どもなし(54.5%)の方が高い傾向は前回と同じ。

問10. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
 あなたの考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つずつ)
 【暮らしの中で活用する原子力の平和利用】

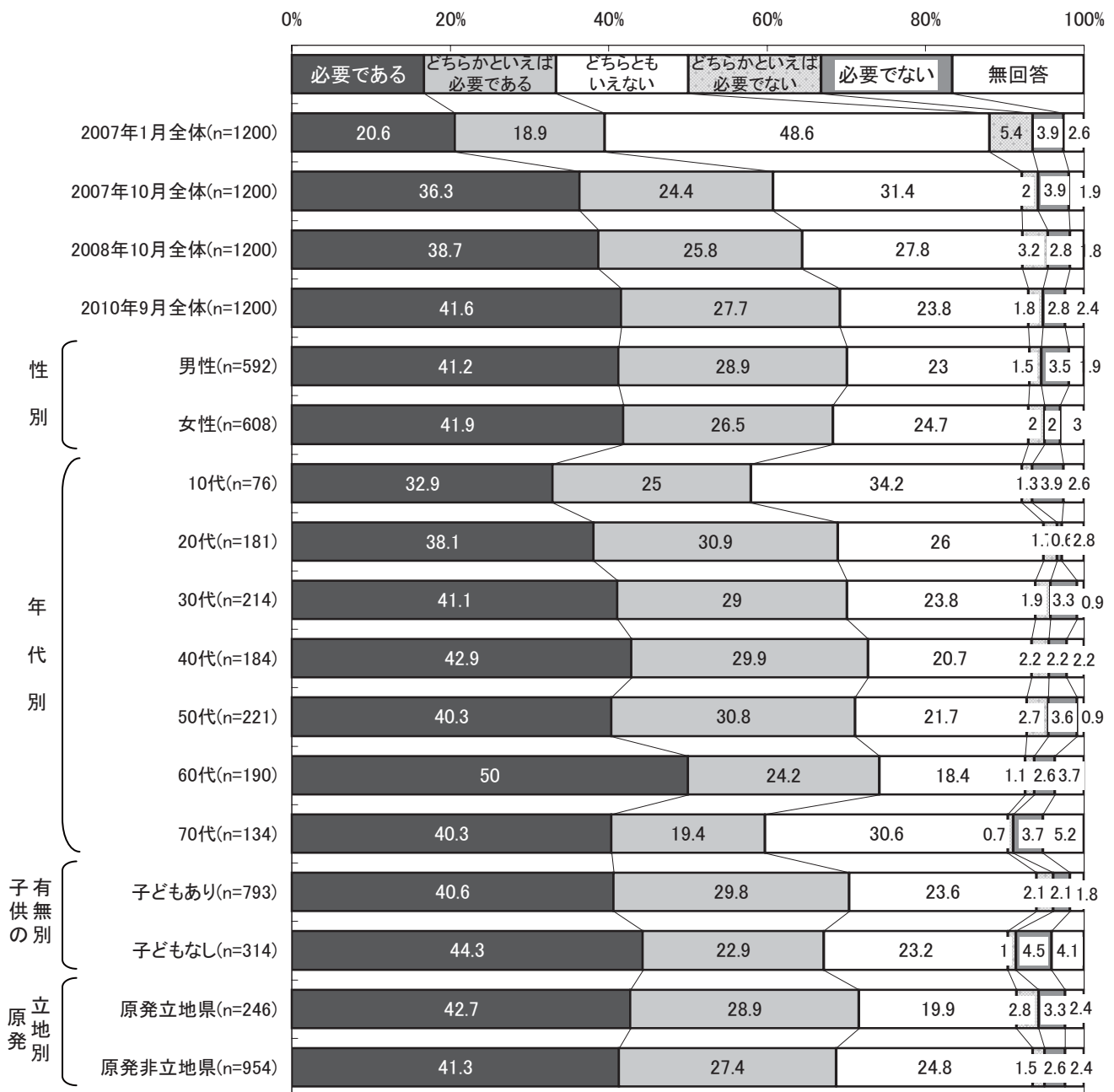


* 2007年1月の選択肢は「そう思う／どちらかといえばそう思う」、2007年10月は「必要である／どちらかといえば必要である」

●原子力に対するベネフィット認知～地球温暖化防止のために原子力発電を活用すること

「地球温暖化防止のために原子力発電を活用すること」に対し、「必要である」という回答は41.6%、「どちらかといえば必要である」は27.7%で、この考え方に肯定的な回答（「必要である」+「どちらかといえば必要である」）は69.3%である。全体として肯定的な回答が増加傾向にある。

問10. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。（○はそれぞれ1つずつ）
【地球温暖化防止のために原子力発電を活用すること】



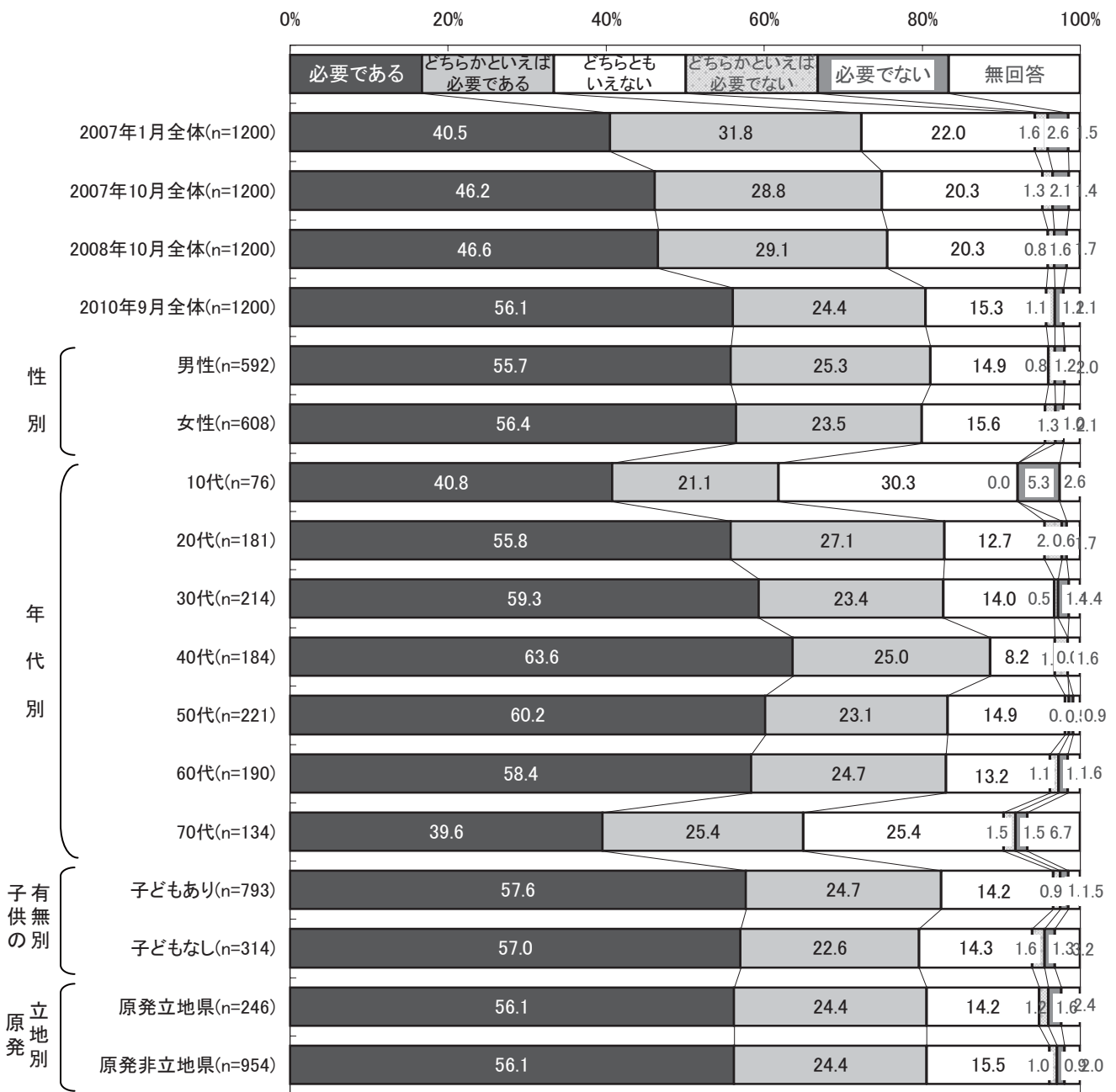
* 2007年1月の選択肢は「そう思う／どちらかといえばそう思う」、2007年10月は「必要である／どちらかといえば必要である」

Ⅷ章 原子力に対する態度

●原子力に対する態度～医療、工業、農業等における放射線利用の必要性

「医療、工業、農業等における放射線利用」に対し、「必要である」という回答は56.1%、「どちらかといえば必要である」は24.4%で、この考え方に肯定的な回答(「必要である」+「どちらかといえば必要である」)は80.5%であり、全体として増加傾向がみられる。
年代別では、他の年代と異なる傾向を示す10代を除けば、70代の「必要である」という回答が極端に低い(39.6%)ことが特徴的。

問10. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つずつ)
【医療、工業、農業等における放射線利用】



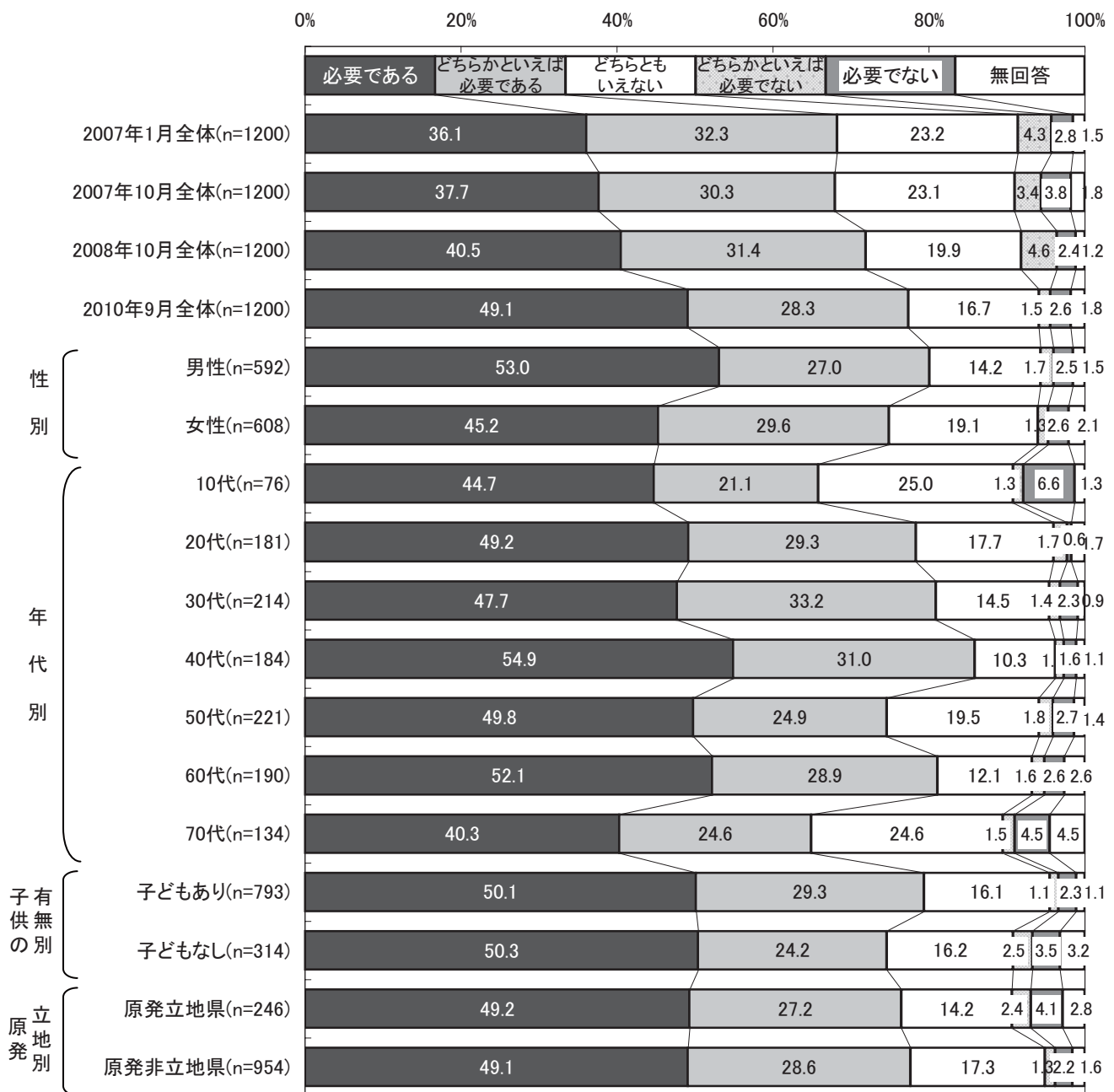
* 2007年1月の選択肢は「そう思う／どちらかといえばそう思う」、2007年10月は「必要である／どちらかといえば必要である」

●原子力に対する態度～原子力発電の必要性①

「原子力発電」に対し、「必要である」という回答は49.1%、「どちらかといえば必要である」は28.3%で、この考え方に肯定的な回答(「必要である」+「どちらかといえば必要である」)は77.4%である。
 全体として、「必要である」は回を重ねるごとに増加傾向を顕著に示している。
 性別では、「必要である」という回答は女性(45.2%)よりも男性(53.0%)の方が約8ポイント高く例年通り。
 昨年得られた子供の有無別、原発立地、非立地の別による回答の差は、今年度調査ではみられなかった。

問10. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
 あなたの考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つずつ)

【原子力発電】

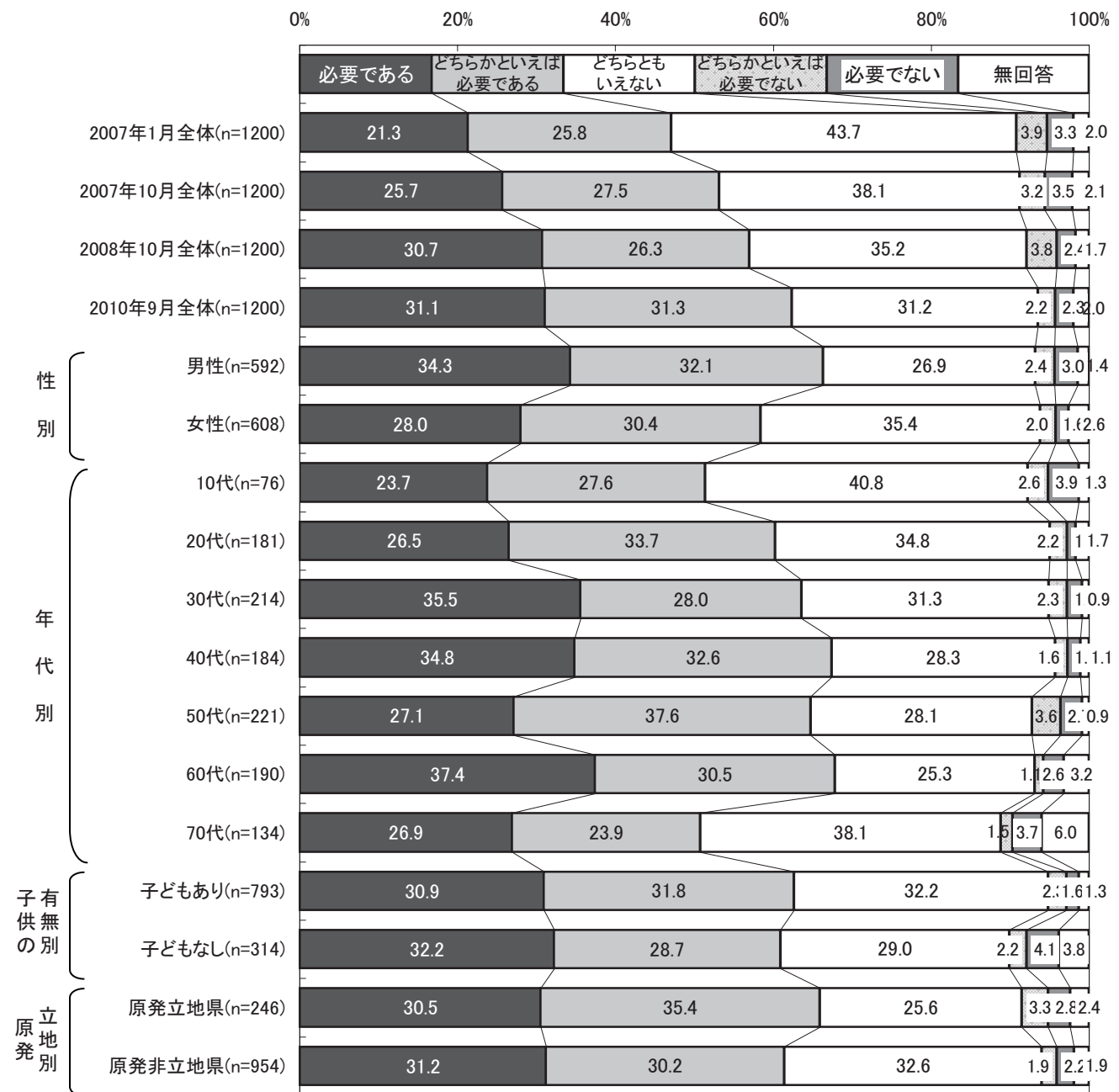


* 2007年1月の選択肢は「そう思う／どちらかといえばそう思う」、2007年10月は「必要である／どちらかといえば必要である」

●原子力に対する態度～原子力発電の必要性②

「化石資源を使い切ることやオイルショックに備え、原子力を活用すること」に対し、「必要である」という回答は31.1%、「どちらかといえば必要である」は31.3%で、この考え方に肯定的な回答(「必要である」+「どちらかといえば必要である」)は62.4%である。過去調査と比べると、肯定的な回答は回を重ねるごとに増加傾向にある。
 性別では、「必要である」という回答は女性(27.8%)よりも男性(33.6%)の方が約6ポイント高い。
 年代別でみると、肯定的な回答は50代で63.1%と最も高い。
 昨年得られた子供の有無別、原発立地、非立地の別による回答の差は、今年度調査ではみられなかった。

問10. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
 あなたの考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つずつ)
 【化石資源を使い切ることやオイルショックに備え、原子力を活用すること】

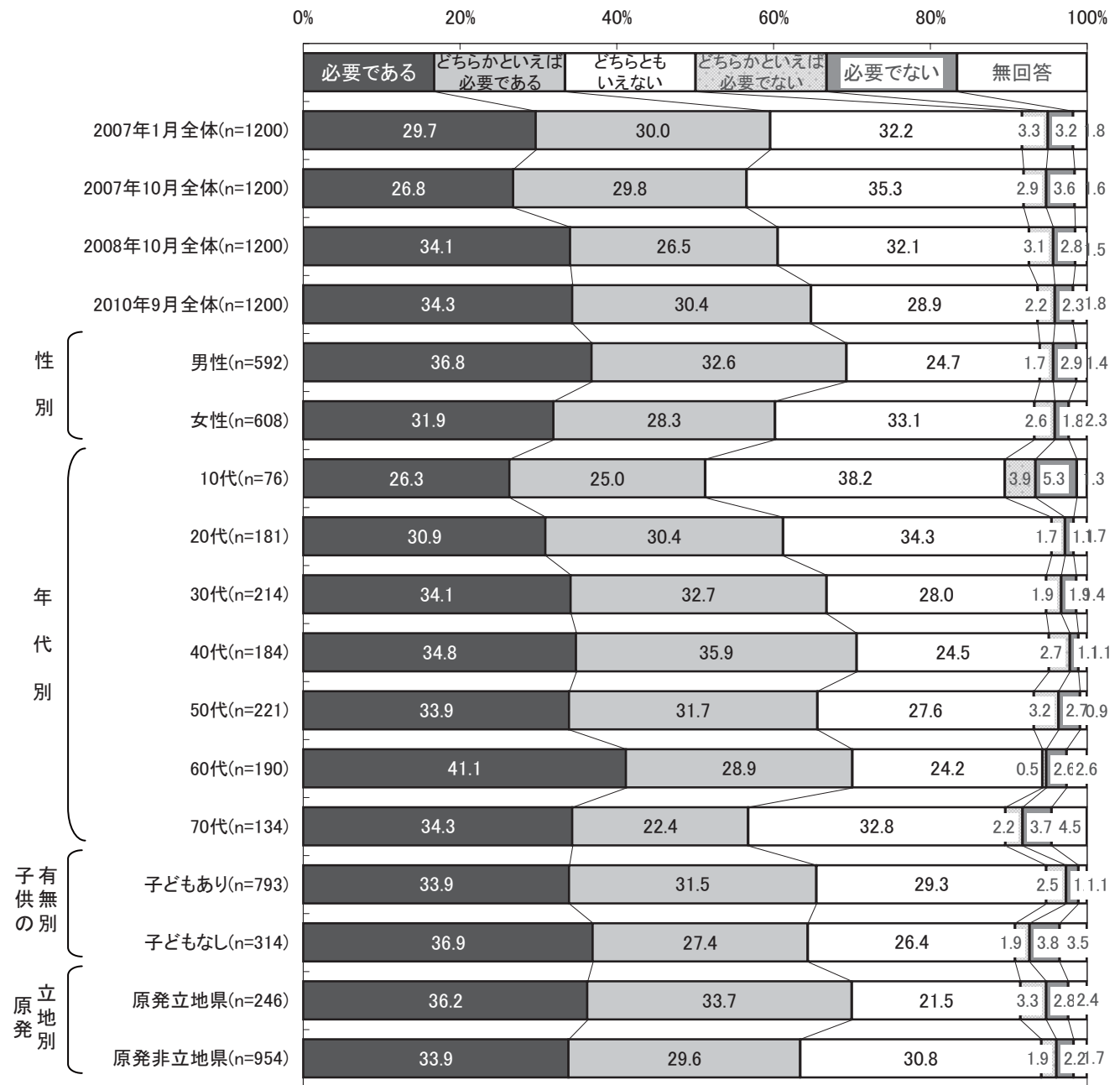


* 2007年1月の選択肢は「そう思う／どちらかといえばそう思う」、2007年10月は「必要である／どちらかといえば必要である」

●原子力に対する態度～原子力発電の必要性③

「エネルギー資源をほとんど持たない日本において原子力を活用すること」に対し、「必要である」という回答は34.3%、「どちらかといえば必要である」は30.4%で、この考え方に肯定的な回答(「必要である」+「どちらかといえば必要である」)は64.7%である。全体として肯定的な回答が増加傾向にある。
性別では、肯定的な回答は女性(60.2%)よりも男性(69.4%)の方が9.2ポイント高い。
昨年得られた子供の有無別、原発立地、非立地の別による回答の差は、今年度調査ではみられなかった。

問10. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つずつ)
【エネルギー資源をほとんど持たない日本において原子力を活用すること】



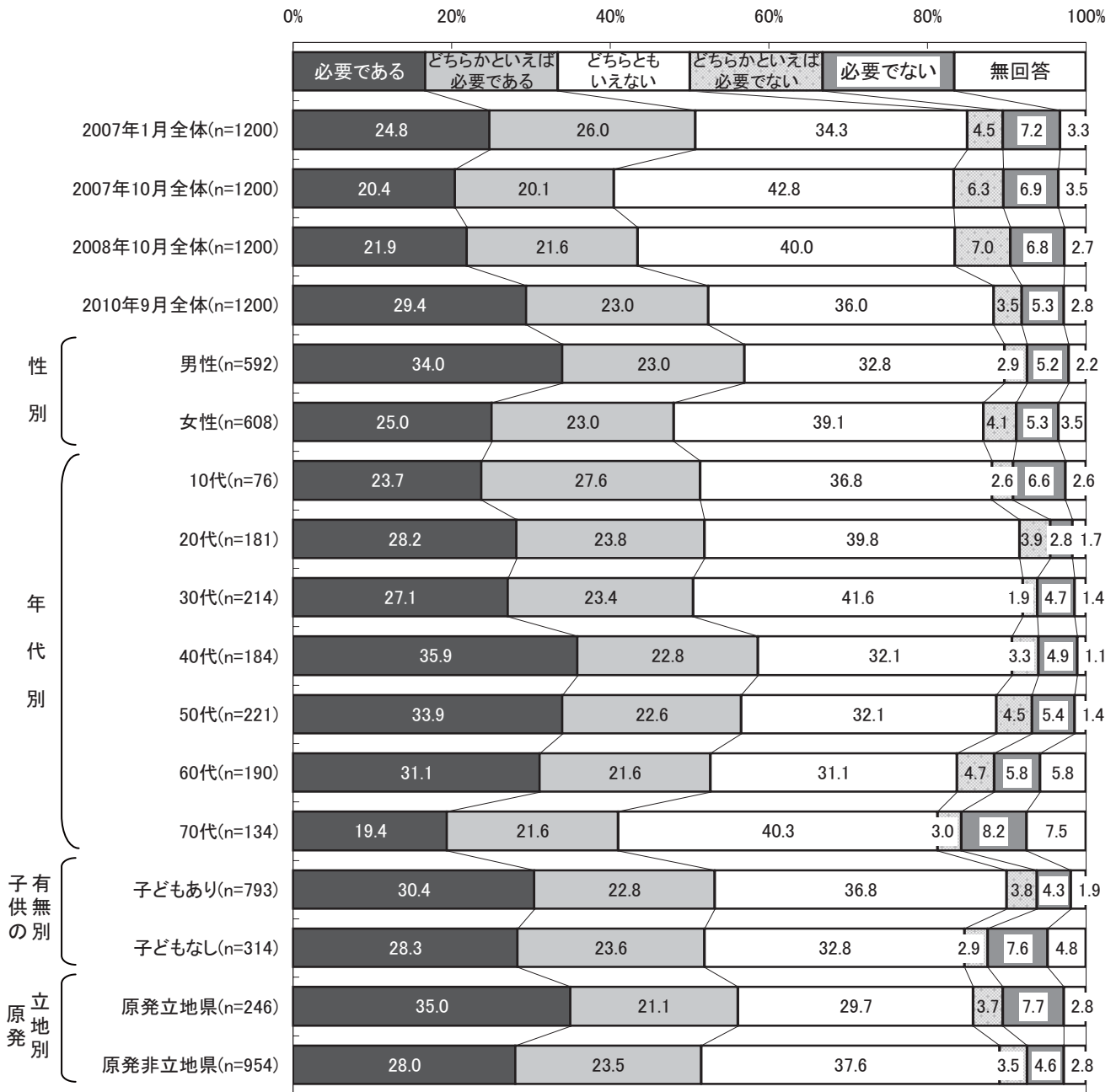
* 2007年1月の選択肢は「そう思う／どちらかといえばそう思う」、2007年10月は「必要である／どちらかといえば必要である」

●原子力に対する態度～核燃料サイクルの必要性

「核燃料サイクル」に対し、「必要である」という回答は29.4%、「どちらかといえば必要である」は23.0%で、この考え方に肯定的な回答（「必要である」+「どちらかといえば必要である」）は52.4%で増加傾向。性別では、「必要である」という回答は女性（25.0%）よりも男性（34.0%）の方が9.0ポイント高い。年代別では、「必要である」という回答は40代で最も高い（35.9%）傾向は昨年と同様。原発立地別では、「必要である」という回答は非立地県（28.0%）よりも立地県（35.0%）の方が約7ポイント高い。

問10. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。（○はそれぞれ1つずつ）

【核燃料サイクル】

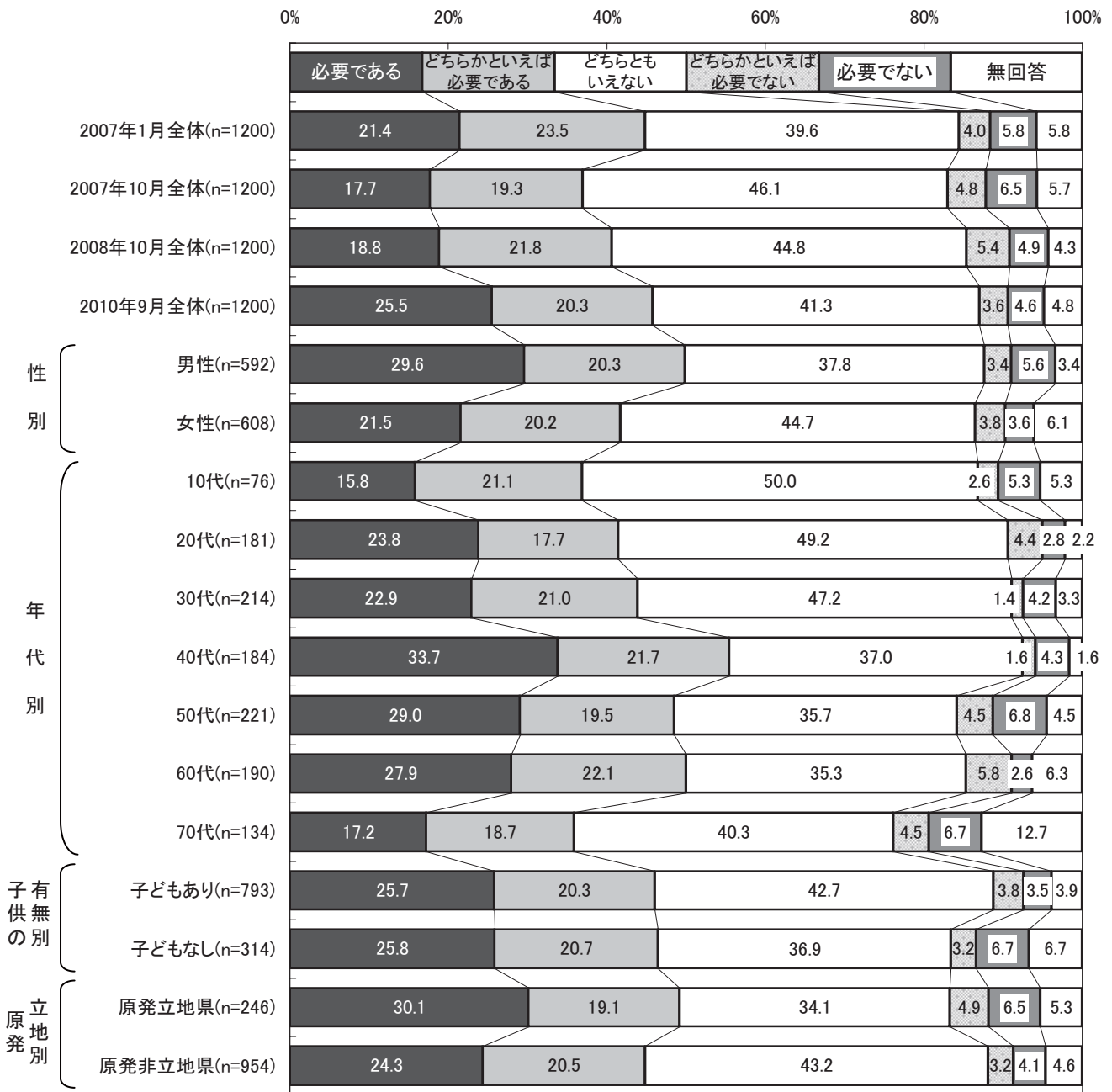


* 2007年1月の選択肢は「そう思う／どちらかといえばそう思う」、2007年10月は「必要である／どちらかといえば必要である」

●原子力に対する態度～プルサーマルの必要性

「プルサーマル」に対し、「必要である」という回答は25.5%、「どちらかといえば必要である」は20.3%で、この考え方に肯定的な回答(「必要である」+「どちらかといえば必要である」)は45.8%で、増加傾向。
 性別では、「必要である」という回答は女性(21.5%)よりも男性(29.6%)の方が8.1ポイント高い。
 年代別でみると、「必要である」という回答は40代で33.7%と昨年同様、最も高い。
 原発立地別では、「必要である」という回答は非立地県(24.3%)よりも立地県(30.1%)の方が若干高い。

問10. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
 あなたの考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つずつ)
 【プルサーマル】

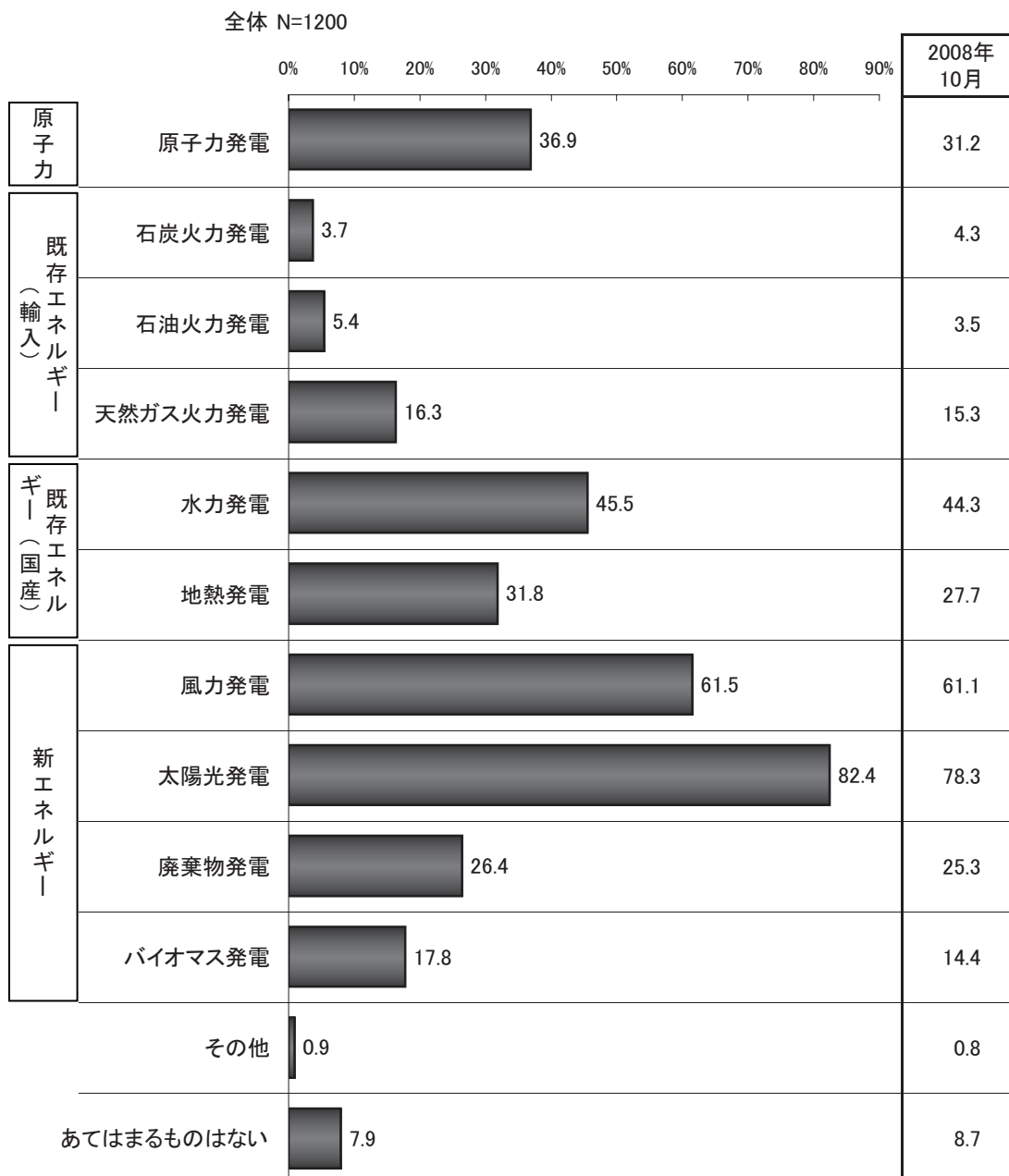


* 2007年1月の選択肢は「そう思う／どちらかといえばそう思う」、2007年10月は「必要である／どちらかといえば必要である」

●原子力に対する態度～今後日本が利用・活用していくべきと思うエネルギー①

今後わが国が利用・活用していくべきと思うエネルギーを尋ねたところ、「太陽光発電」(82.4%)、「風力発電」(61.5%)といった新エネルギー2項目への反応が突出して高くなっている。以下、「水力発電」(45.5%)、「原子力発電」(36.9%)と続く。大きな傾向は昨年と同様。また、原子力発電は前回と比較し5ポイント以上アップしている。

問20-1. 今後日本は、どのようなエネルギーを利用・活用していけばよいと思いますか。以下にあげているエネルギーの中から、お選びください。(○はいくつでも)



* 2008年10月までの質問文は「今後わが国は～」、2010年9月は「今後日本は～」に変更

●原子力に対する態度～今後日本が利用・活用していくべきと思うエネルギー②

今後わが国が利用・活用していくべきと思うエネルギーを選択した根拠を尋ねたところ、「自然の力を利用すべきだから」(51.1%)「日本にはエネルギー源が少ないから」(52.5%)、「自然エネルギーだから」(49.3%)、「多様なエネルギー源が必要だから」(42.7%)が全体としての上位を占めた。全体的な傾向としては、輸入に頼る既存エネルギーに対しては、エネルギー源の多様性を求め、国産エネルギーや新エネルギーに対しては、自然エネルギーや安全性を求める傾向にあるようである。

問20-2. あなたが問20-1でそう答えた理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選び下さい。
(○はいくつでも)

	全体 N→	原子力	既存エネルギー (輸入)			既存エネルギー(国産)		新エネルギー				その他
		原子力 発電	石炭 火力 発電	石油 火力 発電	天然ガ ス火力 発電	水力 発電	地熱 発電	風力 発電	太陽 光発 電	廃棄 物発 電	バイオ マス 発電	その他
	1200	443	44	65	196	546	381	738	989	317	213	11
エネルギーの安定供給のために多様なエネルギー源が必要だから	42.7	70.2	72.7	76.9	67.9	53.8	56.2	49.6	46.8	51.4	59.2	45.5
日本にはエネルギー資源が少ないから	52.5	72.5	54.5	56.9	62.2	63.0	62.2	60.4	58.3	65.9	68.1	63.6
化石燃料には限りがあるから	34.7	49.2	38.6	33.8	45.4	44.7	51.2	43.4	39.9	50.8	58.7	63.6
CO2を排出せず、温暖化防止に役立つから	39.4	51.5	22.7	33.8	47.4	48.2	50.7	47.3	44.7	50.8	55.9	45.5
発電価格(コスト)の面で有利だから	5.7	9.9	13.6	15.4	10.7	6.6	7.3	7.0	6.5	10.4	8.0	9.1
自然エネルギーだから	49.3	47.0	34.1	43.1	52.0	58.2	62.7	60.7	56.7	63.1	62.0	54.5
国産のエネルギーを増やすことは重要だから	20.3	29.8	27.3	27.7	34.2	27.8	31.8	26.6	23.3	35.0	40.8	54.5
安全そうだから	33.4	22.1	25.0	26.2	33.2	40.8	37.8	41.2	37.6	40.4	39.4	18.2
よく聞くから	8.5	9.3	13.6	15.4	10.7	8.2	7.1	9.2	9.5	8.8	8.9	-
自然の力を利用すべきだから	51.1	52.6	31.8	36.9	55.6	64.1	66.9	62.2	59.3	67.2	70.0	54.5
枯渇の心配がないから	13.0	15.8	9.1	13.8	13.8	15.9	23.4	15.7	15.2	22.7	24.4	36.4
その他	0.3	0.5	2.3	-	-	-	0.3	-	0.1	-	-	9.1
あてはまるものはない	9.4	0.9	-	-	1.5	1.3	0.8	1.5	1.4	1.9	1.4	-

(%)

Ⅸ章 国や自治体／専門家や原子力関係者
への信頼度別分析

●国や自治体／専門家や原子力関係者への信頼度別分析～原子力／放射線イメージ

- 原子力イメージ、放射線イメージ、とも「どちらともいえない層」は、3層の中で比べると反応水準(総量)が低い。
- 「信頼できる層」では、ベネフィット認知が3層に比べて高い。
- 「信頼できない層」では否定的なイメージが3層に比べて高い。

問4 「原子力」のイメージ

(%)

		(N全体)	肯定的なイメージ												総量
			明るい	ろおもしろい	やさしい	単純	よい	安全	信頼できる	安心	必要	役に立	やさしい	気になる	
全体		1200	3.8	0.3	0.3	0.2	2.4	3.8	1.8	1.6	35.4	32.6	0.3	16.7	
国や自治体の信頼	信頼できる層	392	4.1	0.5	0.3	0.3	2.3	5.4	3.6	2.3	44.4	43.6	0.5	17.6	
	どちらともいえない層	628	3.3	0.0	0.3	0.0	1.9	3.2	1.0	1.3	31.5	27.7	0.3	15.6	
	信頼できない層	175	4.6	0.6	0.0	0.6	4.6	2.3	1.1	1.1	29.7	26.3	0.0	18.9	
専門家の信頼	信頼できる層	410	6.1	0.5	0.2	0.2	2.9	5.9	3.7	2.0	47.1	41.7	0.5	17.6	
	どちらともいえない層	679	2.4	0.1	0.3	0.0	2.2	2.9	0.7	1.6	30.6	28.9	0.3	15.8	
	信頼できない層	107	3.7	0.0	0.0	0.9	1.9	0.9	1.9	0.0	21.5	22.4	0.0	19.6	
全体		1200	9.4	0.3	5.7	29.0	11.3	63.4	10.2	45.0	1.6	0.3	12.8	2.8	99.2
国や自治体の信頼	信頼できる層	392	7.9	0.3	6.4	30.6	8.7	62.2	7.9	44.6	0.8	0.8	8.2	3.1	124.9
	どちらともいえない層	628	9.4	0.2	4.5	29.1	11.3	61.6	7.3	43.3	1.1	0.0	15.8	3.3	86.1
	信頼できない層	175	12.6	0.6	8.6	25.7	17.1	72.6	25.1	52.6	5.1	0.6	13.1	0.6	89.8
専門家の信頼	信頼できる層	410	7.3	0.2	5.1	28.3	8.5	60.5	5.6	39.5	0.2	0.7	7.8	2.9	128.4
	どちらともいえない層	679	10.2	0.3	5.9	30.0	11.9	62.7	9.3	45.9	1.2	0.0	16.2	2.8	85.8
	信頼できない層	107	12.1	0.0	6.5	26.2	17.8	79.4	32.7	59.8	9.3	0.9	10.3	2.8	72.8

問5 「放射線」のイメージ

(%)

		(N全体)	肯定的なイメージ												総量
			明るい	ろおもしろい	やさしい	単純	よい	安全	信頼できる	安心	必要	役に立	やさしい	気になる	
全体		1200	0.5	0.3	0.1	0.0	1.2	1.3	1.4	0.8	18.8	28.1	0.1	13.7	
国や自治体の信頼	信頼できる層	392	0.5	0.0	0.0	0.0	1.8	1.0	2.6	0.8	24.2	38.5	0.0	13.5	
	どちらともいえない層	628	0.3	0.5	0.2	0.0	0.5	1.1	1.0	0.8	15.8	22.9	0.2	12.9	
	信頼できない層	175	0.8	0.0	0.0	0.0	2.3	2.3	0.6	1.1	16.6	22.9	0.0	16.0	
専門家の信頼	信頼できる層	410	0.0	0.2	0.0	0.0	1.5	1.0	2.9	1.0	23.7	39.0	0.0	14.4	
	どちらともいえない層	679	0.2	0.3	0.1	0.0	0.9	1.3	0.6	0.7	15.8	22.4	0.1	11.8	
	信頼できない層	107	0.7	0.0	0.0	0.0	1.9	1.9	0.9	0.9	18.7	21.5	0.0	21.5	
全体		1200	19.0	0.3	5.2	21.3	21.2	71.9	10.5	46.2	3.7	1.9	10.0	2.0	66.3
国や自治体の信頼	信頼できる層	392	19.1	0.3	5.4	22.2	17.3	72.7	8.9	44.1	2.8	1.3	10.5	2.6	82.9
	どちらともいえない層	628	18.0	0.5	4.1	20.1	21.5	69.6	9.6	45.4	3.7	2.2	9.7	1.9	56.2
	信頼できない層	175	22.3	0.0	8.6	23.4	28.6	78.9	17.7	53.7	5.7	2.3	10.3	1.1	62.6
専門家の信頼	信頼できる層	410	17.8	0.0	5.9	20.2	16.6	70.5	8.0	43.4	2.7	1.7	9.0	2.4	83.7
	どちらともいえない層	679	19.3	0.6	4.9	22.1	22.7	71.1	11.2	46.5	3.2	2.1	10.8	1.8	54.2
	信頼できない層	107	21.5	0.0	4.7	20.6	29.0	83.2	15.9	54.2	10.3	1.9	8.4	1.9	68.0

●国や自治体／専門家や原子力関係者への信頼度別分析～放射線に対し不安を感じるもの

- 「どちらともいえない層」は、反応水準が低い。
- 「信頼できる層」では、反応水準が高い。
- 「信頼できない層」では「原子力関連施設周辺の放射線」に対する不安感が3層に比べて高い。

問16 放射線に対し不安を感じるもの

(%)

		全体 (N)	大地からの放射線	宇宙からの放射線	食物からの放射線	空気中のラドンからの放射線	医療で受ける放射線	原子力関連施設周辺の放射線	その他	総量
全体		1200	17.2	20.6	21.8	11.8	35.3	56.8	0.3	163.8
国や自治体の信頼	信頼できる層	392	18.9	24.5	19.6	12.8	40.8	61.0	0.0	177.6
	どちらともいえない層	628	15.9	19.1	23.2	11.8	34.1	52.9	0.5	157.5
	信頼できない層	175	18.3	17.7	22.3	9.7	28.0	62.9	0.6	159.5
専門家の信頼	信頼できる層	410	19.8	25.6	19.5	12.4	38.0	55.4	0.0	170.7
	どちらともいえない層	679	16.2	18.4	22.5	11.6	33.9	57.0	0.6	160.2
	信頼できない層	107	14.0	15.9	27.1	10.3	34.6	62.6	0.0	164.5

●国や自治体／専門家や原子力関係者への信頼度別分析～原子力やエネルギーに関する情報源

■「どちらともいえない層」は、反応水準が低い。
 ■「信頼できる層」では、反応水準が高い。
 ■「信頼できない層」では「原子力関連施設周辺の放射線」に対する不安感が3層に比べて高い。

問8-1 原子力やエネルギーに関する情報入手経路 (%)

		全体 (N)	インターネット	ラジオ	P博物館・施設・展示館・	新聞	テレビ	雑誌	本・パンフレット	その他	総量
全体		1200	16.2	8.8	3.4	53.0	81.0	12.7	7.6	1.6	184.3
国や自治体の信頼	信頼できる層	392	16.1	10.2	2.8	62.5	84.4	13.8	7.1	1.5	198.4
	どちらともいえない層	628	15.3	7.5	3.5	49.7	80.4	11.8	6.5	1.8	176.5
	信頼できない層	175	20.0	10.3	4.6	45.1	76.6	13.7	12.6	1.1	184.0
専門家の信頼	信頼できる層	410	17.6	9.0	3.7	60.5	84.6	13.4	7.3	1.7	197.8
	どちらともいえない層	679	14.7	8.1	3.2	49.5	80.7	11.9	7.4	1.8	177.3
	信頼できない層	107	20.6	12.1	3.7	48.6	71.0	15.0	10.3	0.0	181.3

問8-2 この1年間に原子力に関するよい情報を得た人 (%)

		全体 (N)	政府関係者	専門家	評論家	原子力関係者	自治体職員	小・中・高等学校の教員	テレビ・ラジオなどのアナウンサー	新聞・雑誌などの記者	テレビ・ラジオなどのアナウンサー	政治家	その他	総量
全体		1200	5.8	16.8	23.1	9.8	0.6	1.8	44.9	20.0	1.9	1.8	1.5	128.0
国や自治体の信頼	信頼できる層	392	7.4	23.2	26.3	13.5	1.0	1.3	53.3	23.7	3.1	2.8	1.5	157.1
	どちらともいえない層	628	4.6	13.5	24.4	7.2	0.3	2.1	42.5	18.6	1.4	1.1	1.6	117.3
	信頼できない層	175	6.3	14.3	12.0	10.9	0.6	2.3	35.4	17.1	1.1	1.7	1.1	102.8
専門家の信頼	信頼できる層	410	6.1	22.9	28.0	12.7	1.0	1.2	54.4	23.9	2.4	2.2	1.7	156.5
	どちらともいえない層	679	5.3	14.0	21.2	7.4	0.4	2.2	41.2	18.9	1.9	1.5	1.3	115.3
	信頼できない層	107	7.5	11.2	16.8	14.0	0.0	1.9	33.6	13.1	0.0	1.9	1.9	101.9

問8-3 この1年間に原子力に関する悪い情報を得た人 (%)

		全体 (N)	政府関係者	専門家	評論家	原子力関係者	自治体職員	小・中・高等学校の教員	テレビ・ラジオなどのアナウンサー	新聞・雑誌などの記者	テレビ・ラジオなどのアナウンサー	政治家	その他	総量
全体		1200	3.3	11.4	23.7	3.8	0.4	2.0	54.2	25.1	1.3	2.3	0.9	128.4
国や自治体の信頼	信頼できる層	392	5.9	14.8	26.8	5.9	0.8	2.0	59.9	28.6	1.8	2.8	0.5	149.8
	どちらともいえない層	628	1.6	9.2	23.6	3.7	0.3	1.9	51.6	22.9	1.1	1.8	1.3	119.0
	信頼できない層	175	4.0	12.0	17.7	0.0	0.0	2.3	51.4	25.7	1.1	3.4	0.6	118.2
専門家の信頼	信頼できる層	410	5.1	14.4	27.6	5.9	0.5	1.7	62.2	26.1	1.7	2.2	0.7	148.1
	どちらともいえない層	679	2.4	10.0	22.1	2.9	0.4	2.2	50.5	24.0	1.2	2.5	1.0	119.2
	信頼できない層	107	2.8	9.3	19.6	1.9	0.0	1.9	48.6	29.0	0.9	1.9	0.9	116.8

●国や自治体／専門家や原子力関係者への信頼度別分析
 ～参加してみたい「原子力やエネルギーに関するイベント・施設・情報源」

■「どちらともいえない層」は、いずれの質問でも総量は低めにとどまる
 ■「信頼できる層」は、いずれの質問でも総量が高く、他の層に比べて「施設見学会」への反応が高い
 ■「信頼できない層」は、いずれの質問でも総量は低めにとどまる。唯一「書籍」が他の層と比べて高い項目。

問9 参加してみたい「原子力やエネルギーに関するイベント・施設・情報源」 (%)

		全体 (N)	施設見学会	勉強会	工作教室	実験教室	趣味講座	講演会／ 数、双方向 少	講演会／ 大規模、 ハネリストの 討論	コンクール	総量
全体		1200	43.8	11.4	4.6	14.4	6.6	5.2	7.5	1.9	95.4
国や自治体の信頼	信頼できる層	392	53.3	14.0	4.8	14.5	6.9	6.4	11.5	1.5	112.9
	どちらともいえない層	628	40.3	9.7	4.5	13.5	6.7	4.3	5.7	2.1	86.8
	信頼できない層	175	36.0	12.0	4.6	17.7	5.7	5.7	5.1	2.3	89.1
専門家の信頼	信頼できる層	410	56.3	12.9	4.9	15.9	7.3	4.4	11.5	1.5	114.7
	どちらともいえない層	679	38.0	11.0	4.3	13.8	6.5	5.2	5.2	2.4	86.4
	信頼できない層	107	33.6	8.4	5.6	13.1	4.7	8.4	7.5	0.9	82.2

問9 理解に役立つ「原子力やエネルギーに関するイベント・施設・情報源」 (%)

		全体 (N)	書籍	パンフレット	Dビデオ・DV	メール配信	ホームページ	新聞広告・記事	番組	テレビCM	その他	総量
全体		1200	21.3	15.9	15.4	1.9	17.7	34.0	51.2	0.4	157.8	
国や自治体の信頼	信頼できる層	392	25.0	18.9	20.7	3.1	18.4	42.1	57.4	0.8	186.4	
	どちらともいえない層	628	18.8	15.6	12.7	1.4	17.5	32.0	49.8	0.2	148.0	
	信頼できない層	175	22.3	10.9	13.7	1.1	17.1	24.0	43.4	0.6	133.1	
専門家の信頼	信頼できる層	410	26.1	20.5	18.8	2.9	21.0	41.2	58.3	0.5	189.3	
	どちらともいえない層	679	17.2	14.1	13.4	1.2	16.2	30.3	49.6	0.3	142.3	
	信頼できない層	107	29.0	10.3	15.9	2.8	15.0	29.9	34.6	0.9	138.4	

●国や自治体／専門家や原子力関係者への信頼度別分析
 ～専門家、関係者の信頼度理由／国や自治体の信頼度理由

■「どちらともいえない層」は、総量が低めにとどまる。
 ■肯定的な理由は、「信頼できる層」が他の層よりも高く「どちらともいえない層」「信頼できない層」になるほど低くなる。
 ■否定的な理由は、「信頼できない層」が他の層よりも高く「どちらともいえない層」「信頼できる層」になるほど低くなる。

問11-2 原子力に携わる専門家、関係者の信頼度理由 (%)

	全体 (N)	肯定的な理由					否定的な理由					総量	
		情報公開が十分	大きな事故や問題がない	管理体制や安全対策が十分	専門的な知識を持っている人だから	信頼したいから	情報公開が十分	事故が起きる可能性がある	管理体制や安全対策が不十分	専門家にも間違いはある	信頼できないから		
全体	1200	5.6	7.8	5.7	17.0	20.1	34.9	30.3	17.3	20.5	10.8	170.0	
国や自治体の信頼	信頼できる層	392	11.0	14.0	13.8	35.2	41.1	17.1	19.6	8.7	11.5	2.0	174.0
	どちらともいえない層	628	3.2	5.6	1.9	8.6	11.6	41.7	34.1	18.8	23.9	9.6	159.0
	信頼できない層	175	2.3	1.7	1.1	6.9	4.0	51.4	41.1	32.0	29.1	35.4	205.0
専門家の信頼	信頼できる層	410	13.2	17.3	14.6	45.9	50.2	8.0	11.0	3.9	8.3	0.0	172.4
	どちらともいえない層	679	1.8	2.9	1.2	2.1	5.2	47.9	39.3	21.2	26.2	11.3	159.1
	信頼できない層	107	0.9	1.9	0.0	1.9	0.0	57.0	48.6	44.9	31.8	49.5	236.5

問13-2 原子力安全管理における国や自治体の信頼度理由 (%)

	全体 (N)	肯定的な理由						否定的な理由						総量	
		情報公開が十分	大きな事故や問題がない	管理体制や安全対策が十分	専門的な知識を持っている人だから	信頼したいから	国や公的機関は営利目的ではないから	情報公開が十分	事故が起きる可能性がある	管理体制や安全対策が不十分	専門家にも間違いはある	信頼できないから	自分達の利益優先に感じるから		
全体	1200	6.9	9.3	6.2	10.0	21.5	7.5	40.0	27.2	17.1	17.6	13.3	14.1	190.7	
国や自治体の信頼	信頼できる層	392	15.8	22.7	16.3	28.6	55.9	17.6	7.7	9.2	3.6	6.1	0.8	2.8	187.1
	どちらともいえない層	628	2.9	3.5	1.1	1.1	5.7	2.2	54.1	35.4	20.1	22.1	11.6	15.4	175.2
	信頼できない層	175	1.7	0.0	1.7	0.6	1.7	4.0	62.9	38.9	37.1	27.4	48.0	34.9	258.9
専門家の信頼	信頼できる層	410	12.9	18.5	12.9	22.4	43.9	11.0	21.2	13.7	7.3	11.2	4.4	8.3	187.7
	どちらともいえない層	679	4.0	5.0	3.1	4.0	10.9	5.7	47.7	32.7	19.4	19.7	13.7	15.0	180.9
	信頼できない層	107	2.8	0.9	0.0	0.9	3.7	5.6	64.5	43.9	40.2	29.0	45.8	30.8	268.1

●国や自治体／専門家や原子力関係者への信頼度別分析
～原子力安全管理を国に任せるために配慮されるべき点

■「どちらともいえない層」は、いずれの質問でも総量は低めにとどまる。
 ■「信頼できる層」は、「検査体制の強化」「事故原因の徹底究明」「安全管理規制の強化」「放射線管理の徹底」など、規制・管理に対して配慮すべきとの意見が他の層よりも高い。
 ■「信頼できない層」は、「責任の所在の明確化」「職員の姿勢」「実務の公開」など、人的要因に対して配慮すべきとの意見が他の層よりも高い。

問14 原子力安全管理を国に任せるために配慮されるべき点 (％)

		全体 (N)	情報公開	職員の姿勢	実務の公開	責任の所在の明確化	検査体制の強化	事故原因の徹底究明	事故に対する未然防止策	安全管理規制の強化	放射線管理の徹底	見学会や説明会の開催	展示館の設置	地域振興	総量
全体		1200	69.6	30.5	17.2	34.8	31.5	61.5	48.6	50.5	40.0	16.7	4.5	5.8	411.2
国や自治体の信頼	信頼できる層	392	74.5	32.9	16.6	36.2	38.3	71.4	58.4	62.5	46.4	20.9	6.6	7.1	471.8
	どちらともいえない層	628	66.7	27.4	15.4	32.5	26.4	56.8	43.8	46.0	36.3	15.0	3.2	4.9	374.4
	信頼できない層	175	70.9	37.1	25.1	41.1	35.4	57.7	45.1	41.1	40.0	13.7	4.6	6.3	418.1
専門家の信頼	信頼できる層	410	72.2	33.4	16.6	40.5	38.0	68.5	55.9	58.0	44.4	21.0	5.9	7.6	462.0
	どちらともいえない層	679	67.9	27.7	16.5	30.5	26.2	57.0	44.9	47.3	37.6	14.9	3.7	4.7	378.9
	信頼できない層	107	72.9	38.3	24.3	42.1	41.1	65.4	45.8	43.9	40.2	12.1	4.7	6.5	437.3

●国や自治体／専門家や原子力関係者への信頼度別分析～信頼している日本の原子力技術

- 「信頼できる層」は、信頼している原子力技術の総量が高い。
- 「どちらともいえない層」「信頼できない層」になるほど総量が低くなる。

問15 信頼している日本の原子力技術

(%)

		全 体 (N)	発 電	療 放 利 用 線 の 医	業 放 利 用 線 の 農	年 代 測 定	業 放 利 用 線 の 工	非 破 壊 検 査	食 品 照 射	物 放 射 性 分 棄	核 燃 料 サ イ	そ の 他	総 量
全体		1200	45.8	70.4	6.6	9.1	9.6	11.9	2.2	5.7	7.8	0.1	169.1
国や 自治体 の信頼	信頼できる層	392	65.1	84.4	9.7	9.9	14.0	16.1	3.6	11.0	14.5	0.0	228.3
	どちらとも いえない層	628	39.2	63.4	5.4	8.8	7.8	8.3	1.3	3.3	4.8	0.2	142.5
	信頼できない層	175	27.4	66.3	4.0	8.6	6.3	16.0	2.3	2.3	4.0	0.0	137.2
専門家 の信頼	信頼できる層	410	66.8	84.4	9.5	10.2	12.2	15.1	3.7	10.5	13.9	0.0	226.3
	どちらとも いえない層	679	36.8	63.0	5.0	7.4	8.5	9.4	1.5	3.2	5.0	0.1	139.9
	信頼できない層	107	22.4	65.4	5.6	15.9	6.5	15.9	0.9	2.8	2.8	0.0	138.2

●国や自治体／専門家や原子力関係者への信頼度別分析～日本の原子力利用のしくみの信頼度

- 「どちらともいえない層」は、総量が低めにとどまる。
- 肯定的な理由は、「信頼できる層」が他の層よりも高く「どちらともいえない層」「信頼できない層」になるほど低くなる。
- 否定的な理由は、「信頼できない層」が他の層よりも高く「どちらともいえない層」「信頼できる層」になるほど低くなる。

問21 日本の原子力利用のしくみの信頼度 (%)

		全体 (N)	信頼 できる	信 ど ち ら か と い え ば	い ど ち ら と も い え な い	信 ど ち ら か と い え ば	信 頼 で き な い	無 回 答
全体		1200	6.3	32.3	53.9	4.1	2.4	1.1
国や 自治体 の信頼	信頼できる層	392	14.5	53.8	28.8	1.0	0.5	1.3
	どちらとも いえない層	628	1.9	22.6	71.2	2.4	1.4	0.5
	信頼できない層	175	2.9	19.4	49.7	17.1	10.3	0.6
専門家 の信頼	信頼できる層	410	12.4	52.4	33.2	1.0	0.5	0.5
	どちらとも いえない層	679	2.7	22.5	69.5	2.8	1.5	1.0
	信頼できない層	107	4.7	17.8	36.4	24.3	15.9	0.9

3. 6 世論調査自由回答

問4 「原子力」のイメージ(その他)

ID	性	年齢	内 容	都道府県
106	2	15	エコ	愛 知
339	1	70	人間次第	東 京
464	1	19	北朝鮮	北海道
475	1	23	経済、軍事、あらゆる物で2面性を持つ。	静 岡
619	1	27	強い	東 京
644	1	46	資源不足回避	東 京
771	1	69	パワーがあり。	大 阪
846	2	75	広島、長崎	岡 山
883	1	39	爆弾	大 阪

問4 「原子力」のイメージ(その他)

ID	性	年齢	内 容	都道府県
52	2	22	レントゲン	大 阪
739	1	29	治療時に使用する面では必要。	愛 知
778	2	16	怖い	兵 庫
781	1	32	レントゲン	栃 木
816	2	67	レントゲン	山 口
890	1	38	病気の治療には必要。	茨 城
1051	1	26	科学的	大 分
1054	2	30	病院でも聞くので悪いものではないのかな？	大 分
1143	1	61	レントゲン	新 潟
1163	2	32	使い方によっては便利。	神奈川

問4 「原子力」のイメージ(その他)

ID	性	年齢	内 容	都道府県
914	1	46	潮力発電	兵 庫

問4 「原子力」のイメージ(その他)

ID	性	年齢	内 容	都道府県
100	2	16	学校	愛 知
148	2	36	生協のチラシ	東 京
256	2	19	大学の講義	岐 阜
290	1	51	知人	千 葉
484	2	17	授業	福 岡
559	1	33	自分の仕事	千 葉
610	2	20	病院	埼 玉
639	2	20	授業	長 崎
751	1	17	学校の授業。	栃 木
796	2	18	学校授業	山 口
849	1	76	建設に立ち会ったことがある。	広 島
850	2	22	学校	広 島
855	2	20	学校	鹿 児 島
961	1	18	先生	岡 山
1015	1	16	学校の授業。	鹿 児 島
1081	1	19	学校	京 都
1162	2	17	学校	神 奈 川

問4 「原子力」のイメージ(その他)

ID	性	年齢	内 容	都道府県
16	2	24	ブログ	神奈川県
38	1	56	思いあたらないが、どこかで。	大阪府
76	2	39	CM	神奈川県
274	2	38	TVのCM	神奈川県
514	2	36	インターネット	千葉県
532	2	38	本	埼玉県
755	2	52	息子	栃木県
1027	1	20	大学の講義。	埼玉県
1051	1	26	インターネット上の記事。	大分県
1058	1	59	保険の方。	栃木県
1191	1	52	歴史チャンネル・ディスカバリーチャンネル	神奈川県

問4 「原子力」のイメージ(その他)

ID	性	年齢	内 容	都道府県
148	2	36	生協のチラシ	東 京
413	2	49	ウクライナ出身の歌手	茨 城
994	2	21	本	広 島
1000	2	18	映画「東京原発」	広 島
1027	1	20	大学の講義。	埼 玉
1191	1	52	ヒストリーch・ディスカバリーch	神奈川

問4 「原子力」のイメージ(その他)

ID	性	年齢	内 容	都道府県
270	2	50	自治体の広報誌	東 京

問4 「原子力」のイメージ(その他)

ID	性	年齢	Q11-1	内 容	都道府県
10	2	20	3	よくわからない。	大 阪
38	1	56	4	今までの日本の事故の実態から。	大 阪
53	2	54	3	よくわからないので。	大 阪
76	2	39	3	よくわからないから。	神奈川
83	2	37	3	内容がよくわからない。	奈 良
142	2	25	3	故意に嘘をつくことがあるから（専門家が）。	埼 玉
254	1	48	3	立場によって言い方が変わってくると思うから。	岐 阜
261	2	15	3	よくわからない。	東 京
267	1	57	3	公務員は信頼出来ない。	東 京
277	2	74	3	知らないので、どちらとも回答が出来ない。	愛 知
280	1	63	3	テレビ等ニュースで知るだけ。	愛 知
325	1	22	3	信頼性は職種では判断が不可能であるから。	神奈川
359	2	53	3	自分自身情報量がないから、判断できかねる。	神奈川
367	1	24	3	よくわからないから。	東 京
404	1	46	3	専門家等自分の知識を過信しがちだから。	千 葉
421	1	32	3	自分の知識が不十分だから。	新 潟
447	1	69	4	組織や企業その他団体に帰属するコメンテーターが多いのでは？都合の良いコメントが出てくるはず。	北海道
490	2	27	3	あまりよくわからない	長 野
502	2	29	2	知識がないので信頼せざるを得ない。	埼 玉
532	2	38	3	私に知識がないのでわからないから。	埼 玉
542	1	57	3	よくわからないから	秋 田
575	2	42	3	自分に正しい知識があるとは言えないから。	北海道
624	2	55	3	知識がないのでよくわからないが、情報公開の100%は無理だと思う。	東 京
642	2	52	3	考えたことがない。	長 崎
754	2	28	3	よくわからない。	栃 木
850	2	22	3	立場によって見方が変わるから。	広 島
856	2	36	3	信頼できるか、できないか判断できるほどの情報を私自身が持っていないと思うから。	鹿児島
862	2	38	3	よくわからない。	岡 山
911	2	52	3	よくわからない。	長 野
914	1	46	3	信頼できる人もできない人もいる。	兵 庫
1036	2	33	3	よくわからない。	大 分
1043	2	38	3	よくわからない。	東 京
1205	2	38	3	よくわからないので。	東 京

問4 「原子力」のイメージ(その他)

ID	性	年齢	内 容	都道府県
14	1	34	危機管理能力を有する人	神奈川
182	1	49	政治家	三 重
447	1	69	どの組織にもない中立の人。	北海道
1189	1	35	住民の代表者等の第三者	神奈川

問4 「原子力」のイメージ(その他)

ID	性	年齢	Q13-1	内 容	都道府県
53	2	54	3	よくわからないので。	大 阪
84	2	64	3	判らないから何ともいえない。	奈 良
384	2	64	3	よくわからない	愛 知
490	2	27	3	あまりよくわからない	長 野
542	1	57	3	よくわからないから	秋 田
574	2	33	3	よくわからないから	北海道
595	1	24	2	日本の技術力があるから。	福 岡
624	2	55	3	どちらとも言えないが、信頼したい。	東 京
754	2	28	3	よくわからない。	栃 木
829	1	20	5	この先未来がないから。	徳 島
862	2	38	3	よくわからない。	岡 山
911	2	52	3	よくわからない。	長 野
1024	2	33	3	自分が知識不足だから。	徳 島
1036	2	33	3	よくわからない。	大 分
1043	2	38	3	ようわからない。	東 京
1205	2	38	3	よくわからないので。	東 京

問4 「原子力」のイメージ(その他)

ID	性	年齢	内 容	都道府県
395	2	53	研究にしっかりお金を使うこと。	大 阪
480	2	55	安全ならば都心等大都市に設置して欲しい。	静 岡
620	1	39	原子力の利用をやめるべき。	東 京
752	1	33	第三者による監視。	栃 木
1055	2	41	あらゆる可能性についての協議も説明。	大 分

問4 「原子力」のイメージ(その他)

ID	性	年齢	内 容	都道府県
475	1	23	軍事利用、原子力潜水艦等	静 岡

問4 「原子力」のイメージ(その他)

ID	性	年齢	内 容	都道府県
1149	2	29	よくわからない。	福 岡

問4 「原子力」のイメージ(その他)

ID	性	年齢	内 容	都道府県
73	1	20	環境を市場システムに内在化するような政策を行うべき。	神奈川
974	1	59	リスク軽減方法を同時進行する。リサイクル技術など。	広 島

問4 「原子力」のイメージ(その他)

ID	性	年齢	内 容	都道府県
17	2	58	大きな駅へ歩く人（の地面）などからのエネルギー、海の波を利用。	神奈川
133	1	36	メタンハイドレード	滋 賀
209	2	52	海水、波	島 根
353	2	59	名前がわからないけれど海底にある燃える水？	神奈川
447	1	69	水素エネルギー実用化を早める。	北海道
733	1	21	地面感知器を設置して人が歩く振動を利用して発電するやつ。	和歌山
836	1	55	核融合	熊 本
914	1	46	潮力発電	兵 庫
944	1	59	水素発電	岡 山

問4 「原子力」のイメージ(その他)

ID	性	年齢	Q20-1	内 容	都道府県
710	1	55	01, 04	現実のエネルギー需要に応えられるものは原子力しかない。	兵 庫

問4 「原子力」のイメージ(その他)

ID	性	年齢	内 容	都道府県
1	1	34	安全管理に細心の注意をはらい、情報開示をしっかりしていけば原子力利用は決して悪いものではない。自然を利用したエネルギーの活用をさらに拡大しつつ、一つのエネルギーとして併用していけばいいと思います。	東 京
3	1	76	原子力エネルギーについて、情報を得ることと、勉強が必要と感じました。	東 京
14	1	34	国民が不安に感じる体制をとる必要がある。良い点だけでなく、悪い点ももう少し発信してくれると判断がしやすい。	神奈川
18	2	60	原子力エネルギーについては、国民に興味をもってもらうことが大切だが、なかなか情報を得ることが出来にくいので、テレビのCMなどをうまく使ってわかりやすく、広報してもらいたい。	神奈川
20	1	38	基本的に情報を信用できません。	東 京
23	2	55	難しすぎてわかりません。	東 京
24	2	66	質問が難しいです。わかりません。	東 京
29	2	36	わからない。	東 京
30	2	72	原子力がエネルギーだけに利用されているなら安心出来るが、全世界の国々が原子力を国と国の争いに使う事になるのではないかと、大変不安に思っています。	東 京
33	1	71	これらにたずさわる人々は色々な手段で適宜わかりやすく説明が欲しい。	兵 庫
36	2	61	自然のエネルギーで発電したり活用するのは、そのもの出すエネルギーの量(大きさ)はまだまだ足りないと思います。それを補うために、原子力のエネルギーの力を借りるのは仕方ないと思います。ただ原子力は環境や人間に与えるダメージがあるので、その点を十二分に考え、思慮深く使用してほしいと思います。	兵 庫
50	1	37	あまりよくわからない。	大 阪
51	1	62	テレビや新聞で知る事しかできない。特番でやるとかして欲しい。	大 阪
56	1	53	国民に情報を伝えるのは、テレビが一番早く利用すべきだと思う。	大 阪
65	2	44	太陽光、風力等、各家庭でもできるよう技術、金額等の再検討をし、原子力1本に頼らない姿が必要。	兵 庫
69	1	69	資源がないため、他の自然力の資源活用をすべきである。	東 京
71	2	41	わからない。	東 京
73	1	20	日本のエネルギー安定化させるため、原子力をさらに研究し、石油よりも安いコストで大量供給できるようにするべき。	神奈川
78	2	70	今後の事はわからない。	神奈川
84	2	64	判らない。	奈 良
86	1	49	正確な情報を速やかに伝えて欲しい!	兵 庫
90	2	64	国による発信	兵 庫
95	2	45	エネルギーに関する情報や情報発信が大人を対象とした物だけでなく、子供にもわかりやすく、子供向けのテレビ番組や学校での説明会などこれからエネルギーを使っていく世代にもわかるよう伝えていって欲しい。	京 都
103	1	39	わからない。	愛 知
112	2	19	あまり興味がないので、興味をそそるような情報の伝え方など工夫してみたらいいかもしれません。	大 阪
116	1	56	原子力は、使用上安心も出来るかもしれないが、個人個人が自然を利用する事と考え、エコ対策に協力すべきだと思います。	埼 玉
117	1	66	自然エネルギー安定供給の為、水力、風力発電設置問題に対する国及び自治体の対策強化。	埼 玉
118	2	34	原子力について、普段ほとんど見聞きすることがないのですが、マスコミなどを利用すれば、もっと浸透するのではないのでしょうか。	埼 玉
121	1	22	正確に!!	奈 良
127	1	22	ネットで情報を流してもらえば、いつでも見られる。	東 京
134	1	46	原子力の有用性とそのおそろしさを科学的に素直に教育するべき。	滋 賀

問4 「原子力」のイメージ(その他)

ID	性	年齢	内 容	都道府県
140	1	35	原点に戻ってエネルギー源のものは何かを考え、今に役立つ方法を考察してみてもいい。	埼 玉
151	1	38	原子力は安全にして欲しい。	大 阪
152	1	41	学校の授業などにも、もっと盛り込むべき。	大 阪
154	2	17	TV放送やPCなどを重点的に情報発信する。	大 阪
169	1	19	放射線はこれから利用していく上で危険が伴うと思う。	山 形
200	1	58	原子力行政は見直すべきである。放射能と放射線の言葉の使い方に注意すべきである。	石 川
210	2	67	放射性廃棄物の処分方法で、地下に埋設するのでは、安全とは言えない。未来に宿題を残すやり方は賛成できない。	島 根
221	2	48	小学校など、子どもが小さなうちに正しい理解ができるようなチャンスがもっと多く（授業に取り入れるとか）あれば良いと思う。	千 葉
229	1	31	原子力や放射線といったものは身近な生活にかかわってくる事なのに、仕組みなどについて、学習する機会が限られている。大人になる前に少しでも学習できると関心度も違うと思う。	埼 玉
251	2	47	医療で使用される放射線の安全性をもっと向上して欲しい。	愛 知
254	1	48	地球温暖化を考えると、化石燃料を使った発電は避けたい。だが、太陽、風、水といった発電ではまかなえないので、原子力に頼らざるを得ない。だから原子力の管理をしっかりする必要がある。また皆が原子力を理解する必要がある。	岐 阜
255	1	75	自治広報などで、よくわかるように、簡単に少しずつ流して欲しい。	岐 阜
256	2	19	原子力等の情報源が少ない上に専門的、自分とはあまり強い関わりがないというマイナスイメージがあるため、知識が不足している。国や自治体が小・中学校の教育（講演会など）として、さまざまな情報を伝えていくべき。	岐 阜
263	1	46	事故などについては、インターネットを利用して即座にメール配信等して欲しい。	東 京
269	2	46	日本は戦争時にあった原爆投下を経験しているという事もあり、原子力や放射線に対して悪いイメージを持っていると思います。一方で、CT、MRIまたはがん治療等で微量ながら放射線を浴びています。また自然からの放射線を浴びているという事を小学生の時から教えて正しい知識と理解を学んで欲しいと思いました。今電力の供給はほとんど原子力に頼っています。わかりやすい解説を望みます。	東 京
270	2	50	学校教育に盛り込んで欲しい。	東 京
271	1	23	あまり大きく取り上げられていない事が問題。ニュースの中での取り上げられる時間が短い。携帯への配信が一番伝わるのではないか？（配信のやり方に工夫が必要）	神奈川
273	1	63	原子力関係の安全管理については信頼性が不透明。一旦有事の際官製情報には操作が加えられる恐れを否定できない。ニュートラルな立場の市民団体等が常時監視の眼を緩めないシステム作りが望まれると思う。	神奈川
274	2	38	自分達の利益etc. を考えずに情報の公開。地域住民が安心して生活できるように管理体制を十分にしたい。	神奈川
278	2	45	よく知りません。すみません。	愛 知
285	1	53	定期的にマスコミを使用し、情報発信する。	東 京
286	2	31	TVのCM等で、たまに見るけど、TVを見ない時もあるので、携帯のニュース等に重要な事は自動に流れるようになれば良いと思う。	東 京
292	2	34	個人が知ろうとする努力が必要。情報はいつでも誰でも気軽に得られる状況でありたい。	千 葉
294	2	53	情報はすべからず一般に向けて公開されるべきと思う。使用に関しても、上の方で決めてしまうのではなく、私たち一般の人々の意見を広く聞き、その上で決めるべきだと思う。	千 葉
300	2	67	テレビの情報で。	神奈川
308	1	42	不安が多い。	京 都

問4 「原子力」のイメージ(その他)

ID	性	年齢	内 容	都道府県
313	1	17	原子力についてのニュースをあまり聞かないので、もっと分かりやすく報道して欲しい。	東 京
316	2	26	ガン治療などの放射線はどういうものなのか、もっと人々に教えていくべき。	東 京
320	1	46	従来通りで良い。	千 葉
334	2	36	もっと全国民にわかりやすく原子力エネルギーや放射線の必要性や安全性の情報を提供して欲しいです。	東 京
336	2	70	無理とは思いますが、情報公開を正確に十分にしたい！	東 京
338	1	44	事故や危険なことがあれば包み隠さず国民に知らせるべきだ。	東 京
339	1	70	全ての施設の情報の発信を何時でも国民が知ることができる、見ることができるような状態にするべきだと思う。もしも今、そうであるならば、PRすべきだと思う。	東 京
340	2	21	核兵器等被害が出るような使い方ではなく、国の為、国民の為に利用できるやり方だったらいいと思う。もう少し国民に、情報を発信したら、もっと興味も関心も持てると思う。	東 京
341	2	51	TVを通じて正確な情報を報道することが大切である。	東 京
343	1	39	もっと様々なメディアに原子力・放射線の必要性をアピールすべきだと思う。	埼 玉
369	1	62	国全体のエネルギー事情をもっと知らしめるべき。温暖化防止の為、今後どのようなエネルギーを中心にすべきかもっと検討し公表しなければならない。	東 京
372	2	77	大切と思っていますが、知識力が少ない自分です。	東 京
376	2	30	今迄あまり考えたことがない分野なので、テレビでわかりやすく放送してもらえるとみてみたいと思います。	大 阪
379	1	32	自分はこれからのことに関する知識は無知なので、もっとテレビ等のメディア等で特集番組等をするとか、みんながほぼ、常に情報を取り入れやすい、テレビ、パソコン、携帯電話等で情報発信して欲しい！ (今置かれている状況等を正確に確かに早く取り入れたいので！！これはみんな思っていることじゃないかな！すごく大事、重要なことだと思います)あと1つ言えることは、今、携帯電話を持っている人は日本ではほとんどの人が持っていると思うので、各携帯電話会社のお願ひ、要請して、個人の携帯電話にメール等でいろんな情報を発信して欲しい。	愛 知
380	1	47	国民にとって不利益な部分が十分公表されているか不安を覚えます。	愛 知
381	1	76	国際社会が人類愛をもって行動することが不可欠であると思います。	愛 知
385	1	23	資源の少ない日本で安全を確保した上で積極的に利用すべきだと思う。	大 阪
386	1	52	徹底した情報公開。	大 阪
394	2	15	特にない。理解できなかった。	大 阪
399	1	57	事故や管理不備のニュースが多い。基本的な管理体制の作成方法や監査方法に問題があると思う。	愛 知
400	2	37	わからない	愛 知
404	1	46	情報公開には確かに限界があると思うが、少なくとも国民が知らない間に原子力開発が進んでいることは避けて欲しい。	千 葉
412	2	39	便利な物ができるのは良いが、地球の将来も考えて少し抑えるべきでは？	茨 城
414	2	57	なにより安全をお願いします。	茨 城
435	1	56	基本的にはいい意味で原子力エネルギーは必要と思っている。ので、情報は片寄りのない方法で広報を利用して発信する方法をもっと広めた方が良い。	福 岡
441	1	56	原子力やエネルギー、放射線についてまず安全性が第一であると思います。	長 崎

問4 「原子力」のイメージ(その他)

ID	性	年齢	内 容	都道府県
447	1	69	第三者機関による正しい（隠蔽のない）情報を発信すべきと思う。自分立場や組織をかばうような機関からの情報は不信感を拭えない。マスメディア等の発信も上記のようなものに類似したところがあると思われる。	北海道
453	1	74	新聞、テレビ、書籍、雑誌以外にはない。	埼 玉
454	2	23	もっと身近に最近のことがわかる配布物があると良い。無料配布等で駅等に置く。情報誌とか…。	埼 玉
460	2	34	正直よく分からないです。	北海道
462	2	77	安心安全	北海道
475	1	23	国家の存続、日本国の防衛の為、原子力技術と情報発信（外交）を積極的且つ慎重に行う必要がある。	静 岡
480	2	55	安全ならば都心等大都市に設置して欲しい。	静 岡
481	1	36	情報公開する前に最新の注意を払う。	福 岡
483	1	54	早急に国全体で新エネルギーの確立を希望します。これについての国家予算を多く設け、常に国民にわかりやすく情報公開及び進行状況をテレビ、新聞にて発信してもらいたい。特に医療面での早急な活用を期待したい。	福 岡
484	2	17	もっとわかりやすく説明すべき。授業や家庭で話しても、理解できなければ実行できない！	福 岡
495	1	56	よくわからない	秋 田
497	2	59	よくわからない	秋 田
502	2	29	正直このアンケートをするまで原子力や放射線ってよくわかっていませんでした。何となく危険というイメージしかありませんでしたが、様々な分野で役に立つということを知りませんでした。私達が普段情報源としているテレビや携帯、インターネットで子供でもわかりやすいように伝えてくれればもっと興味や関心が湧くと思いました。	埼 玉
509	2	48	悪いことばかりが新聞やテレビ等に載るのではなく、良いこともまたはそこでの取組等も伝えて頂ければ…と思います（してあると思いますけど定期的にあればいいかな）。	福 岡
514	2	36	マスコミ等による過剰な情報操作がないようにして欲しい（必ずコメントーターも一方的な意見ではなく他方面の意見を取り入れる）。ワイドショーでは、この傾向が特に強く表れると思います。	千 葉
516	2	70	情報発信として、テレビやラジオも必要ですが、学校等若い人これからの世の中を作っていく世代に教育し、関心を持って頂き、より良い原子力やエネルギー放射線の在り方を考えて日本中や世界中をより良い方向に導いて頂きたい。	千 葉
529	1	26	地震速報等文字で流してくれると良い（テレビ等）。	埼 玉
535	1	25	信頼できる情報を提供。	福 岡
540	2	75	あまりよくわからない	福 岡
559	1	33	間違いを隠しては安全性、重要性を国民に理解してもらえないと思います。	千 葉
566	1	48	石油や石炭等の資源エネルギーは有限であり、代替エネルギーとしては原子力発電の利用はある程度やむを得ないとする。国や自治体は安全性、信頼性の確保に努めて欲しい。	北海道
577	1	19	わからない	福 岡
578	1	75	とにかく自然を利用開発し水力・地熱・風力・太陽光等の発電を行うべし。	福 岡
581	2	55	原子力や放射線等のエネルギーが必要なことは、皆知っているとは思いますが、もっと安全性や情報をテレビやラジオ、インターネットでもわかりやすく公表して欲しい。	福 岡
592	2	32	もっと自然エネルギーを活用するべきだと思う。	静 岡
595	1	24	太陽光発電を積極的にやるべきだ！！	福 岡
607	1	34	嘘つかない	埼 玉
611	2	51	正確な情報が欲しいです。	埼 玉
613	1	30	メディア	愛 媛
614	1	49	わからない	愛 媛
616	2	25	特にわからない	愛 媛

問4 「原子力」のイメージ(その他)

ID	性	年齢	内 容	都道府県
619	1	27	情報の公開が大事であると考えている。また安全な生活が守られることを一番に考え、使用されることを望む。	東 京
620	1	39	原子力の利用と放射線の利用はとにかく方法・対象が何であれ縮小すべき。その結果、生活に不便を強いられるとしても…。	東 京
624	2	55	テレビや新聞ですかね。	東 京
627	1	71	最終的に言えば、原子力から太陽光エネルギーになっていくだろう。	静 岡
629	2	54	原発の近くに住んでいるので、不安だ。	静 岡
654	2	70	原子力や放射線等に対して、必要性は認めるものの、怖いというイメージを持っていた。このアンケートをやって、その怖い事実が起きたとしても、情報のやり方次第かもしれない。自治体や国に安全第一に我々に隠すことなく真剣に取り組んで欲しいと思った。	東 京
675	1	72	太陽光発電の推進の力を入れること。	奈 良
676	2	29	子供がいると、テレビがあってもなかなか見ることができないでいる(主にテレビからの情報を得ているので)。“原子力”というものに興味をなかなか持てない分情報を得ていても頭に残らなかつたりするので、難しい(今回の質問はほとんどわからなかった)。	奈 良
683	2	51	子供達にきちんと理解させる教育。	富 山
700	2	38	完璧に安全な原子力発電であればわが町にも来て欲しい。しかし、完璧に安全ではないのに来て欲しくない。	三 重
706	2	28	太陽光等のエネルギーの利用が低コストになり、広まればよいと思うが、現状では原子力エネルギーに頼ることになると思うので、専門家、電力会社、国、自治体等は是非安全に留意して欲しい。また、どんな出来事も情報は隠さない体制になって欲しいと思います。	大 阪
710	1	55	マスコミを使った広報はお手軽であるが、真実の情報提供も必要。	兵 庫
711	1	65	新聞で説明、発表。	兵 庫
719	2	50	専門的な知識がないのでよくわかりません。	宮 城
732	2	57	資源のない日本にとって安全性に十分気を付けて原子力エネルギーを利用することは必要だと思う。もちろん平和利用のみ。	愛 知
734	1	69	日本の最高技術をもってすれば原子力の安全利用は可能。	和歌山
739	1	29	義務教育内で必要な知識を習得できれば良いと思われる。	愛 知
747	1	63	マスコミの中でもやはり新聞、テレビを重点的に活用されると思う。予算の9割を使用すべきです。	北海道
751	1	17	人々に役立つことをして欲しいです。情報は隠さず国民に伝えて欲しいです。	栃 木
760	2	30	はっきり言えば原子力放射線などといった専門用語はピンとくるものではありません。TVなどのニュースでやってもぼんやりとしか頭に入ってません。現代の人達に十分理解をしてもらわなくてはならないのなら各家庭に宿題的な方法で各自治体ごとに提出などを促し、きちんと理解を求めることが必要かと思っています。	宮 城
767	2	45	いろいろ問題がありますがなければ困るし、でも事故は怖いし…。安全にお願いしたいです。	茨 城
768	2	70	情報を流すべき。	茨 城
789	1	77	不明	三 重
791	2	55	PCの普及で一番早く伝わるのはインターネットと思いますが、現状一番目に耳にする情報は年代層を考えるとTV、ラジオなどの方が多くの人に伝わっているのではないのでしょうか?	三 重
805	1	34	情報を隠さずテレビ、新聞などのメディア公開に少しでも多くの人に伝わるようにして欲しい。	福 島
811	1	18	これからもさらにCMなどで情報提供するとより多くの人に情報が行き渡るので良いと思う。	山 口
815	2	56	本当のことが知りたいと思います。本当の安全性がどれほどのものかが身近に伝えられるものがあって欲しいです。	山 口
816	2	67	特に思いません。	山 口
817	1	38	事故などがあった場合隠さず報道されるべき。	北海道
849	1	76	原子力エネルギーは兵器には使用しないこと。	広 島
850	2	22	学校の授業で情報発信することが相手に伝えるという点で一番知覚させやすいと思う。	広 島

問4 「原子力」のイメージ(その他)

ID	性	年齢	内 容	都道府県
856	2	36	正直私自身の情報、知識不足でこれらに対して明確な意見を述べられない部分があります。これらのことを義務教育の段階で意識付けをし、現代のあらゆる情報の中から子ども達が正しい情報を判断できる基礎作りをして欲しい。	鹿児島
857	2	49	今が良ければ良いという考え方からもっと遠い先のことを考えてほしい。原子力発電は当面必要なのだろうが放射性廃棄物の処分に疑問を感じます。人間は自分達の生活のためにこんな危険なものを作り出して良いのでしょうか？	鹿児島
866	2	57	地球を守り、エネルギーを安定的に安全に得るために行政はどのようなことに力を入れ、どのような方針で進んでいるのかなどメディアを通してわかりやすく流して欲しい。	広島
870	2	19	国民にほぼすべての情報を伝えるべき。	広島
882	2	72	詳しくはわからない。	宮城
883	1	39	問題は隠さないこと。	大阪
889	1	16	原子力発電の安全性を高めて欲しい。	茨城
900	2	68	原子力発電や放射線は平和利用だけに使って欲しい。人間に良いことに使って欲しい。原子力を核物産にしないで下さい。	福島
906	2	78	自然に任せる。	新潟
922	2	24	もっとテレビで特集を組んで欲しい。	北海道
938	1	41	原子力推進に都合の悪い情報、データは公開されていない。国会議員、市長、電力会社関係などの利益優先であり、発電所の周辺住民の安全安心は考えていない。	香川
944	1	59	海を利用すべき。	岡山
948	2	70	わからない	岡山
952	2	21	リサイクルをまめにする。	青森
953	2	58	弱い県、貧しい県を犠牲にするのは止めて欲しい。	青森
960	2	61	危険のないようお願いします。	香川
965	2	40	何となく堅苦しい内容と感じ、身近に関係なく思ってしまうのでわかりやすくつい見えてしまうような情報発信をして欲しい。	岡山
974	1	59	原子力アレルギーが先行している。報道が偏る。事実のみの報道で良いのにMCが不適切なコメントを発信する。視聴者に判断材料を届ければ良いと思う。	広島
975	1	68	よくわかるように伝えて欲しい。	広島
984	2	60	5政策、規制、技術などの仕組みをテレビで情報発信して欲しい（特に日曜日AM中）。	熊本
988	2	49	まず興味を持ちたいので見学会などで六ヶ所に行く機会を持ちたい。小、中、高の行事の一環として必ず見学会を実施すること。職場の勉強会などが必要かと思えます。	青森
999	1	59	学校教育の取り組みが必要。	広島
1000	2	18	世界的に見て日本が変わらなければ何も変わらない。私自身も変わらなければいけない。そのために本当のことを伝えて欲しい。テレビや新聞などで嘘をつくのは止めて。	広島
1010	1	53	ガン治療に放射線で完治できれば良い。	高知
1015	1	16	学校などで講演をする。	鹿児島
1016	1	34	自然を利用した発電の研究開発をして欲しい。	鹿児島
1017	1	73	興味がない。	鹿児島
1020	2	67	何か事故があっても隠したりせず公表する。	鹿児島
1021	1	28	もっとメディアで取り上げて欲しい。	徳島
1024	2	33	もう少しわかりやすく誰でも知っているくらいの情報発信をして欲しい（CMなど）。	徳島
1028	1	36	良いことだけでなく悪いことを伝えることも絶対に必要であるということ。	埼玉
1029	1	62	火山国日本なのだから地熱発電に期待します。	埼玉
1030	2	20	インターネットで見ている。	埼玉
1031	2	57	専門過ぎて何も答えられません。	埼玉
1039	1	29	自分も理解は深くはありませんが、原子力の響きだけで反対するのは良くないと思います。	東京

問4 「原子力」のイメージ(その他)

ID	性	年齢	内 容	都道府県
1042	2	17	専門家と評論家が原子力や放射線の利用について説明する場をもっと私達にとって身近に興味を持てる場でたくさん行って欲しいです。	東 京
1054	2	30	情報が得られていない。もっと知らなければと思った。	大 分
1055	2	41	このような情報は堅苦しくて難しい感じのものが多く、なかなかとっかかりにくいのでもう少し柔らかい感じで楽しく学べるものをお願いします。	大 分
1059	1	62	学校、社会教育。	栃 木
1060	2	39	原子力発電所は何か信用できないといったイメージです。何か事故と言わないまでも異常があった場合はすぐに公表して考えられる危険性について説明して欲しいです。	栃 木
1063	1	31	今まで通りで構いません。	大 分
1064	1	49	安全を第一に、情報公開をして人や環境を優先して欲しい。	大 分
1065	1	71	原子力発電の電力会社の原子力体制に不信感があり、安全ですよと電力責任者が発表していますが今日までの一連の行動を考えますと本当に大丈夫だろうかと思います。	大 分
1071	1	66	内容に誠実さと真実性に乏しく不安。	大 阪
1077	1	77	原子力発電所は現場作業員の徹底的な教育が必要（なぜそうしなければならぬか？の理由を明示する）。	東 京
1080	2	63	特にわからない。	東 京
1083	1	78	原子力そのものの自体の組織が解明されないのになんでそれに頼るの？	京 都
1088	1	31	JCO臨界事故や高速増殖原型炉もんじゅのナトリウム漏えい事故の件などから言って、信用ができない。隠蔽体質を直さないと理解を得ることはできないのでは。	東 京
1089	1	68	もっと日本は原発を増加するように国民に必要性をPRすべき。	東 京
1094	1	30	ニュース、メールなどで情報を配信したら良いと思う。	東 京
1099	1	25	勉強するべき。	神奈川
1102	2	39	子どもにも大人にもわかりやすいTV番組があるといい。	神奈川
1104	2	50	学校でも授業へ取り入れるべき。	神奈川
1112	1	47	情報があふれており、各人が判断できない状況になっていると思う。毎日の生活では、電気がなくてはならないものになっており、どのような発電方法であれ、安定した供給が必要である。過度な情報は不必要。	福 井
1118	1	29	もっとテレビで流すべきと思う。	大 阪
1125	1	59	定期的に新聞・TV等で知らせて欲しい。	埼 玉
1126	2	35	人体に害のないように開発して欲しい。	埼 玉
1155	1	62	情報公開が後手に回る事が多いと思う。	長 野
1156	2	28	自分も含め、原子力などの知識が国民全体に乏しい。知っている人はすべてのことを知り、知らない人は全く知らないという差がある。情報の量、質、頻度を上げ、国民すべてがあたりまえの知識になるくらいが必要。無知は危険であり、無用な不安、反対になる。	長 野
1158	2	61	TVで特別番組として現情報を度々発信する。	長 野
1159	1	25	問題なく過ごせたら、それでいいと思う。	神奈川
1174	2	26	安全に利用できるように、わかりやすく、情報を伝えて欲しい。	埼 玉
1184	1	40	万が一の事を考えたら、採用されないはず。	神奈川
1189	1	35	イメージ的に閉鎖的な漢字がする。全てが公開されているイメージがない。	神奈川
1200	2	50	何事であれ、事故等は人の気のゆるみや、ちょっとした油断から招かれる事が多いと思います。優れた技術の進歩はもちろんですが、人的なミスが起こらないようなシステムの強化をもっとやっていただけると安心だと思います。	神奈川